

**平成 24 年度
指標達成度調査**

報告書

札幌市

目 次

1. 調査実施の概要	
(1) 調査の目的	1
(2) 内容	1
(3) 設計	1
(4) 回収結果	2
(5) 本調査結果利用上の注意	2
2. 調査結果の詳細	
(1) 子どもを生み育てやすい環境づくり	3
・ 子どもや子育て家庭への配慮	3
・ 「仕事」と「私生活」の調和	5
・ 安心して妊娠・出産できる環境	7
・ 子育てに関する不安や負担、相談体制の整備	9
・ 保育サービスの利用	13
・ 安全に放課後を過ごす場所の確保	15
・ 子どもを生み育てやすい環境	17
(2) 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実	19
・ 自然・社会・文化などの体験をしやすい環境	19
・ 特別な配慮が必要な子どもの支援体制	21
・ 子どもの権利の保護	25
(3) 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援	29
・ 外出頻度	29
・ 障がいのある方について	35
(4) 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実	41
・ 犯罪について	41
・ 食品の安全性について	43
・ 防犯活動について	45
・ 雪の処理に関する取り組みについて	47
・ 自転車のルールやマナーについて	49
(5) 水道事業について	51
・ 水道事業に関する満足度	51
・ 水道事業で重視すべきこと	57
(6) 将来を見据えた魅力ある都市の整備	63
・ 都心部の「にぎわい」について	63
・ 住環境の満足度	65
・ 公共交通の満足度	67
(7) 低炭素社会の推進と循環型社会の構築	69
・ 生ごみ減量・リサイクルの取り組みについて	69
・ 環境配慮活動について	71

(8)	多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり	75
	・ 花やみどりの現状について	75
(9)	市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり	77
	・ 市政参加の機会	77
	・ まちづくり活動について	79
	・ 社会に役立つ活動について	81
	・ 海外諸都市や外国人との交流について	83
(10)	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり	87
	・ 文化芸術活動について	87
	・ 文化財施設の認知状況	89
	・ 1年間に行ったスポーツの種類	91
	・ スポーツの頻度	95
	・ スポーツ観戦について	97

資料:調査票

平成 24 年度 指標達成度調査

調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意見を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

(2) 内容

- ① 子どもを生み育てやすい環境づくり
- ② 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
- ③ 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
- ④ 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実
- ⑤ 水道事業について
- ⑥ 将来を見据えた魅力ある都市の整備
- ⑦ 低炭素社会の推進と循環型社会の構築
- ⑧ 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり
- ⑨ 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり
- ⑩ 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり

(3) 設計

本調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 20 歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 平成 25 年 2 月 6 日(水)～平成 25 年 2 月 28 日(木)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う)
- ⑦ 調査実施機関 有限会社インタラクシオン研究所

(4) 回収結果

- ① 発送数 5,000 件
- ② 有効回収数(率) 1,977 件 (39.5%)

(5) 回答者の特性

区 分	実数 (件)	比率 (%)
合 計	1,977	100.0
【性別】		
男 性	763	38.6
女 性	1204	60.9
無 回 答	10	0.5
【年齢】		
20 ~ 29 歳	173	8.8
30 ~ 39 歳	288	14.6
40 ~ 49 歳	325	16.4
50 ~ 59 歳	337	17.0
60 ~ 69 歳	432	21.9
70 歳 以 上	415	21.0
無 回 答	7	0.4
【居住区】		
中 央 区	216	10.9
北 区	289	14.6
東 区	231	11.7
白 石 区	198	10.0
厚 別 区	150	7.6
豊 平 区	235	11.9
清 田 区	118	6.0
南 区	166	8.4
西 区	232	11.7
手 稲 区	136	6.9
無 回 答	6	0.3

(6) 本調査結果利用上の注意

- ① N、nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数を分母とした百分率であり、少数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

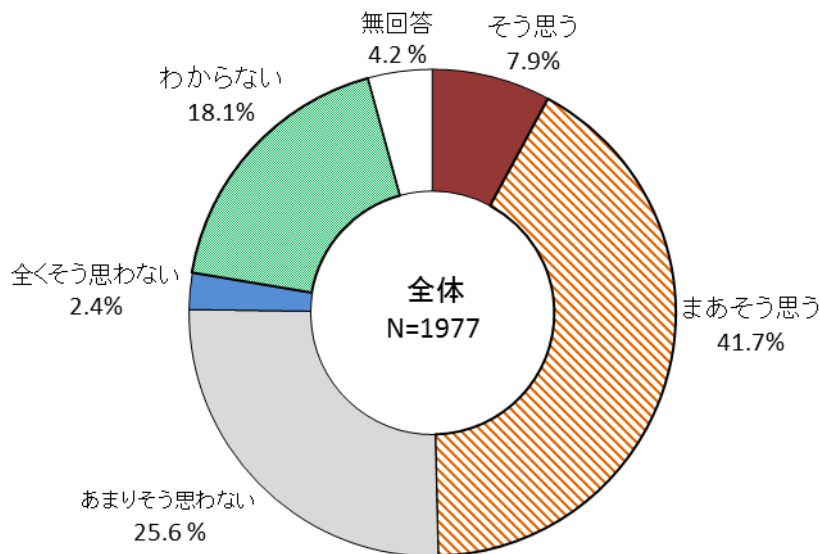
2. 調査結果の詳細

(1) 子どもを生き育てやすい環境づくり

- ・ 子どもや子育て家庭への配慮

【問1】 札幌市は、子どもと子育て家庭が暮らしやすいまちとして、住んでいる地域の住環境や公共施設が子どもや子育て家庭に配慮されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもや子育て家庭への配慮があるかについては、「そう思う」(7.9%)と「まあそう思う」(41.7%)を合わせた“そう思う”(49.6%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

子どもや子育て家庭への配慮があるかについては、「まあそう思う」(41.7%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(25.6%)、「わからない」(18.1%)、「そう思う」(7.9%)、「全くそう思わない」(2.4%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、男性(49.9%)、女性(49.6%)での差はほとんどない。

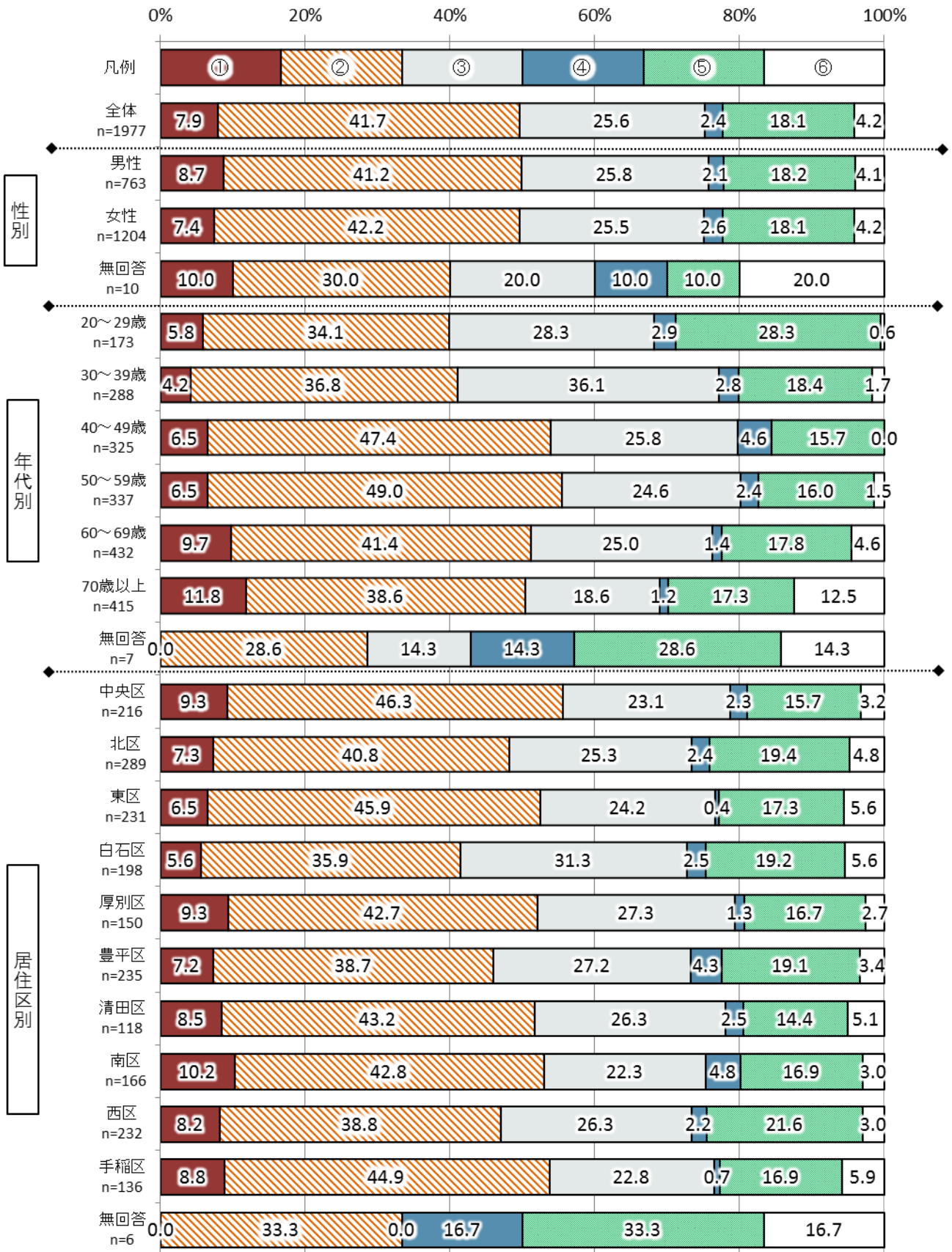
【年代別】

全ての年代で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、40歳代以上では5割を超え、50歳代(55.5%)で高くなっている。一方、30歳代(38.9%)は、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が他の年代よりやや高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、中央区(55.6%)、東区(52.4%)、厚別区(52.0%)、清田区(51.7%)、南区(53.0%)、手稲区(53.7%)では5割を超えている。

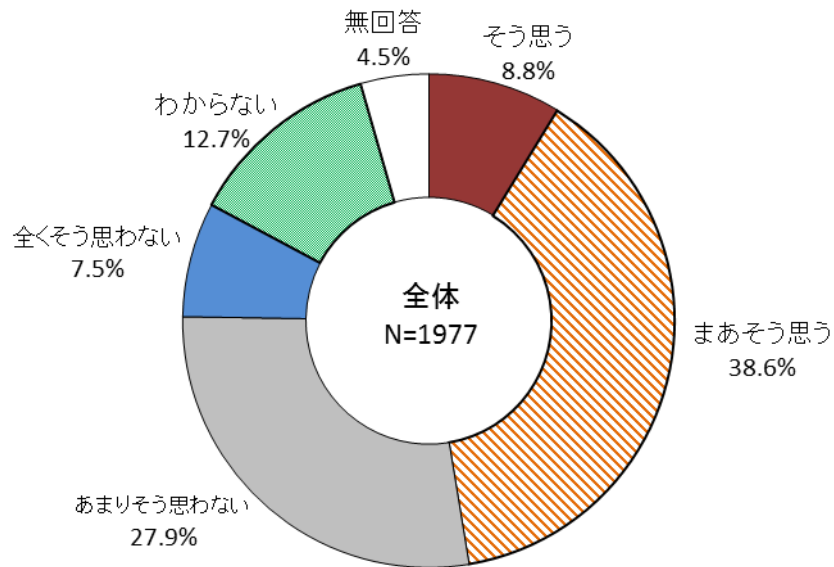
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



・「仕事」と「私生活」の調和

【問2】あなたは、「仕事」と「家事(育児)、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「仕事」と「家事(育児)、プライベートなどの生活」の調和がとれているかについては、「そう思う」(8.8%)と「まあそう思う」(38.6%)を合わせた“そう思う”(47.4%)が全体の5割弱を占めている。



【対象者全体】

「仕事」と「家事(育児)、プライベートなどの生活」の調和がとれているかについては、「まあそう思う」(38.6%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(27.9%)、「わからない」(12.7%)、「そう思う」(8.8%)、「全くそう思わない」(7.5%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いものの、女性(49.2%)は男性(44.7%)に比べてやや高くなっている。

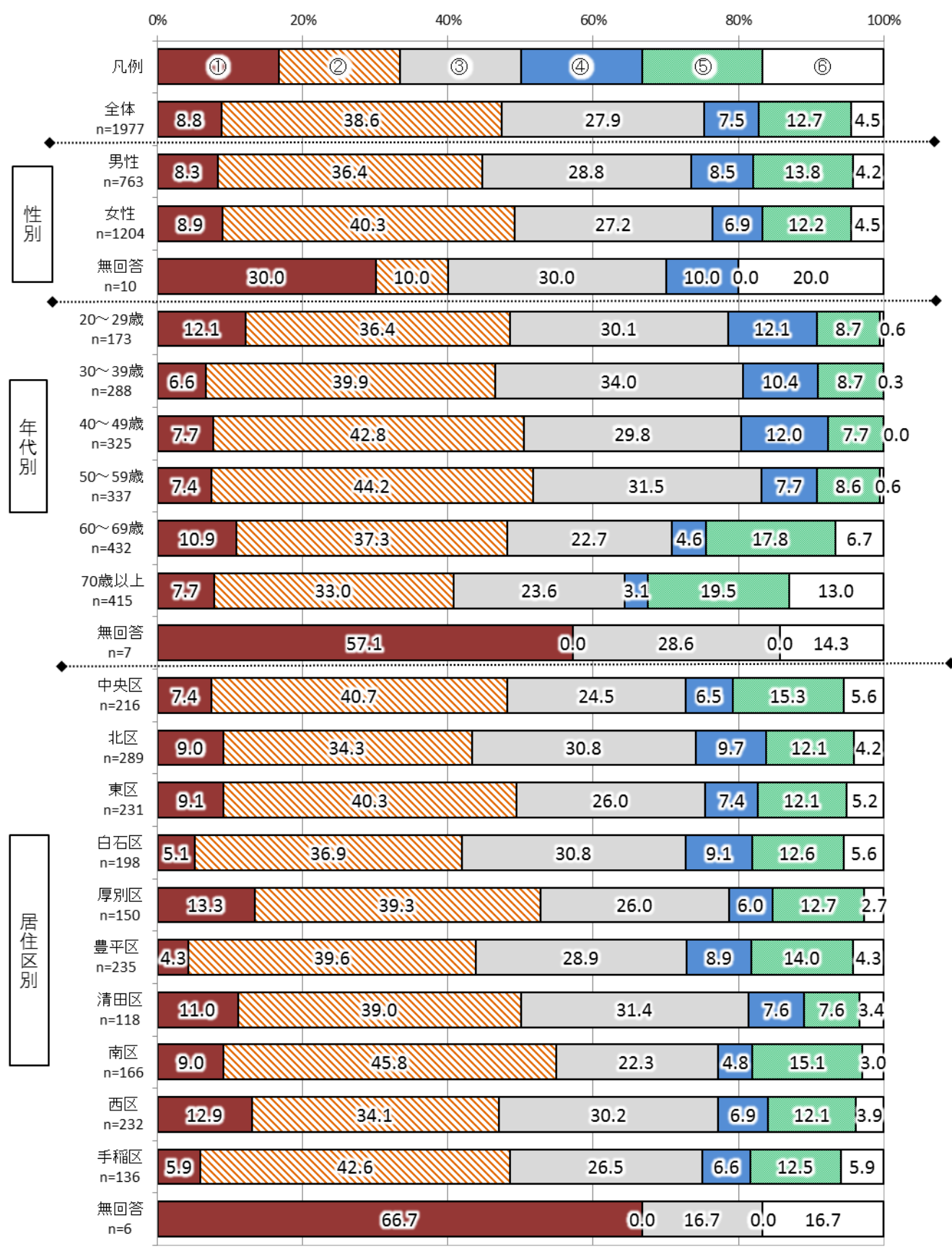
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、特に40歳代(50.5%)、50歳代(51.6%)と約5割を占めている。一方、20歳代(42.2%)、30歳代(44.4%)では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が他の年代よりも高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、特に南区(54.8%)、厚別区(52.6%)、清田区(50.0%)では5割を超えている。一方、北区(40.5%)、白石区(39.9%)では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”も高くなっている。

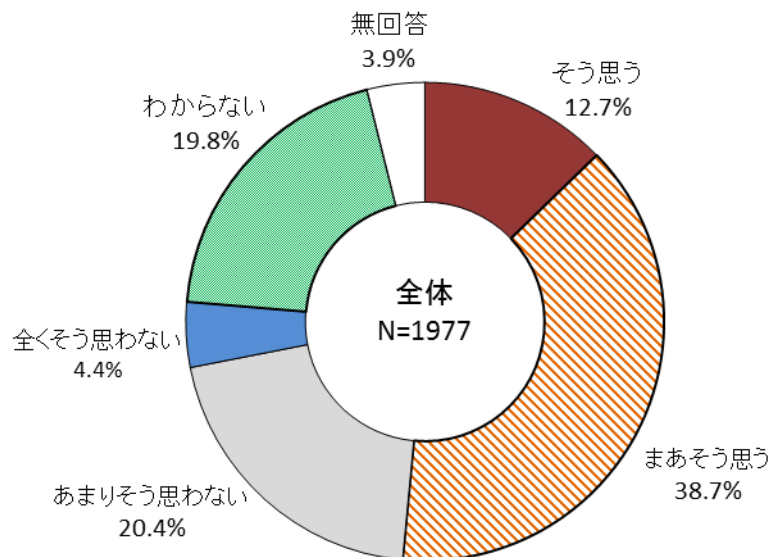
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



- ・ 安心して妊娠・出産できる環境

【問3】 札幌市は、安心して妊娠・出産できる環境が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

安心して妊娠・出産できる環境が整っているかについては、「そう思う」(12.7%)と「まあそう思う」(38.7%)を合わせた“そう思う”(51.4%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

安心して妊娠・出産できる環境が整っているかについては、「まあそう思う」(38.7%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(20.4%)、「わからない」(19.8%)、「そう思う」(12.7%)、「全くそう思わない」(4.4%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、男性(52.2%)、女性(51.1%)での差はほとんどない。

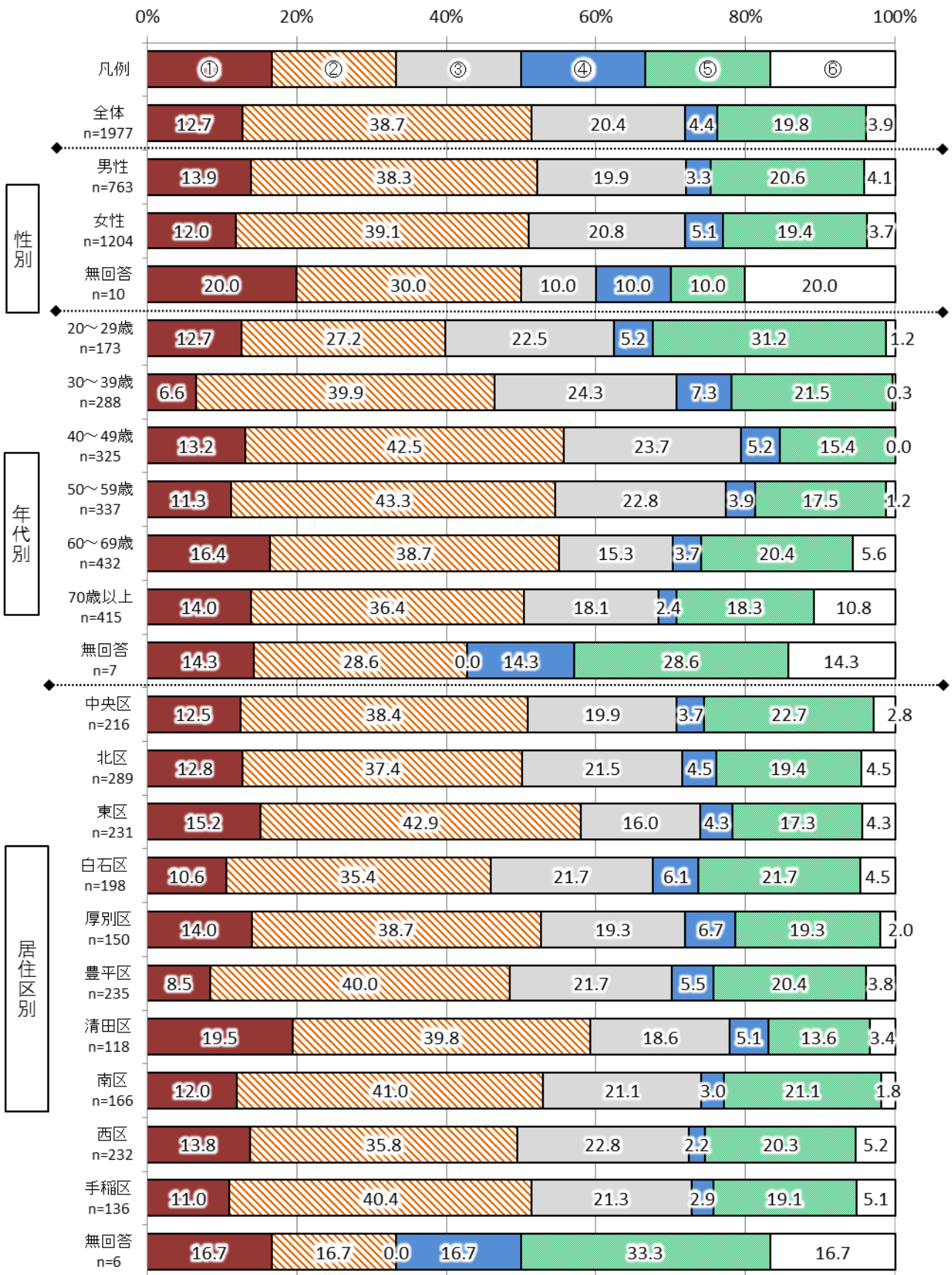
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、特に 40 歳代(55.7%)、50 歳代(54.6%)では 5 割を超えている。一方、30 歳代(31.6%)では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が他の年代よりも高くなっている。

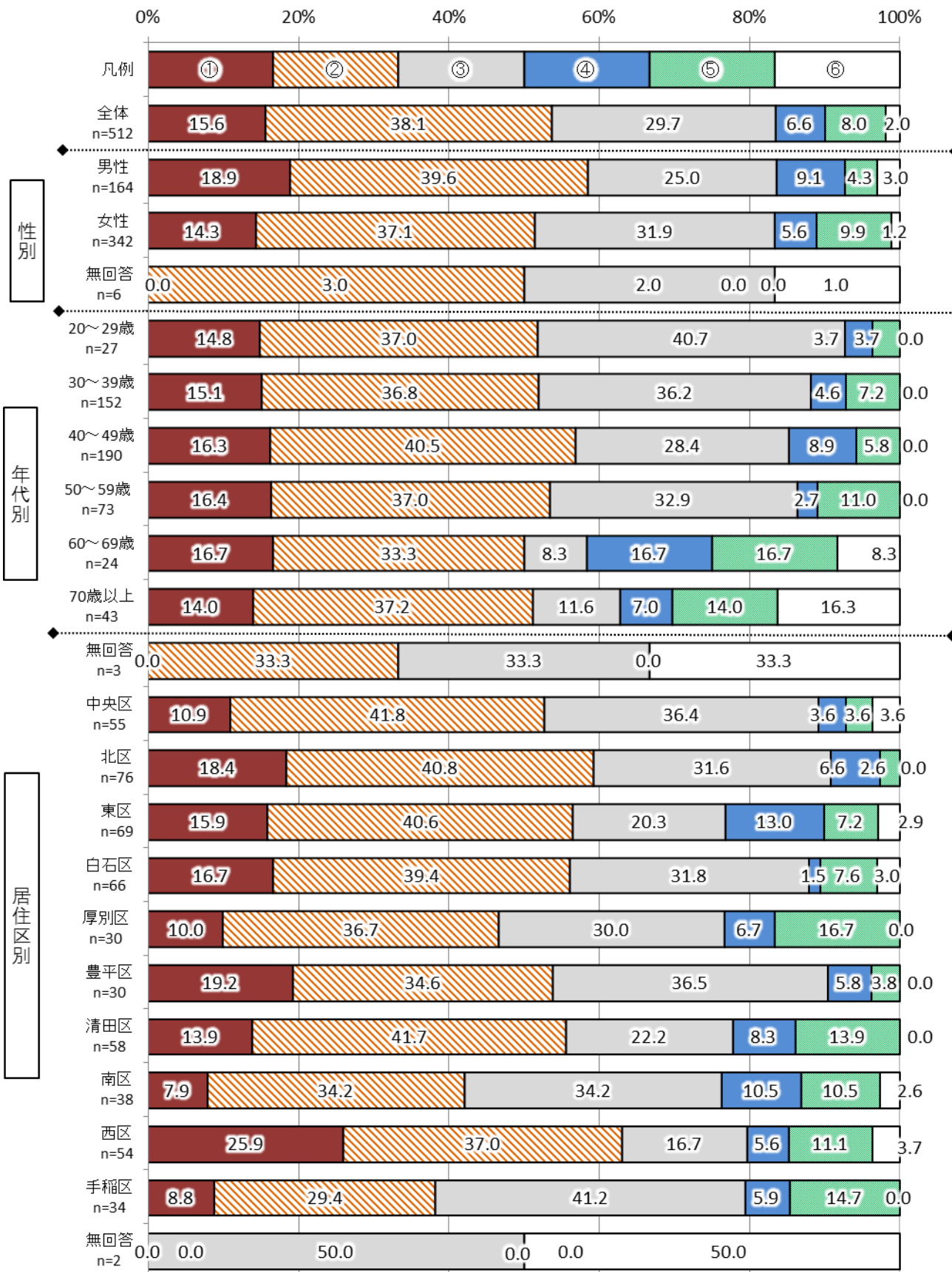
【居住区別】

全居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、スコアの低い白石区(46.0%)、豊平区(48.5%)に比べ清田区(59.3%)は 10 ポイント以上高くなっている。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ④ ⑤ ⑥



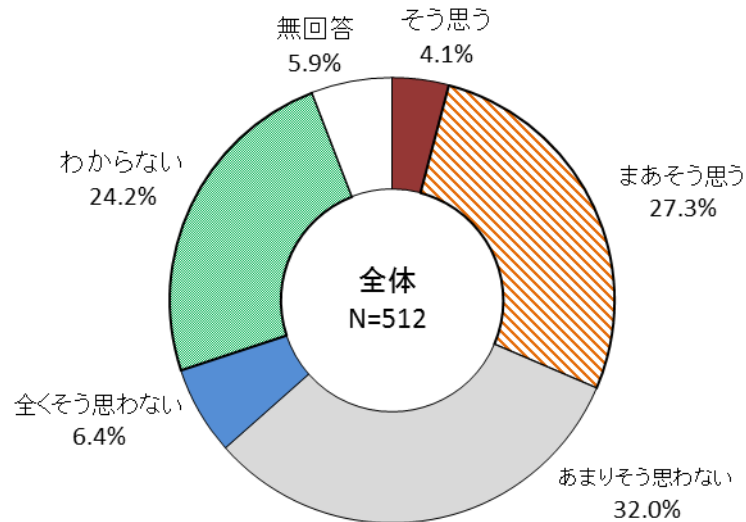
- ①いつも感じる ②どちらかといえば感じることは多い
 ③どちらかといえば感じることは少ない ④感じることはない
 ⑤どちらとも言えない ⑥無回答



《18歳以下のお子さんがある方のみ》

【問4】(2) あなたは、子育てについての相談が必要な時、札幌市の相談体制は整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関する相談体制が整っているかについては、「あまりそう思わない」(32.0%)と「全くそう思わない」(6.4%)を合わせた“そう思わない”(38.4%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

子育てに関する相談体制が整っているかについては、「あまりそう思わない」(32.0%)が最も高く、次いで「まあそう思う」(27.3%)、「わからない」(24.2%)、「全くそう思わない」(6.4%)、「そう思う」(4.1%)となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、女性(41.5%)は男性(32.9%)に比べてかなり高くなっている。

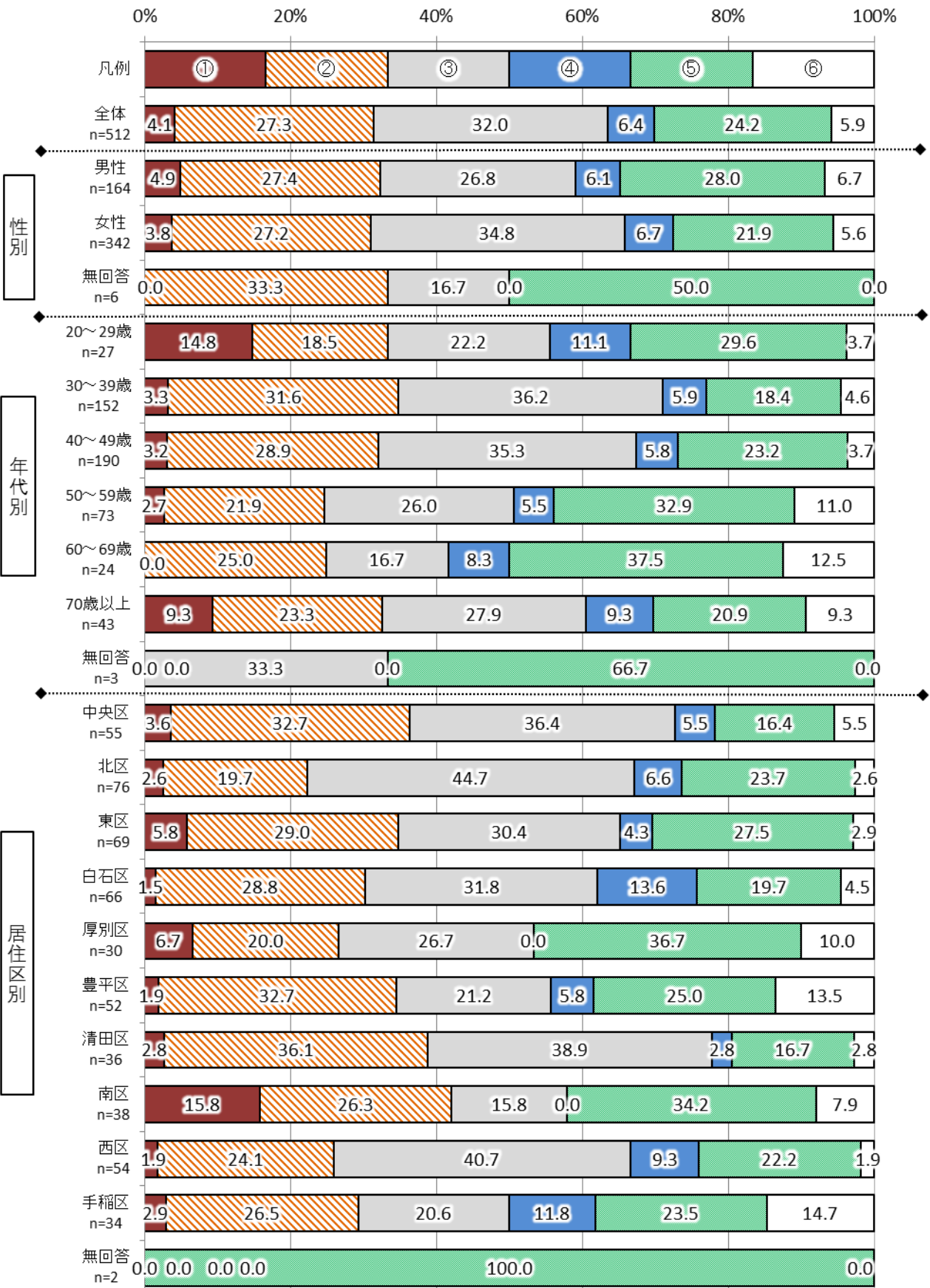
【年代別】

各年代で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、特に30歳代(42.1%)、40歳代(41.1%)では4割を超えている。

【居住区別】

東区、厚別区、豊平区、南区を除く全ての居住区で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、特に北区(51.3%)、西区(50.0%)はそれぞれ約5割を占めている。一方、豊平区(34.6%)、南区(42.1%)は「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、それぞれ3割から4割を占めている。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



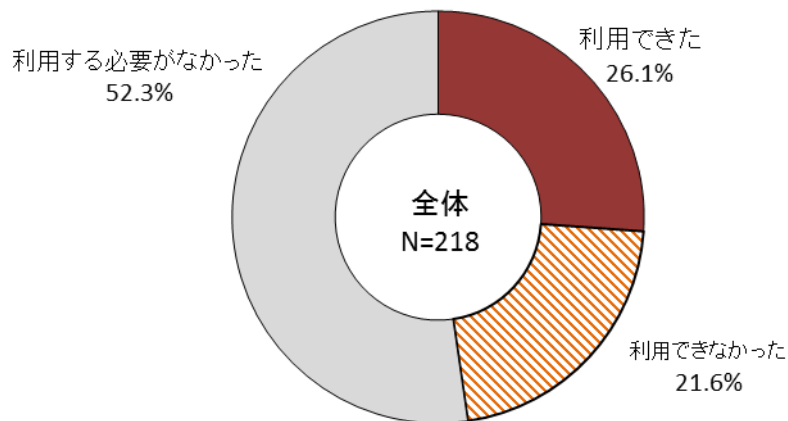
・ 保育サービスの利用

《就学前のお子さんがある方のみ》

【問5】 あなたは、この1年間に、希望した時期に、希望した保育サービス*を利用することができましたか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ここでいう「保育サービス」とは、認可保育所への入所のほか、延長保育、病児・病後児保育などあらゆる保育サービスを含みます。

保育サービスの利用については、「利用する必要がなかった」(52.3%)が最も高く、約5割を占めている。



【対象者全体】

保育サービスの利用については、「利用する必要がなかった」(52.3%)が最も高く、次いで「利用できた」(26.1%)、「利用できなかった」(21.6%)となっている。

【性別】

男女共に「利用する必要がなかった」が最も高いが、女性(50.0%)に比べて男性(56.5%)が高くなっている。また、「利用できなかった」も男性(20.5%)に比べて女性(24.6%)がやや高くなっている。

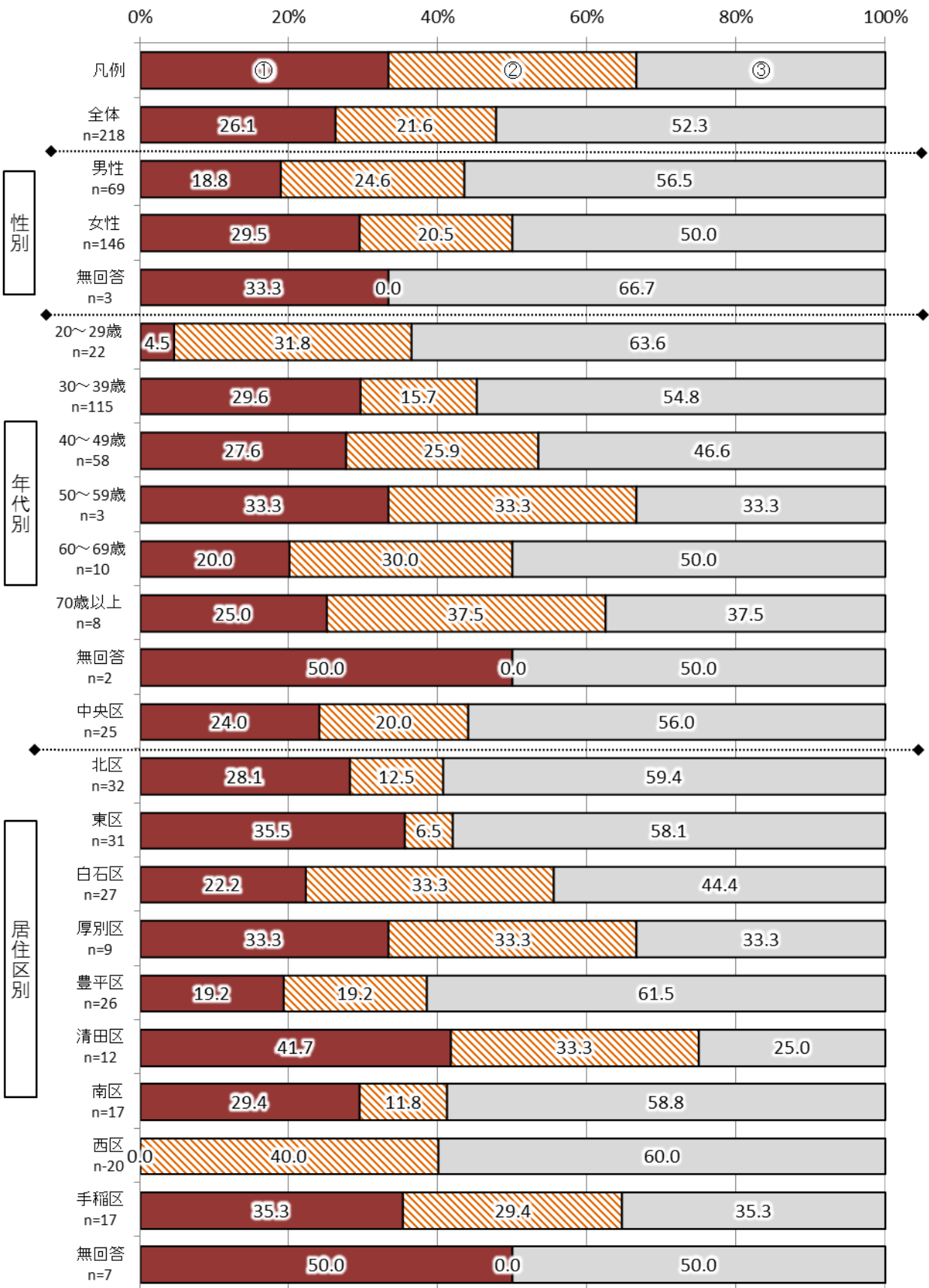
【年代別】

50歳代、70歳代を除く各年代で「利用する必要がなかった」が最も高くなっている。

【居住区別】

厚別区、清田区、手稲区を除く全ての居住区で「利用する必要がなかった」が最も高いが、西区(40.0%)では「利用できなかった」が4割を占めている。

①利用できた ②利用できなかった ③利用する必要がなかった

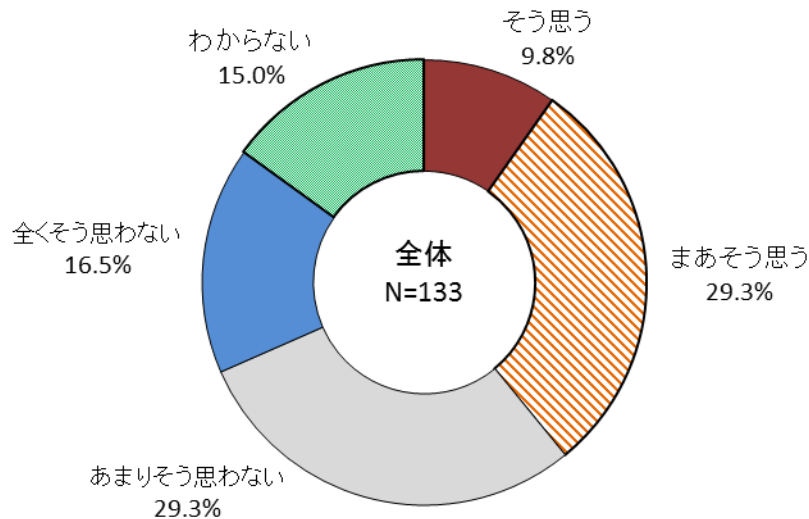


・安全に放課後を過ごす場所の確保

《保護者が共働きなどで小学生のお子さんが放課後に家に1人でいられないご家庭の方のみ》

【問6】札幌市は、子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されているかについては、「あまりそう思わない」(29.3%)と「全くそう思わない」(16.5%)を合わせた“そう思わない”(45.8%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されているかについては、「まあそう思う」(29.3%)と「あまりそう思わない」(29.3%)が最も高く、次いで「全くそう思わない」(16.5%)、「わからない」(15.0%)、「そう思う」(9.8%)となっている。

【性別】

男性(58.3%)は「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高く、女性(48.7%)では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が高くなっている。

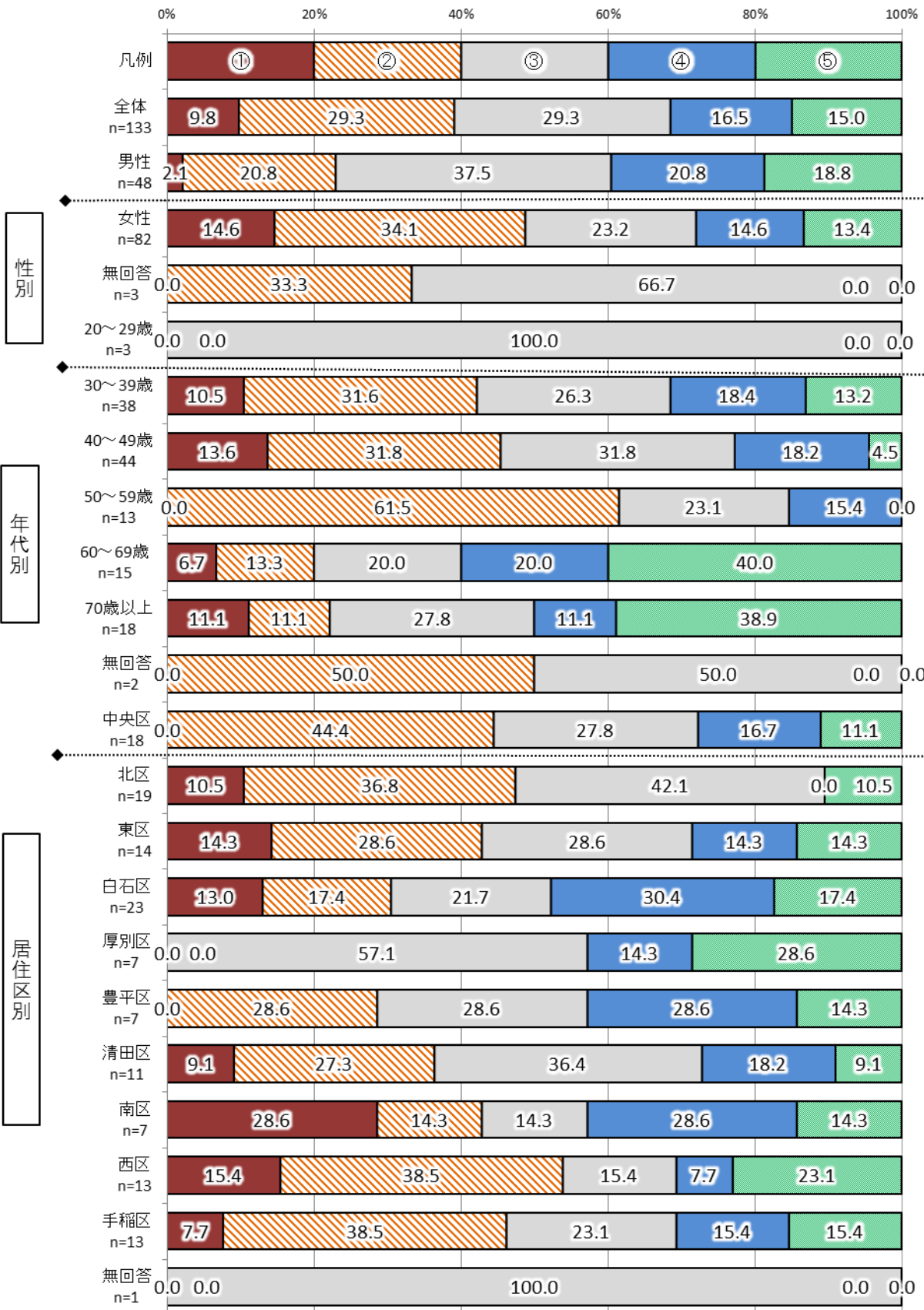
【年代別】

50歳代を除く全ての年代で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高く、特に20歳代(100.0%)、40歳代(50.0%)で高くなっている。一方、40歳代(45.4%)、50歳代(61.5%)では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”もそれぞれ約4割、約6割を占めている。

【居住区別】

白石区(52.1%)、厚別区(71.4%)、豊平区(57.2%)、清田区(54.6%)では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が5割を超えている。一方、西区(53.9%)、手稲区(46.2%)では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が約5割を占めている。

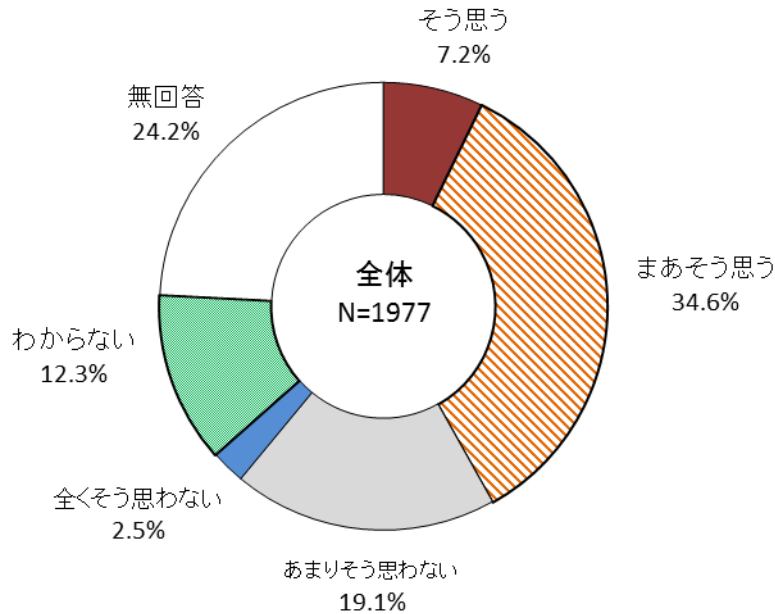
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない



- ・ 子どもを生き育てやすい環境

【問7】 札幌市は、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「そう思う」(7.2%)と「まあそう思う」(34.6%)を合わせた“そう思う”(41.8%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「まあそう思う」(34.6%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(19.1%)、「わからない」(12.3%)、「そう思う」(7.2%)、「全くそう思わない」(2.5%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、女性(41.0%)に比べ男性(43.4%)がやや高くなっている。

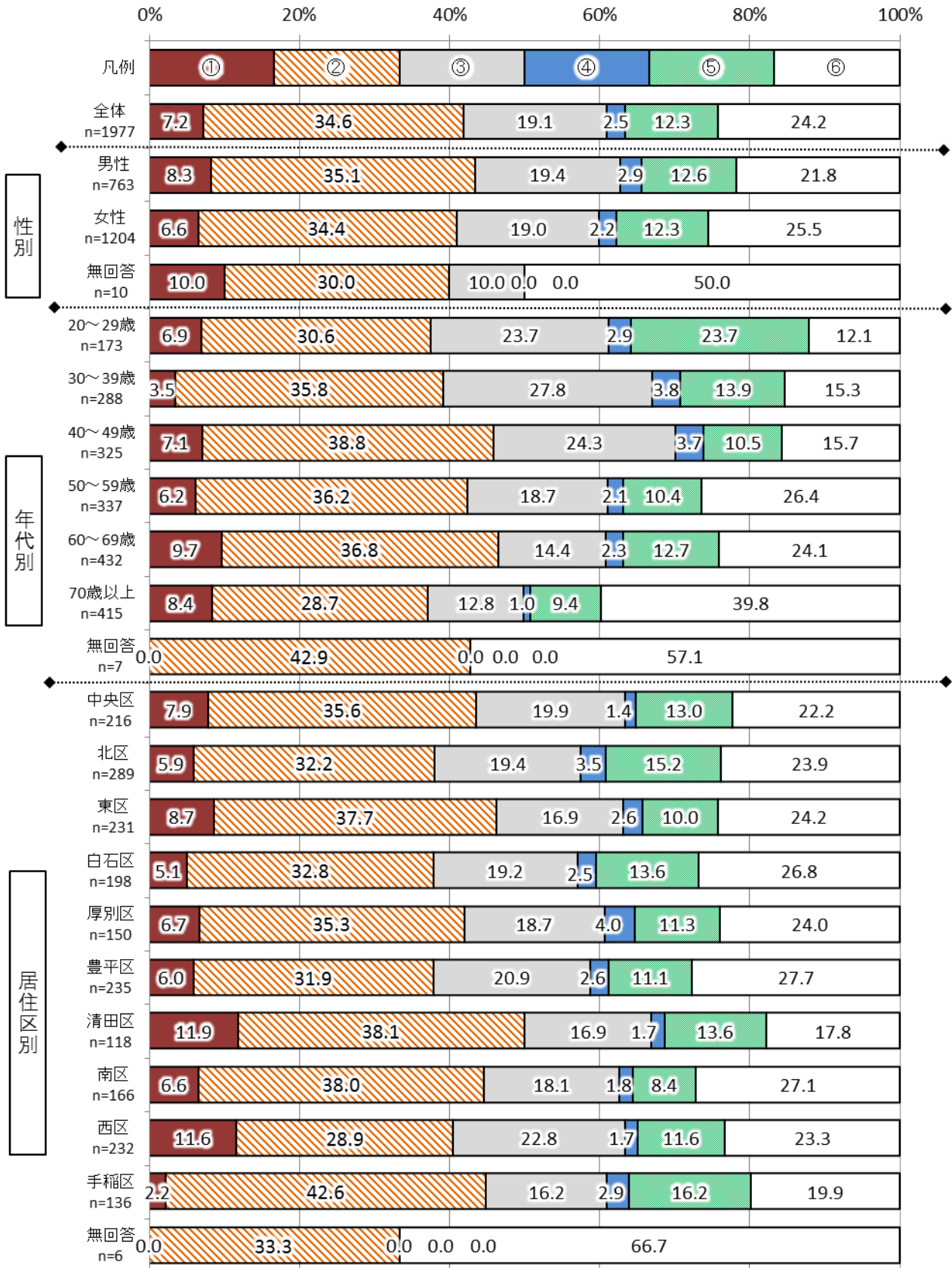
【年代別】

全ての年代で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、40歳代(45.9%)、50歳代(42.4%)、60歳代(46.5%)では4割を超えている。

【居住区別】

全居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、スコアの低い北区(38.1%)、白石区(37.9%)、豊平区(37.9%)に比べて清田区(50.0%)は10ポイント以上高くなっている。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ④ ⑤ ⑥

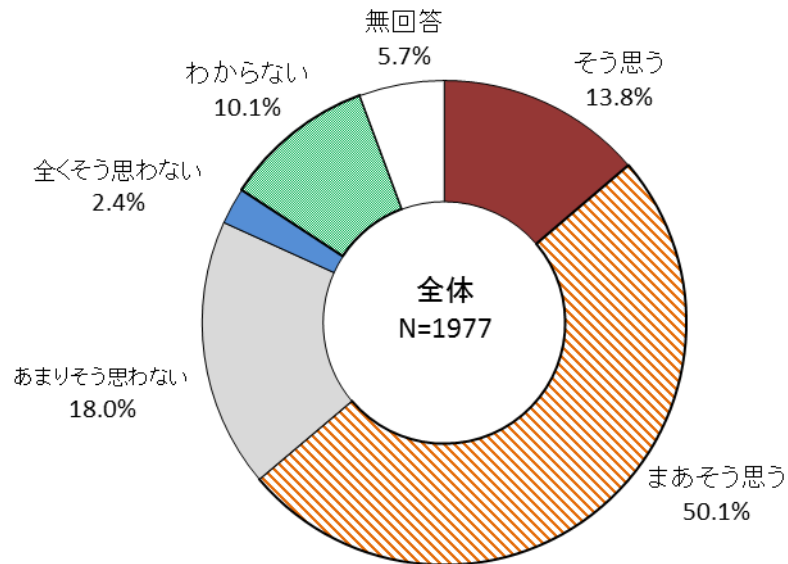


(2) 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実

- ・ 自然・社会・文化などの体験をしやすい環境

【問8】 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもにとって自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であるかについては、「そう思う」(13.8%)と「まあそう思う」(50.1%)を合わせた“そう思う”(63.9%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもにとって自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であるかについては、「まあそう思う」(50.1%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(18.0%)、「そう思う」(13.8%)、「わからない」(10.1%)、「全くそう思わない」(2.4%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、女性(64.4%)は男性(63.0%)に比べてやや高くなっている。

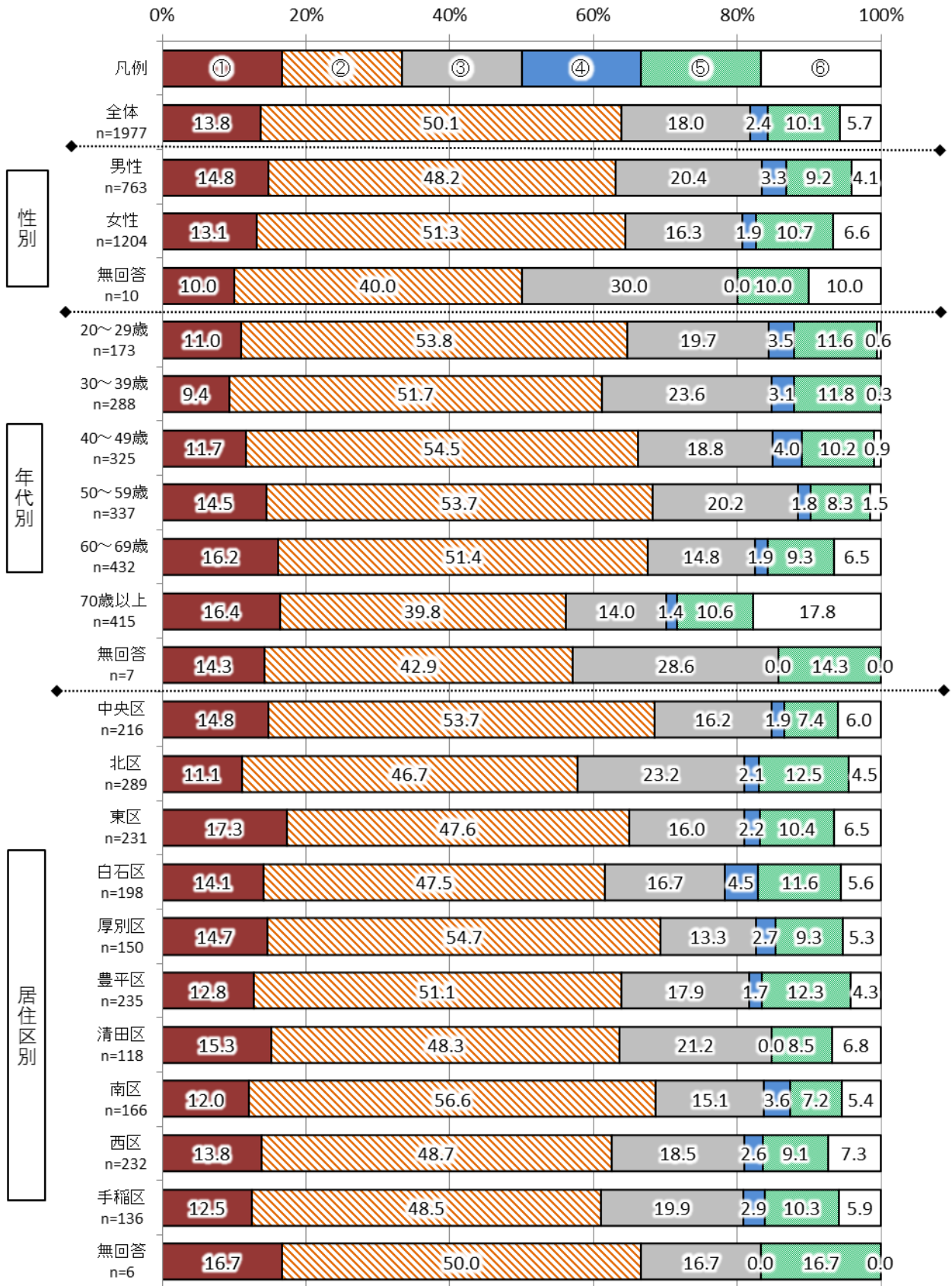
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高く、特に 40 歳代(66.2%)、50 歳代(68.2%)、60 歳代(67.6%)では7割弱を占めている。

【居住区別】

全居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、スコアの低い北区(57.8%)に比べ中央区(68.5%)、南区(68.6%)は10ポイント以上高くなっている。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ④ ⑤ ⑥

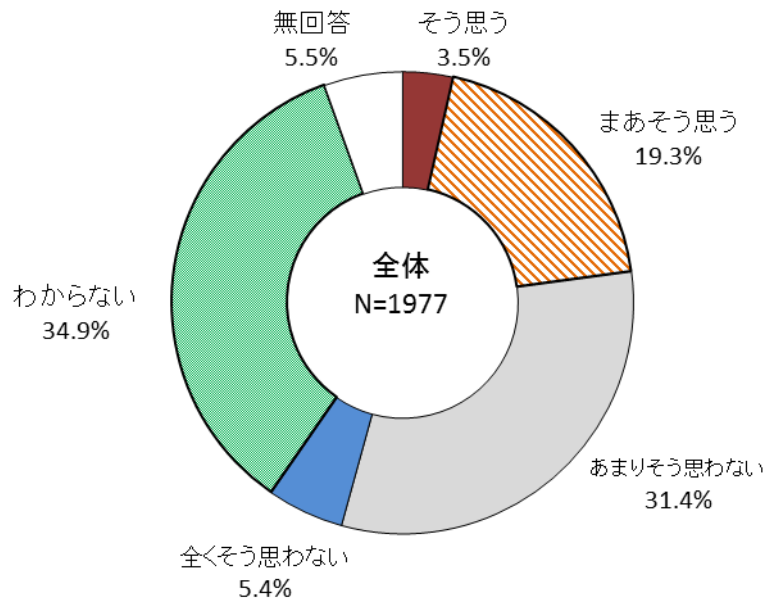


・特別な配慮が必要な子どもの支援体制

【問9】札幌市は、特別な配慮が必要な子ども[※]の支援体制が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「特別な配慮が必要な子ども」とは、この場合、「虐待など不適切な養育環境で育った子どもや障がいのある子ども、ひとり親家庭の子ども」などのことを指しています。

特別な配慮が必要な子どもの支援体制が整っているかについては、「あまりそう思わない」(31.4%)と「全くそう思わない」(5.4%)を合わせた“そう思わない”(36.8%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

特別な配慮が必要な子どもの支援体制が整っているかについては、「わからない」(34.9%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(31.4%)、「まあそう思う」(19.3%)、「全くそう思わない」(5.4%)、「そう思う」(3.5%)となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、男性(37.9%)は女性(36.2%)に比べてやや高くなっている。

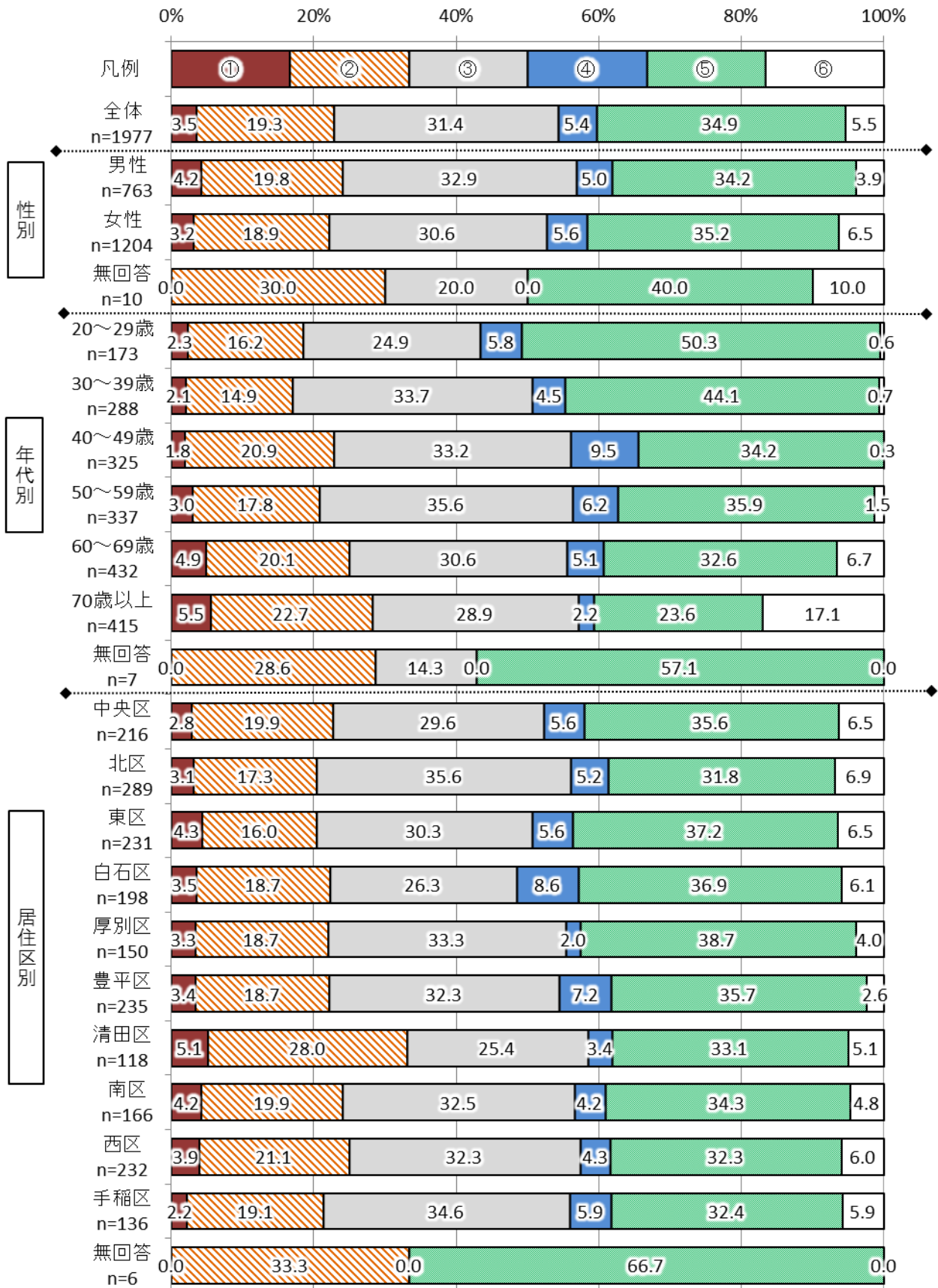
【年代別】

各年代共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、特に40歳代(42.7%)、50歳代(41.8%)は4割を超えている。

【居住区別】

清田区を除く全ての居住区で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、特に北区(40.8%)、豊平区(39.5%)、手稲区(40.5%)では約4割を占めている。一方、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が清田区(33.1%)では約3割となっている。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ④ ⑤ ⑥



- ・ 特別な配慮が必要な子どもの支援体制 《問9で「4. 全くそう思わない」と答えた方のみ》

【問 10】 支援体制が整っていないと思う理由を下の()の中にご記入ください。

回答者数 93件

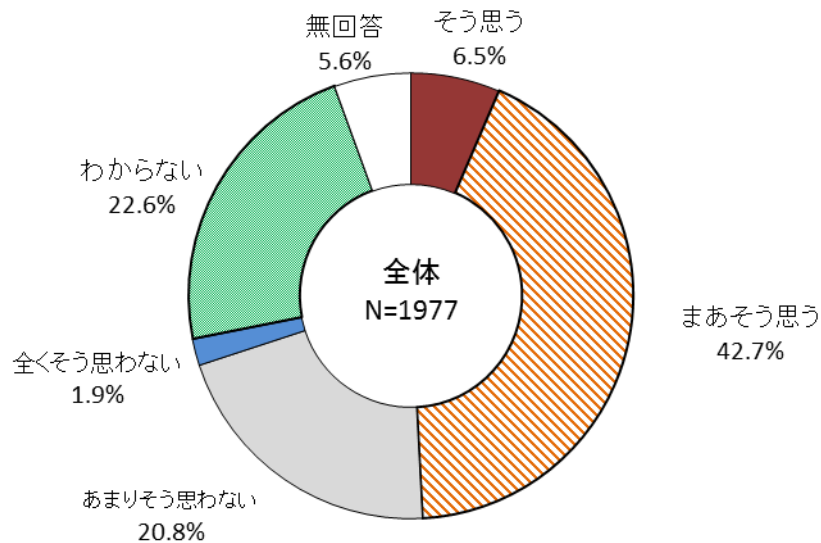
分類	件数	主な意見
支援体制	37	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害者、精神障害者の支援体制が整っていないことが不安。 ・ どこに支援体制があるか、利用の仕方もわからない。 ・ 精神障害者のための支援が足りない。 ・ 現場のみなさんご尽力されていると思いますが、人材不足、専門家不足ではと思います。子どもだけではなく親へのフォローも必要です。 ・ 支援する機関も体制も人も足りていないと思う。
虐待	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童相談所の受入れ体制ができていない。 ・ 虐待などのニュース報道で、支援体制があっても、行き届かないことが多い。 ・ 児童相談所の判断が甘い。一時保護等になった子どもが家に戻った時の環境をもっとよく考えて、安全が確保されてから戻すべき。 ・ 親が子どもを虐待し、死にいたっても子どもを保護できないから。 ・ 虐待からの保護に時間がかかっている。
ひとり親家庭	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり親家庭が、安心して子育てができる環境ではないと思う。 ・ ひとり親家庭の親が働ける環境がない。 ・ ひとり親家庭の申請をするのに、何度も区役所へ行かなくてはならないのが大変。 ・ 一人で子どもを育てていく上での経済支援体制が整っていない。 ・ 児童施設などの体制が整っていない。
教育	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいのある子が普通学校に行けない現実がある。 ・ 障がいのある子が通える施設が少なく、遠くまで通園、通学しなくてはならない。 ・ 肢体不自由児の学校生活(学びのサポーター制度)が整っていない。 ・ 障がいをもつ子と直に接する、学校と教師の知識と理解が全く足りていない。 ・ 特別学級が少ないと思う。
医療・療育	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいのある子どもの医療・療育体制が連携されず、情報発信も乏しい。 ・ 子どもが通う特別支援学級には養護施設の子も多く、子どもの問題の幅広さや人手不足などで十分な支援が得られていない。 ・ 相談先が少なく、子どもを見てくれる精神科が足りない。 ・ 医療費がかかりすぎて、子どもの多い家庭は大変。 ・ デイサービス等の施設をもっと増やしてほしい
バリアフリー等	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの障がいに限らず、公共施設等のバリアフリー化が必要。 ・ 道路に段差が多く、車イスでの移動が不便であり、ノンステップのバスが少ない。
その他	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現実に悲しいことが起っている。深くて厳しい。 ・ 保育所が不足している
合計	93	

・ 子どもの権利の保護

【問 11】 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利*が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利が守られているかについて、「そう思う」(6.5%)と「まあそう思う」(42.7%)を合わせた“そう思う”(49.2%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

子どもの権利が守られているかについて、「まあそう思う」(42.7%)が最も高く、次いで「わかってない」(22.6%)、「あまりそう思わない」(20.8%)、「そう思う」(6.5%)、「全くそう思わない」(1.9%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、男性(49.0%)、女性(49.3%)での差はほとんどない。

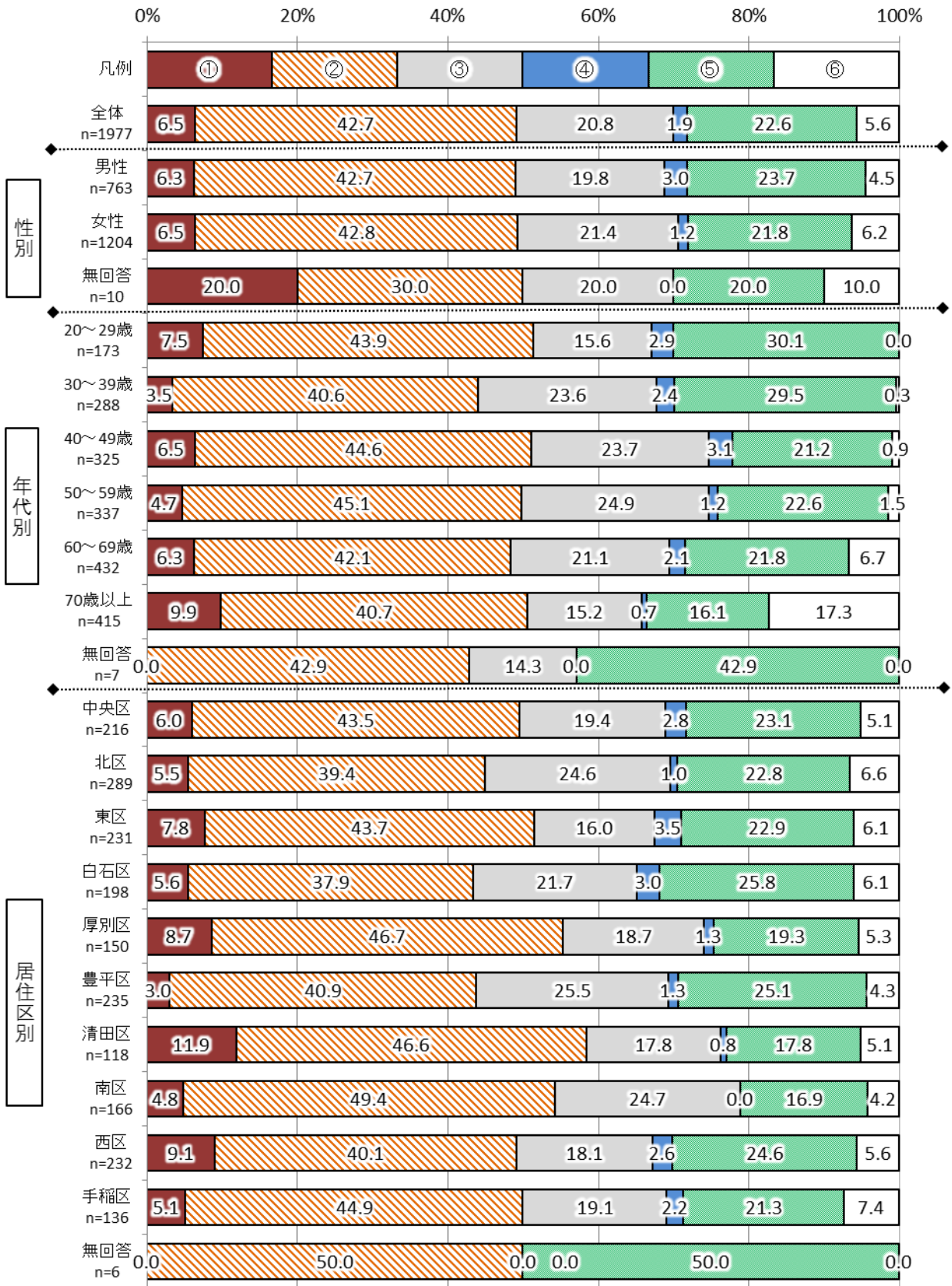
【年代別】

各年代共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、30歳代(44.1%)は他の年代に比べ低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、スコアの低い白石区(43.5%)、豊平区(43.9%)に比べ厚別区(55.4%)、清田区(58.5%)、南区(54.2%)は10ポイント以上高くなっている。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥



・ 子どもの権利の保護

《問 11 で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方のみ》

【問 12】 特に守られていないと考える子どもの権利はどれですか。以下のうち、あてはまるもの一つに○をつけてください。

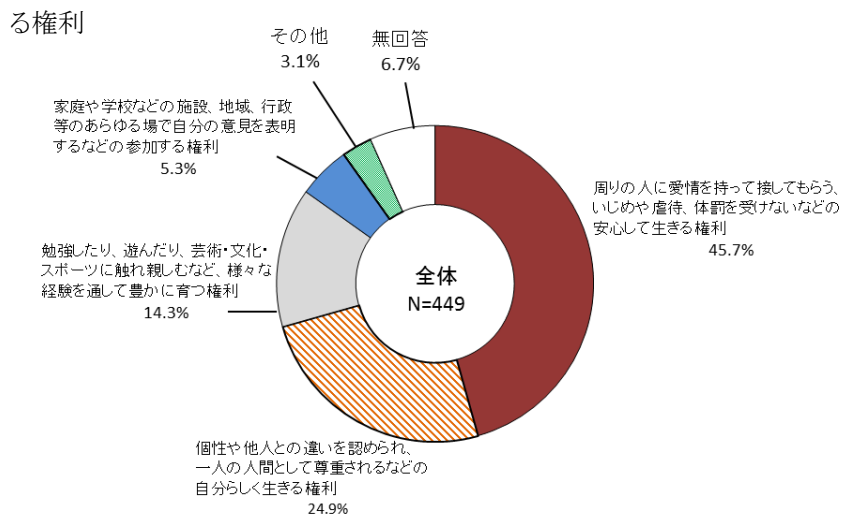
特に守られていないと考える子どもの権利については、「安心して生きる権利」(45.7%)が約5割を占めている。

「安心して生きる権利」 = 周りの人に愛情を持って接してもらい、いじめや虐待、体罰を受けないなどの安心して生きる権利

「自分らしく生きる権利」 = 個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されるなどの自分らしく生きる権利

「豊かに育つ権利」 = 勉強したり、遊んだり、芸術・文化・スポーツに触れ親しむなど、様々な経験を通して豊かに育つ権利

「参加する権利」 = 家庭や学校などの施設、地域、行政等のあらゆる場で自分の意見を表明するなどの参加する権利



【対象者全体】

特に守られていないと考える子どもの権利については、「安心して生きる権利」(45.7%)が最も多く、次いで「自分らしく生きる権利」(24.9%)、「豊かに育つ権利」(14.3%)、「参加する権利」(5.3%)となっている。

【性別】

男女共に「安心して生きる権利」が最も高いが、男性(47.7%)は女性(44.3%)に比べてやや高くなっている。また、女性(29.7%)では「自分らしく生きる権利」が男性(17.2%)よりかなり高くなっている。

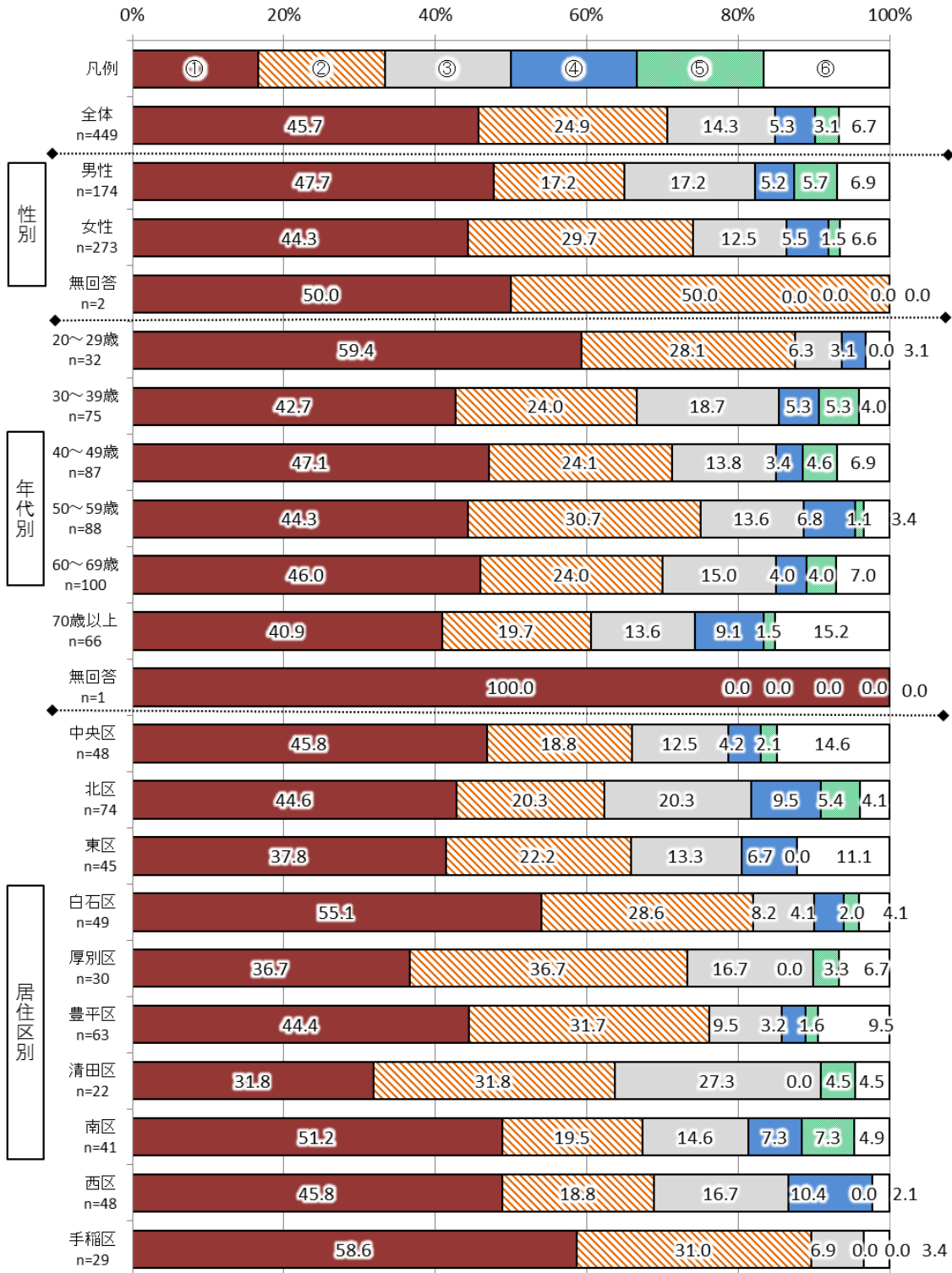
【年代別】

各年代共に「安心して生きる権利」が最も高いが、スコアの低い 70 歳以上(40.9%)、30 歳代(42.7%)に比べ 20 歳代(59.4%)は 10 ポイント以上高く約6割を占めている。

【居住区別】

全居住区で「安心して生きる権利」が最も高いが、特に「白石区」(55.1%)、「南区」(51.2%)、手稲区(58.6%)では5割を超えている。厚別区(36.7%)、豊平区(31.7%)、清田区(31.8%)では「自分らしく生きる権利」が3割を超えている。

- ①周りの人に愛情を持って接してもらい、いじめや虐待、体罰を受けないなどの安心して生きる権利
- ②個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されるなどの自分らしく生きる権利
- ③勉強したり、遊んだり、芸術・文化・スポーツに触れ親しむなど、様々な経験を通して豊かに育つ権利
- ④家庭や学校などの施設、地域、行政等のあらゆる場で自分の意見を表明するなどの参加する権利
- ⑤その他
- ⑥無回答



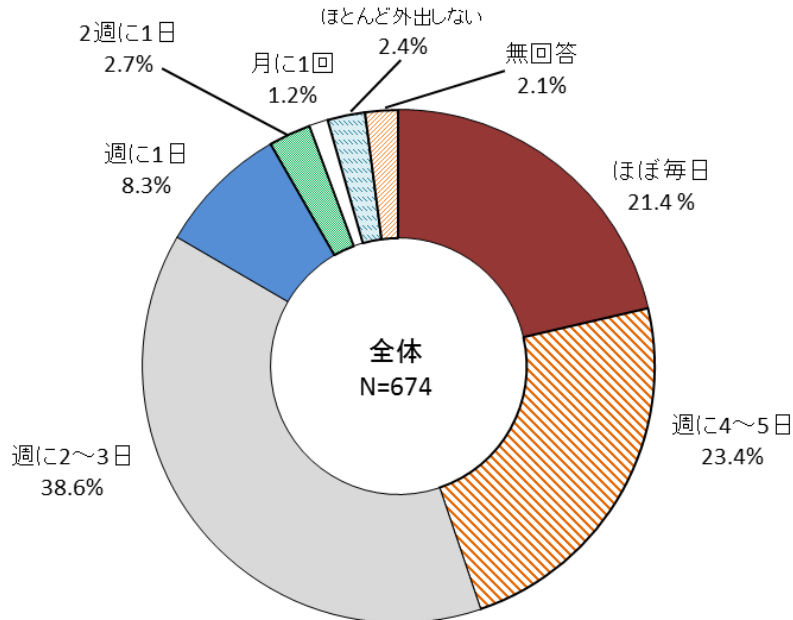
(3) 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援

・ 外出頻度

《65歳以上の方のみ》

【問 13】 (1) あなたは、年間を通してどのくらいの頻度で外出をしていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

年間を通しての外出頻度については、「週に2～3日」(38.6%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

年間を通しての外出頻度については、「週に2～3日」(38.6%)と最も高く、次いで「週に4～5日」(23.4%)、「ほぼ毎日」(21.4%)、「週に1日」(8.3%)、「2週に1日」(2.7%)、「ほとんど外出しない」(2.4%)、「月に1回」(1.2%)となっている。

【性別】

男女共に、「週に2～3日」が最も高いが、女性(40.8%)は男性(35.9%)に比べて高くなっている。また、「ほぼ毎日」では、男性(28.2%)が女性(15.8%)に比べて高く、「週に4～5日」では男女による差はない。

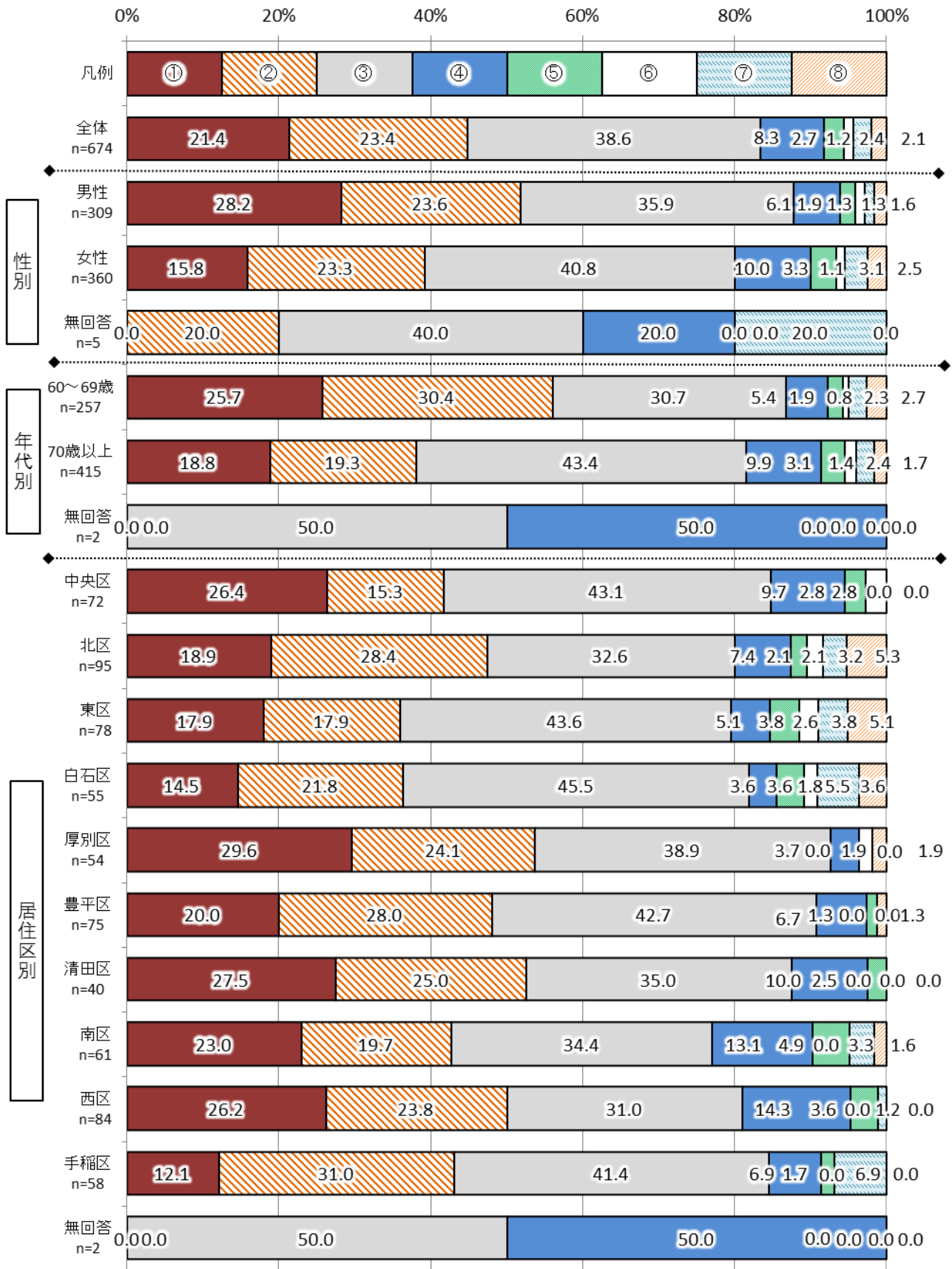
【年代別】

各年代共に「週に2～3日」が最も高いが、70歳以上(43.4%)は60歳代(30.7%)に比べて10ポイント以上高くなっている。一方、「週に4～5日」では60歳以上(30.4%)が70歳以上(19.3%)よりかなり高く、「ほぼ毎日」では60歳代(25.7%)が70歳以上(18.8%)より高く、年代による差がみられる。

【居住区別】

全居住区で「週に2～3日」が最も高く、中央区(43.1%)、東区(43.6%)、白石区(45.5%)、豊平区(42.7%)、手稲区(41.4%)では4割を超えている。「週に4～5日」では手稲区(31.0%)が約3割と他の区に比べてやや高く、「ほぼ毎日」では、中央区(26.4%)、厚別区(29.6%)、清田区(27.5%)、西区(26.2%)が約3割と他の区に比べてやや高くなっている。

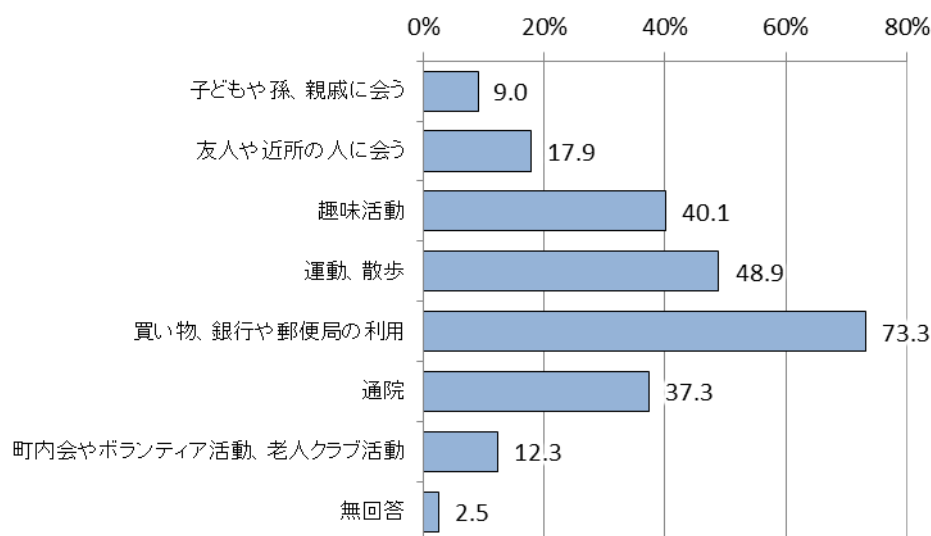
- ①ほぼ毎日 ②週に4～5日 ③週に2～3日 ④週に1日
 ⑤2週に1日 ⑥月に1回 ⑦ほとんど外出しない ⑧無回答



《(1)で「1」から「6」までのいずれかに○をつけた方のみ》

【問 13】 (2) 主な外出目的は何ですか。あてはまるものに三つまで○をつけてください。

主な外出目的については、「買い物、銀行や郵便局の利用」(73.3%)と全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

主な外出目的については、「買い物、銀行や郵便局の利用」(73.3%)が最も高く、次いで「運動、散歩」(48.9%)、「趣味活動」(40.1%)、「通院」(37.3%)、「友人や近所の人に会う」(17.9%)、「町内会やボランティア活動、老人クラブ活動」(12.3%)、「子どもや孫、親戚に会う」(9.0%)となっている。

【性別】

男女共に「買い物、銀行や郵便局の利用」が最も高いが、女性(79.7%)は男性(66.0%)に比べて10ポイント以上高くなっている。一方、「運動、散歩」では男性(57.0%)が女性(41.5%)に比べて高く、「趣味活動」では男女による差はない。

【年代別】

各年代共に「買い物、銀行や郵便局の利用」が最も高いが、60歳代(74.6%)は70歳以上(72.6%)に比べてやや高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「買い物、銀行や郵便局の利用」が最も高く、豊平区(81.1%)、清田区(80.0%)、手稲区(88.9%)では8割を超えている。一方、「運動、散歩」では手稲区(63.0%)が約6割、「趣味活動」では厚別区(54.7%)が約5割と他の区に比べて高くなっている。

上段 件数
下段 %

	対象者数	子どもや孫、親戚に会う	友人や近所の人に会う	趣味活動	運動、散歩	買い物、銀行や郵便局の利用	通院	町内会やボランティア活動、老人クラブ活動	無回答
対象者全体	644	9.0	17.9	40.1	48.9	73.3	37.3	12.3	2.5
【性別】									
男性	300	9.3	11.3	40.7	57.0	66.0	34.3	13.7	3.7
女性	340	8.8	23.5	39.7	41.5	79.7	39.7	10.9	1.5
無回答	4	0.0	25.0	25.0	75.0	75.0	50.0	25.0	0.0
【年代別】									
60～69歳	244	10.2	18.4	41.4	48.8	74.6	26.6	9.4	4.5
70歳以上	398	8.3	17.3	39.2	49.0	72.6	44.0	13.8	1.3
無回答	2	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
【居住区別】									
中央区□	72	5.6	18.1	40.3	47.2	70.8	30.6	11.1	4.2
北 区□	87	9.2	10.3	41.4	41.4	74.7	39.1	13.8	3.4
東 区	71	5.6	25.4	39.4	45.1	64.8	38.0	12.7	1.4
白石区□	50	12.0	24.0	32.0	48.0	72.0	52.0	6.0	2.0
厚別区□	53	13.2	24.5	54.7	49.1	71.7	24.5	9.4	0.0
豊平区□	74	12.2	16.2	37.8	54.1	81.1	32.4	13.5	1.4
清田区□	40	12.5	15.0	42.5	47.5	80.0	37.5	17.5	2.5
南 区□	58	8.6	8.6	41.4	46.6	67.2	36.2	19.0	5.2
西 区□	83	6.0	22.9	36.1	50.6	67.5	39.8	10.8	2.4
手稲区□	54	9.3	13.0	37.0	63.0	88.9	46.3	7.4	1.9
無回答□	2	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0

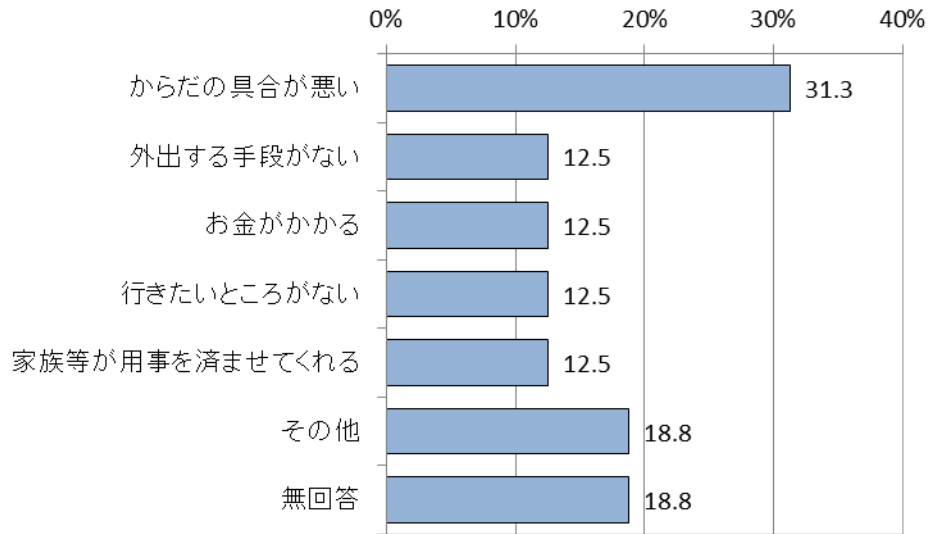
対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

<(1)で「7」に○をつけた方のみ>

【問 13】 (3) ほとんど外出しない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

ほとんど外出しない理由については、「からだの具合が悪い」(31.3%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

ほとんど外出しない理由については、「からだの具合が悪い」(31.3%)が最も高く、次いで「外出する手段がない」(12.5%)、「お金がかかる」(12.5%)、「行きたいところがない」(12.5%)、「家族等が用事を済ませてくれる」(12.5%)が同程度となっている。

【性別】

女性では「からだの具合が悪い」(45.5%)が最も高く、男性では「お金がかかる」(50.0%)が最も高くなっている。

【年代別】

各年代共に「からだの具合が悪い」が最も高いが、60歳代(33.3%)は70歳以上(30.0%)よりやや高くなっている。

【居住区別】

西区(100.0%)、手稲区(50.0%)では「からだの具合が悪い」が最も高く、北区(66.7%)では「家族等が用事を済ませてくれる」が高くなっている。

上段 件数
下段 %

	対象者数	からだの具合が悪い	外出する手段がない	お金がかかる	行きたいところがない	家族等が用事を済ませてくれる	その他	無回答
対象者全体□	16	31.3	12.5	12.5	12.5	12.5	18.8	18.8
【性別】								
男性□	4	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
女性□	11	45.5	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	27.3
無回答□	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
【年代別】								
60～69歳□	6	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7
70歳以上□	10	30.0	10.0	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0
【居住区別】								
北区□	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
東区□	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
白石区□	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0
南区□	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
西区□	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手稲区□	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

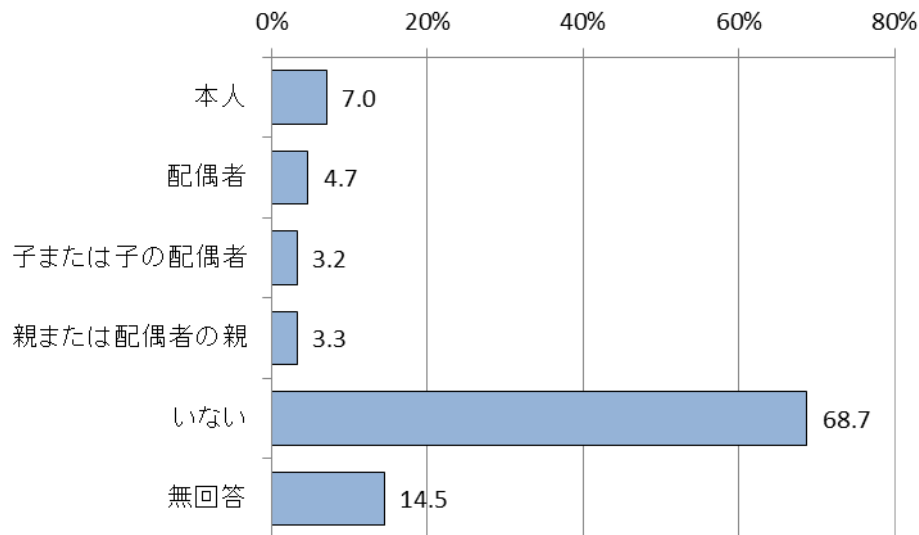
対象者全体スコアと比較して10%以上低い

- ・ 障がいのある方について

【問14】 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさに関してお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

あなた、または同居のご家族で障がいのある方がいるかについては、「いない」(68.7%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

あなた、または同居のご家族で障がいのある方がいるかについては、「いない」(68.7%)が最も高く、次いで「本人」(7.0%)、「配偶者」(4.7%)、「親または配偶者の親」(3.3%)、「子または子の配偶者」(3.2%)となっている。

【性別】

男女共に「いない」が最も高いが、女性(69.9%)は男性(67.6%)に比べてやや高くなっている

【年代別】

各年代共に「いない」が最も高いが、20歳代(87.3%)が約9割を占めるのに対して、70歳以上(54.7%)は約5割と年代が上がるに従って低くなっている。一方、70歳以上(13.7%)では「本人」が他の年代に比べて高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「いない」が最も高くなっている。一方、東区(10.0%)、清田区(10.2%)、手稲区(9.6%)では「本人」が他の区に比べてやや高くなっている。

上段 件数
下段 %

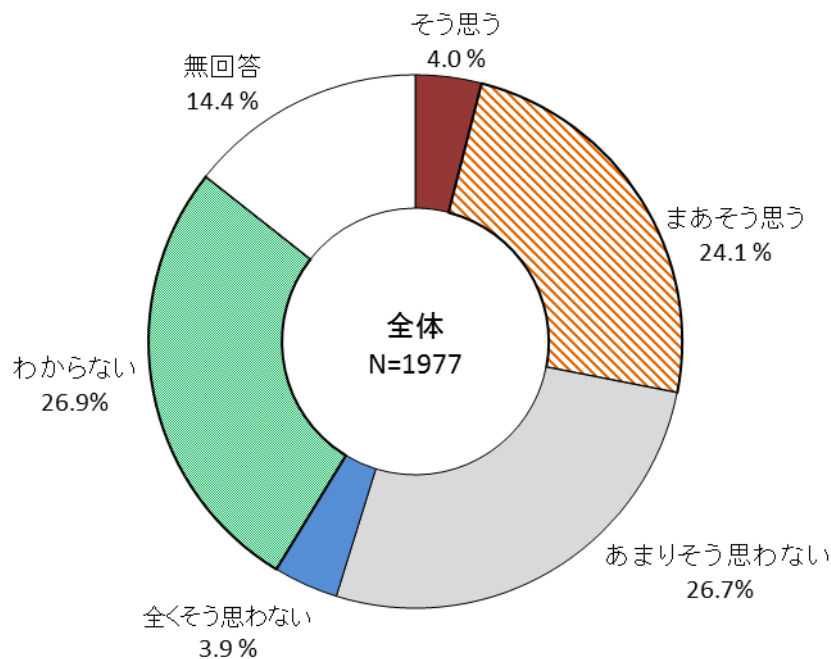
	対象者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	親または配偶者の親	いない	無回答
対象者全体□	1977	7.0	4.7	3.2	3.3	68.7	14.5
【性別】							
男性□	763	8.4	4.6	2.2	3.8	67.6	14.7
女性□	1204	6.1	4.7	3.8	3.0	69.9	14.1
無回答□	10	20.0	10.0	10.0	0.0	20.0	40.0
【年代別】							
20～29歳□	173	2.9	0.0	0.0	4.0	87.3	6.4
30～39歳□	288	4.9	1.0	3.1	5.6	74.0	13.2
40～49歳□	325	2.5	1.8	4.3	2.5	72.6	17.2
50～59歳□	337	5.3	3.6	4.5	3.3	71.2	13.4
60～69歳□	432	8.3	6.3	3.0	4.2	67.4	12.5
70歳以上□	415	13.7	10.6	2.9	1.2	54.7	18.8
無回答□	7	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	57.1
【居住区別】							
中央区□	216	7.4	1.9	4.2	2.3	68.1	18.1
北区□	289	5.9	4.5	4.5	3.5	68.5	13.8
東区□	231	10.0	5.6	3.0	2.6	68.4	13.4
白石区□	198	6.1	5.1	3.5	5.6	65.7	14.6
厚別区□	150	5.3	4.0	1.3	2.0	72.7	14.7
豊平区□	235	3.4	4.3	4.7	4.3	70.6	15.3
清田区□	118	10.2	5.9	4.2	2.5	66.1	14.4
南区□	166	7.8	7.8	1.2	4.2	69.9	10.8
西区□	232	6.9	3.0	2.6	3.4	67.2	16.8
手稲区□	136	9.6	6.6	0.7	1.5	73.5	8.8
無回答□	6	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

【問 14】(2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであるかについては、「あまりそう思わない」(26.7%)と「全くそう思わない」(3.9%)を合わせた“そう思わない”(30.6%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであるかについては、「わからない」(26.9%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(26.7%)、「まあそう思う」(24.1%)、「そう思う」(4.0%)、「全くそう思わない」(3.9%)となっている。

【性別】

男性では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”(32.1%)が最も高く、女性では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”(31.8%)が最も高くなっている。

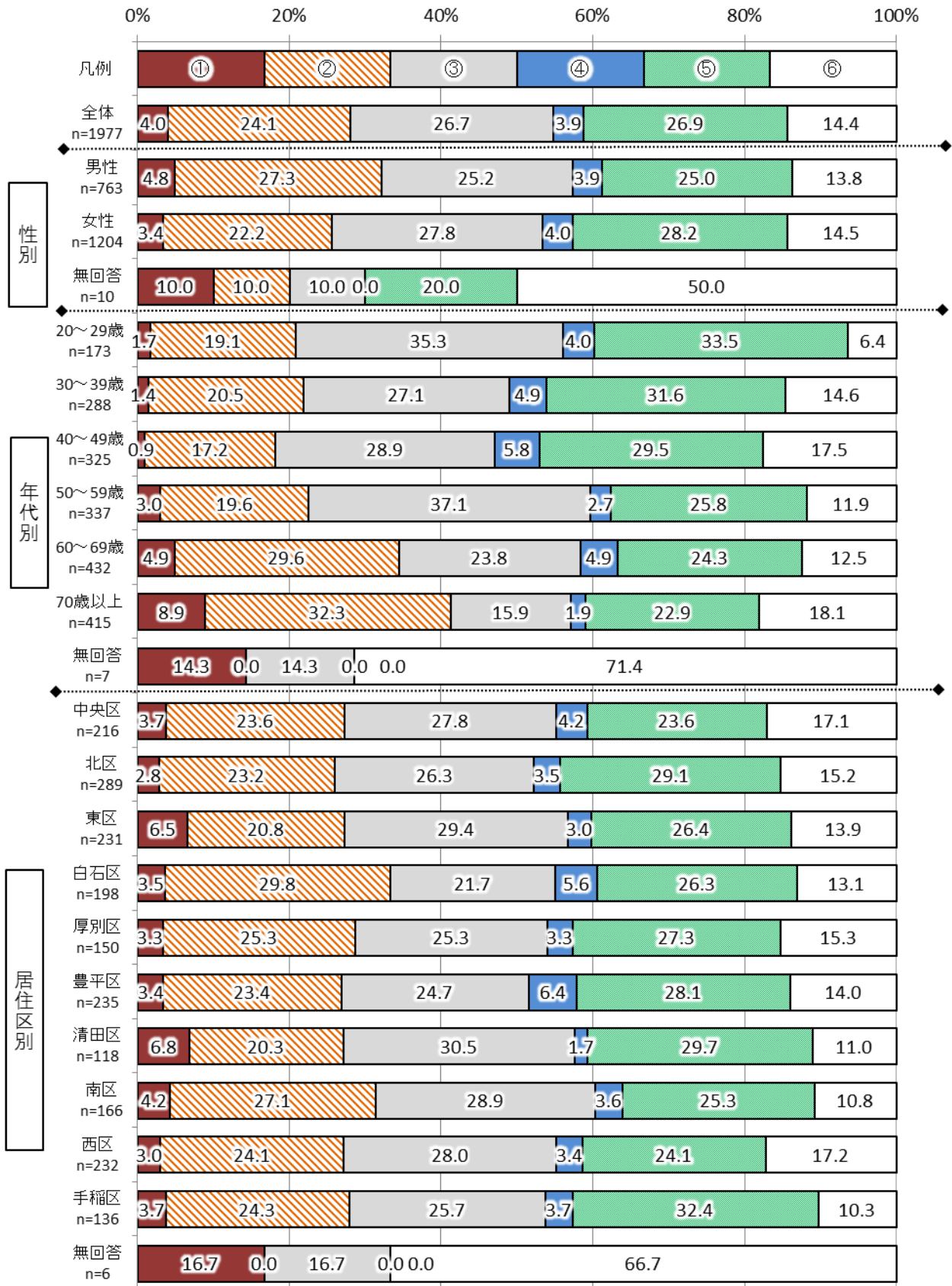
【年代別】

20 歳代(39.3%)、50 歳代(39.8%)では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が他の年代に比べて高くなっている。70 歳以上(41.2%)では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が高くなっている。

【居住区別】

白石区、厚別区を除く全ての居住区で、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高くなっている。

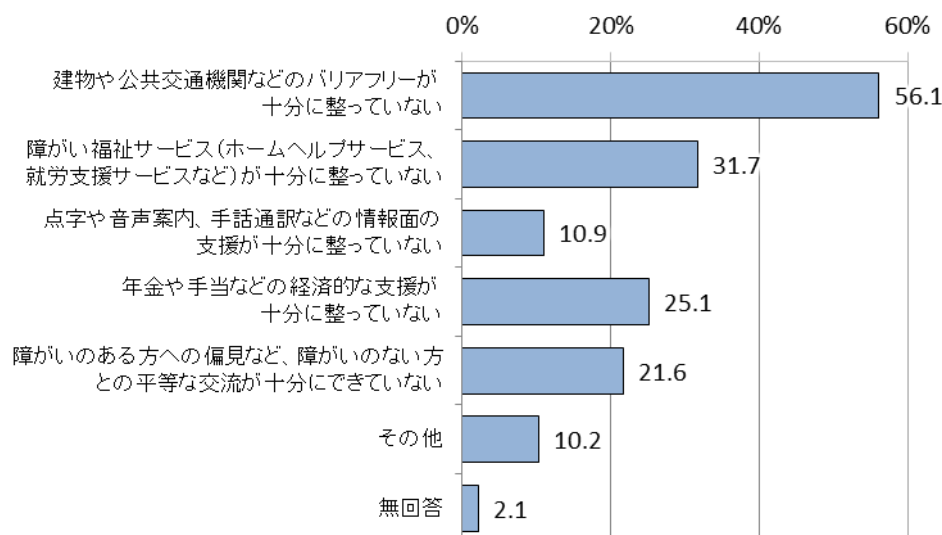
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
- ④ ⑥ ⑥



《問 14(2)で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方のみ》

【問 15】暮らしにくいと思う主な理由はありますか。あてはまるものに○を付けてください。(2つまで)

暮らしにくいと思う主な理由については、「建物や公共交通機関などのバリアフリーが十分に整っていない」(56.1%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

暮らしにくいと思う主な理由については、「建物や公共交通機関などのバリアフリーが十分に整っていない」(56.1%)が最も高く、次いで「障がい福祉サービス(ホームヘルプサービス、就労支援サービスなど)が十分に整っていない」(31.7%)、「年金や手当などの経済的な支援が十分に整っていない」(25.1%)、「障がいのある方への偏見など、障がいのない方との平等な交流が十分にできていない」(21.6%)、「点字や音声案内、手話通訳などの情報面の支援が十分に整っていない」(10.9%)となっている。

【性別】

男女共に「建物や公共交通機関などのバリアフリーが十分に整っていない」が最も高いが、女性(59.5%)は男性(50.5%)に比べて約 10 ポイント高くなっている。

【年代別】

各年代共に「建物や公共交通機関などのバリアフリーが十分に整っていない」が最も高く、20 歳代(60.3%)、60 歳代(62.1%)は他の年代に比べてやや高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「建物や公共交通機関などのバリアフリーが十分に整っていない」が最も高いが、スコアの低い南区(48.1%)、白石区(50.0%)、清田区(50.0%)、厚別区(51.2%)に比べると、中央区(65.2%)、西区(64.4%)は 10 ポイント以上高くなっている。

上段 件数
下段 %

	対象者数	建築物や公共交通機関などのバリア	障害者が十分に就労していない	障がい福祉サービス（ホームヘルプなど）の活用が十分でない	情報面の支援が十分に整っていない	点字や音声案内、手話通訳などの	年金や手当などの経済的な支援が	十分にできている方への平等な交流が十	障がいのある方への偏見など、障	その他	無回答
対象者全体	606	56.1	31.7	10.9	25.1	21.6	10.2	2.1			
【性別】											
男性	222	50.5	36.9	11.7	27.9	16.7	12.6	1.8			
女性	383	59.5	28.7	10.4	23.5	24.5	8.9	2.1			
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0			
【年代別】											
20～29歳	68	60.3	19.1	19.1	8.8	29.4	11.8	0.0			
30～39歳	92	51.1	25.0	8.7	26.1	26.1	20.7	0.0			
40～49歳	113	55.8	36.3	12.4	25.7	26.5	8.8	0.0			
50～59歳	134	56.7	41.0	9.0	26.1	18.7	8.2	1.5			
60～69歳	124	62.1	31.5	8.9	25.0	20.2	5.6	3.2			
70歳以上	74	47.3	27.0	10.8	36.5	9.5	9.5	9.5			
無回答	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
【居住区別】											
中央区	69	65.2	34.8	15.9	17.4	23.2	7.2	1.4			
北区	86	54.7	29.1	10.5	22.1	23.3	11.6	2.3			
東区	75	57.3	29.3	4.0	36.0	17.3	16.0	1.3			
白石区	54	50.0	44.4	5.6	31.5	13.0	9.3	1.9			
厚別区	43	51.2	27.9	14.0	23.3	25.6	7.0	4.7			
豊平区	73	54.8	27.4	9.6	16.4	31.5	9.6	0.0			
清田区	38	50.0	34.2	10.5	36.8	18.4	10.5	2.6			
南区	54	48.1	27.8	11.1	29.6	24.1	11.1	3.7			
西区	73	64.4	38.4	12.3	17.8	19.2	9.6	1.4			
手稲区	40	57.5	20.0	20.0	30.0	17.5	7.5	5.0			
無回答	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

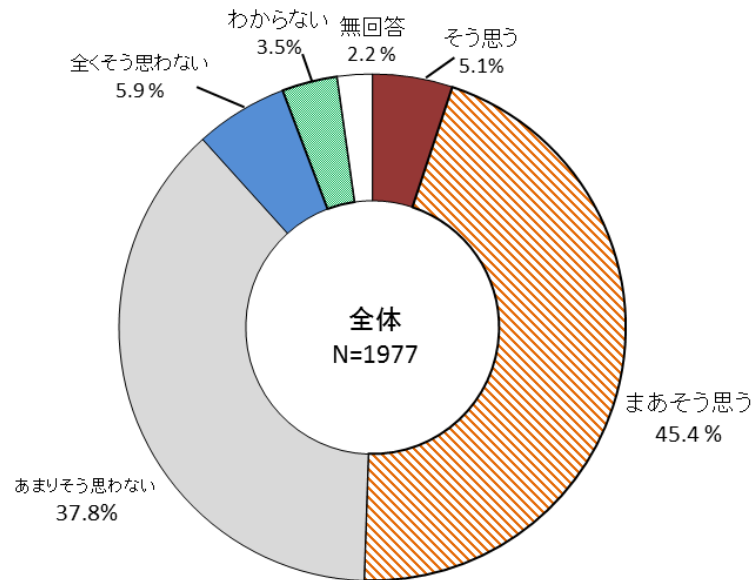
対象者全体スコアと比較して10%以上低い

(4) 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実

・ 犯罪について

【問16】 札幌市は、「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」かについては、「そう思う」(5.1%)と「まあそう思う」(45.4%)を合わせた“そう思う”(50.5%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」かについては、「まあそう思う」(45.4%)が最も高く、次いで「あまりそう思わない」(37.8%)、「全くそう思わない」(5.9%)、「そう思う」(5.1%)、「わからない」(3.5%)となっている。

【性別】

男女共に「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高いが、男性(55.2%)は女性(47.9%)に比べて高くなっている。一方、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”は、男性(40.1%)に比べて女性(46.1%)が高くなっている。

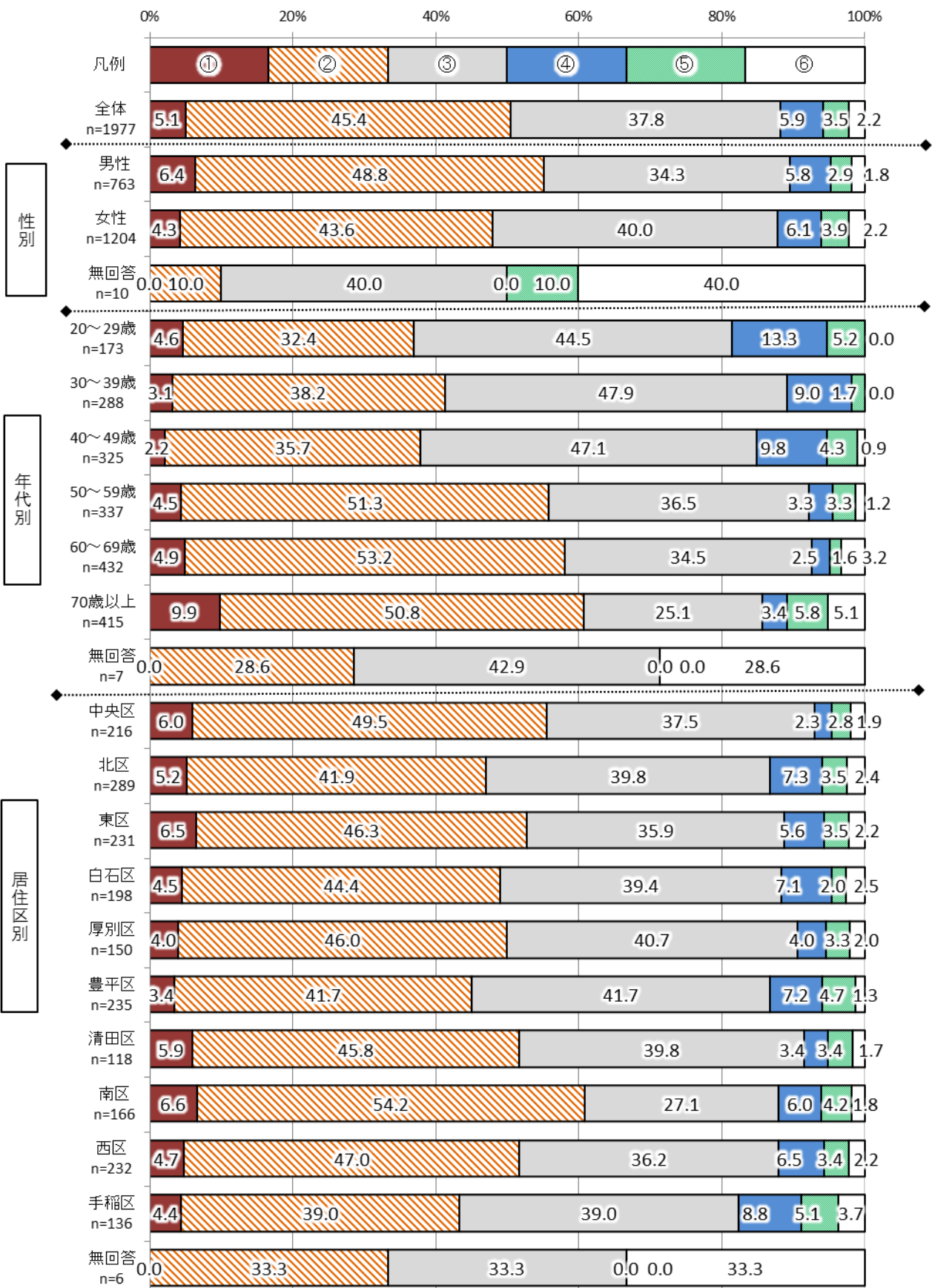
【年代別】

50歳代(55.8%)、60歳代(58.1%)、70歳以上(60.7%)では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高くなっている。一方、20歳代(57.8%)、30歳代(56.9%)、40歳代(56.9%)では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が高くなっている。

【居住区別】

中央区(55.5%)、東区(52.8%)、清田区(51.7%)、南区(60.8%)、西区(51.7%)では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた“そう思う”が最も高くなっている。一方、豊平区(48.9%)、手稲区(47.8%)では「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”がやや高くなっている。

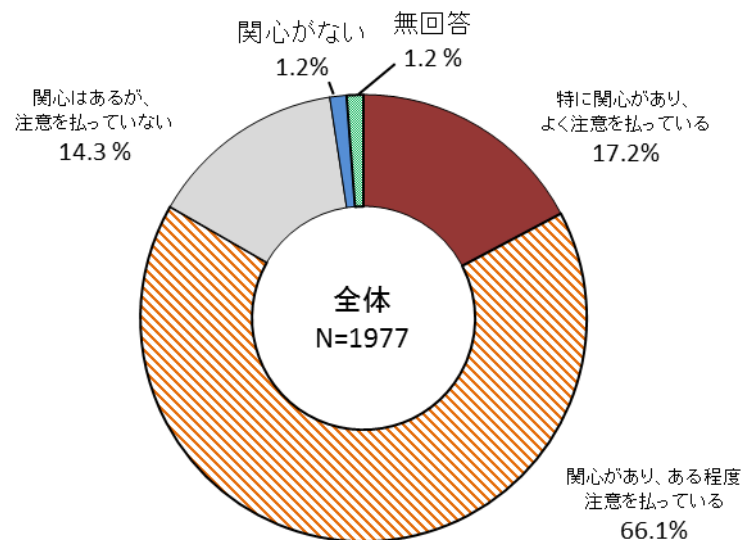
- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



・ 食品の安全性について

【問 17】 あなたは、毎日食べている食品の安全性に関心を持ち、注意を払っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

食品の安全性に関心を持ち、注意を払っているかについては、「特に関心があり、よく注意を払っている」(17.2%)と「関心があり、ある程度注意を払っている」(66.1%)を合わせた“注意を払っている”(83.3%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

食品の安全性に関心を持ち、注意を払っているかについては、「関心があり、ある程度注意を払っている」(66.1%)が最も高く、次いで「特に関心があり、よく注意を払っている」(17.2%)、「関心はあるが、注意を払っていない」(14.3%)、「関心がない」(1.2%)となっている。

【性別】

男女共に、「特に関心があり、よく注意を払っている」と「関心があり、ある程度注意を払っている」を合わせた“注意を払っている”が最も高いが、女性(86.0%)は男性(79.1%)に比べてかなり高くなっている。

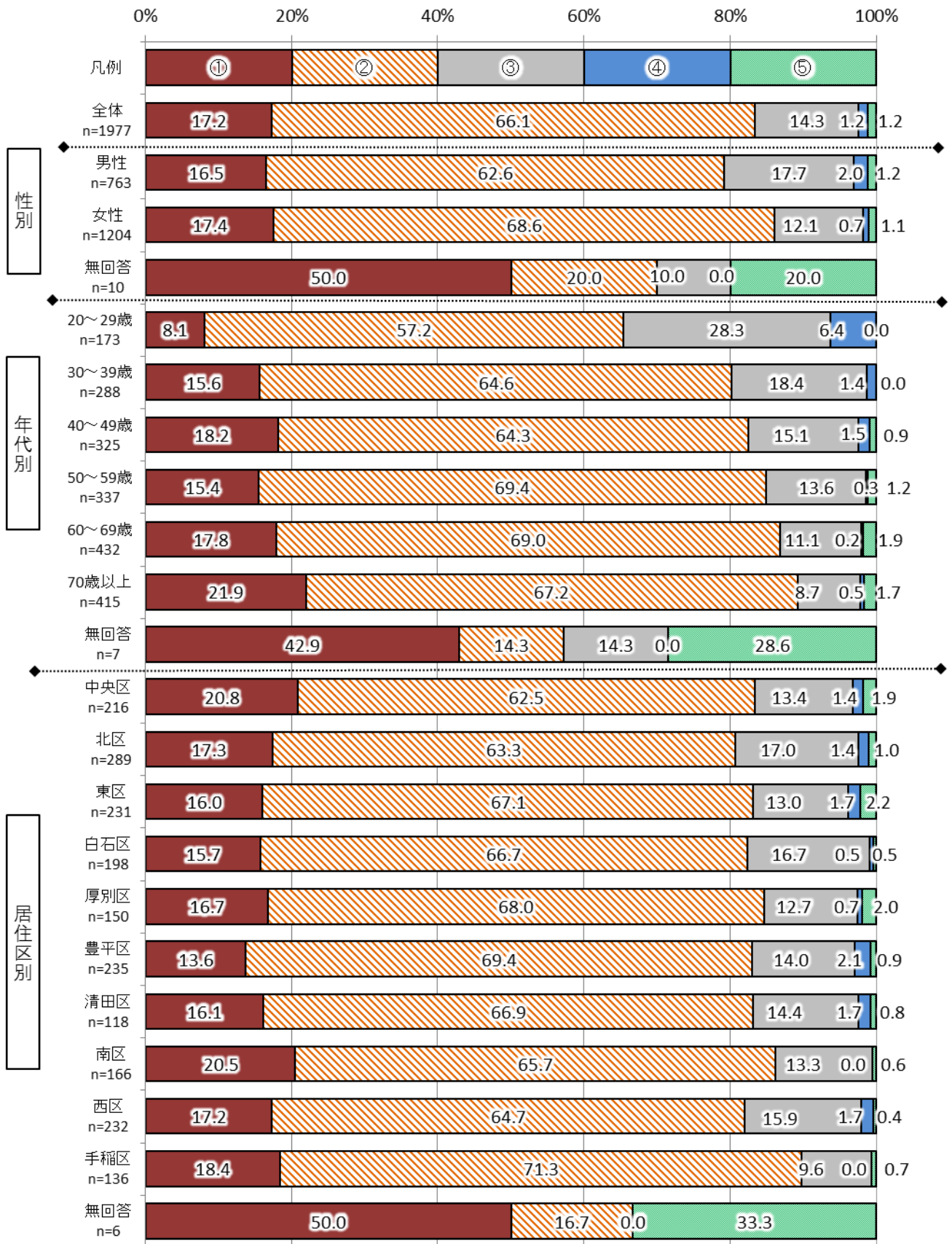
【年代別】

各年代共に「特に関心があり、よく注意を払っている」と「関心があり、ある程度注意を払っている」を合わせた“注意を払っている”が最も高いが、特に年代が上がるに従って高くなり、20歳代(65.3%)と70歳以上(89.1%)では20ポイント以上の差がある。

【居住区別】

全居住区で「特に関心があり、よく注意を払っている」と「関心があり、ある程度注意を払っている」を合わせた“注意を払っている”が最も高く、手稲区(89.7%)では約9割を占めている。

- ①特に関心があり、よく注意を払っている ②関心があり、ある程度注意を払っている
 ③関心はあるが、注意を払っていない ④関心がない ⑤無回答

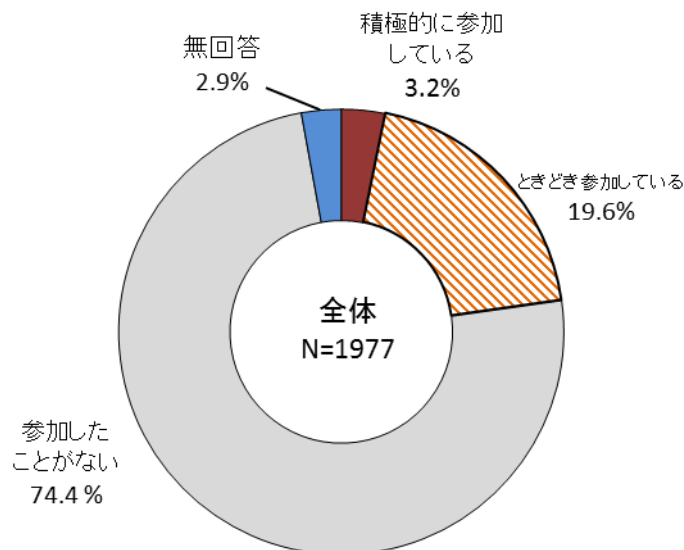


・ 防犯活動について

【問 18】 あなたは、地域などの自主的な防犯活動※に参加していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「自主的な防犯活動」とは、この場合、パトロール、登下校時の子どもの見守り、子ども 110 番の家への加入、環境美化活動などのことを指しています。

自主的な防犯活動への参加については、「積極的に参加している」(3.2%)と「ときどき参加している」(19.6%)を合わせた“参加している”(22.8%)が全体の約2割となっている。



【対象者全体】

自主的な防犯活動への参加については、「参加したことがない」(74.4%)が最も高く、次いで「ときどき参加している」(19.6%)、「積極的に参加している」(3.2%)となっている。

【性別】

男女共に「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた“参加している”は低いですが、女性(23.5%)は男性(21.8%)に比べてやや高くなっている。一方、「参加したことがない」は男女共に7割を超えている。

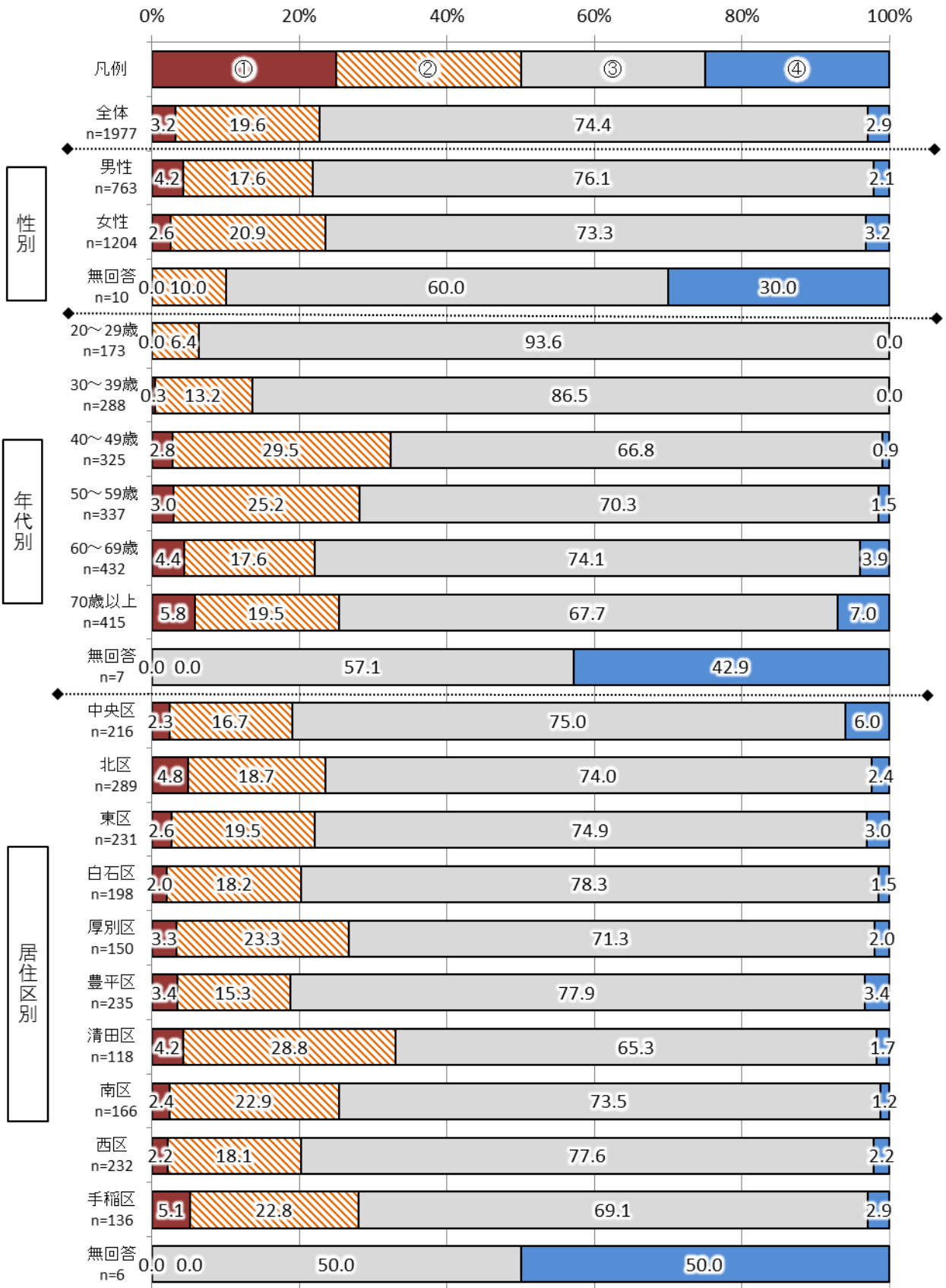
【年代別】

各年代共に「参加したことがない」が最も高いが、40歳代(32.3%)、50歳代(28.2%)では「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた“参加している”が他の年代より高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「参加したことがない」が最も高くなっている。一方、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた“参加している”は、スコアの低い中央区(19.0%)、白石区(20.2%)、豊平区(18.7%)に比べて清田区(33.0%)は10ポイント以上高くなっている。

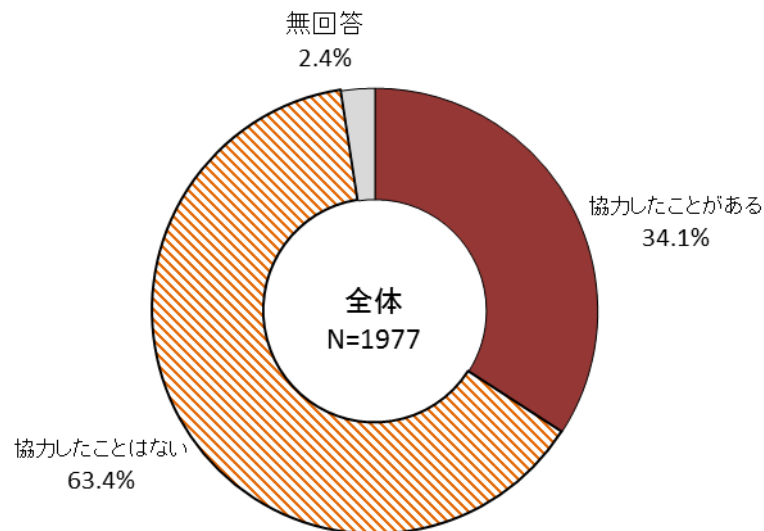
①積極的に参加している ②ときどき参加している ③参加したことがない ④無回答



・ 雪の処理に関する取り組みについて

【問 19】 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園などの利用や、その後の雪割りや清掃などで町内会等に協力したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

地域の雪は地域で処理する取り組みについては、「協力したことがある」(34.1%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

地域の雪は地域で処理する取り組みについては「協力したことはない」(63.4%)が最も高く、「協力したことがある」(34.1%)は約3割となっている。

【性別】

男女共に「協力したことはない」が最も高いが、「協力したことがある」は男性(38.3%)が女性(31.6%)に比べて高くなっている。

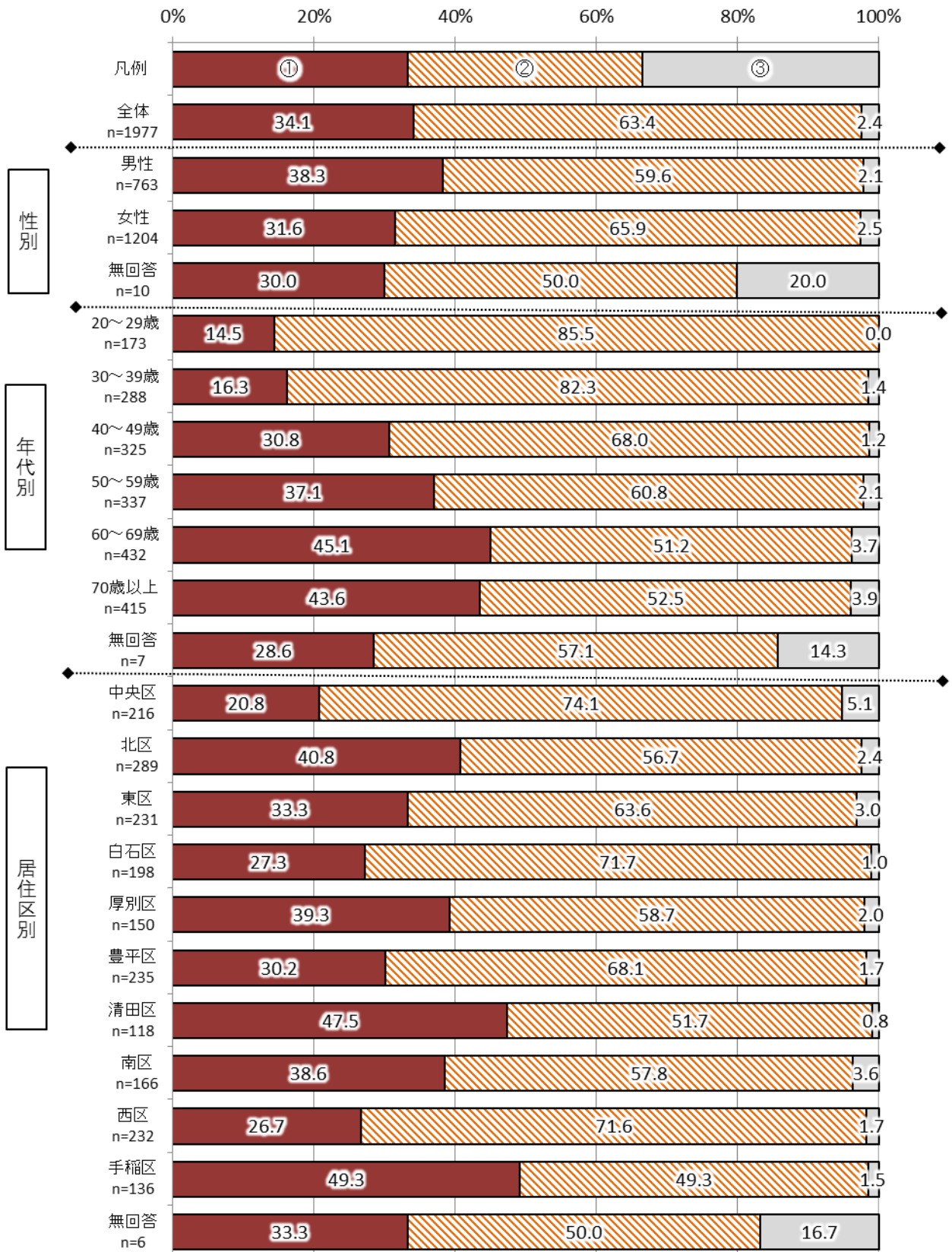
【年代別】

各年代共に「協力したことはない」が最も高いが、「協力したことがある」は年代が上がるに従って高くなり、60歳代(45.1%)、70歳以上(43.6%)では4割を超えている。

【居住区別】

手稲区を除いた全居住区で「協力したことはない」が最も高いが、北区(40.8%)、厚別区(39.3%)、清田区(47.5%)、手稲区(49.3%)では「協力したことがある」が約4割から5割近くを占めている。

①協力したことがある ②協力したことはない ③無回答

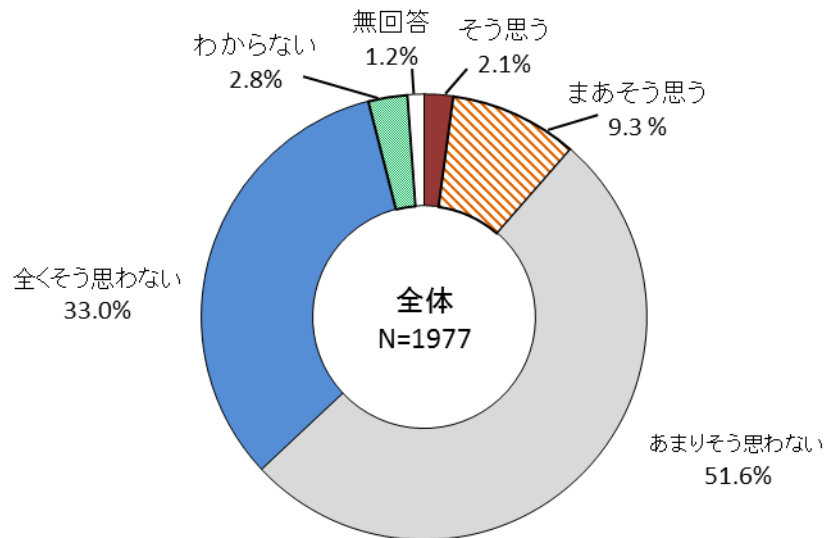


・ 自転車のルールやマナーについて

【問 20】 札幌市は、「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「ルール」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」など道路交通法に定めのある規則のこと、「マナー」とは、「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」など他人に迷惑をかけないために守るべきことを指しています。

「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」かについては、「あまりそう思わない」(51.6%)と「全くそう思わない」(33.0%)を合わせた“そう思わない”(84.6%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」かについては、「あまりそう思わない」(51.6%)が最も高く、次いで「全くそう思わない」(33.0%)、「まあそう思う」(9.3%)、「そう思う」(2.1%)となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、男性(85.1%)、女性(84.3%)での差はほとんどない。

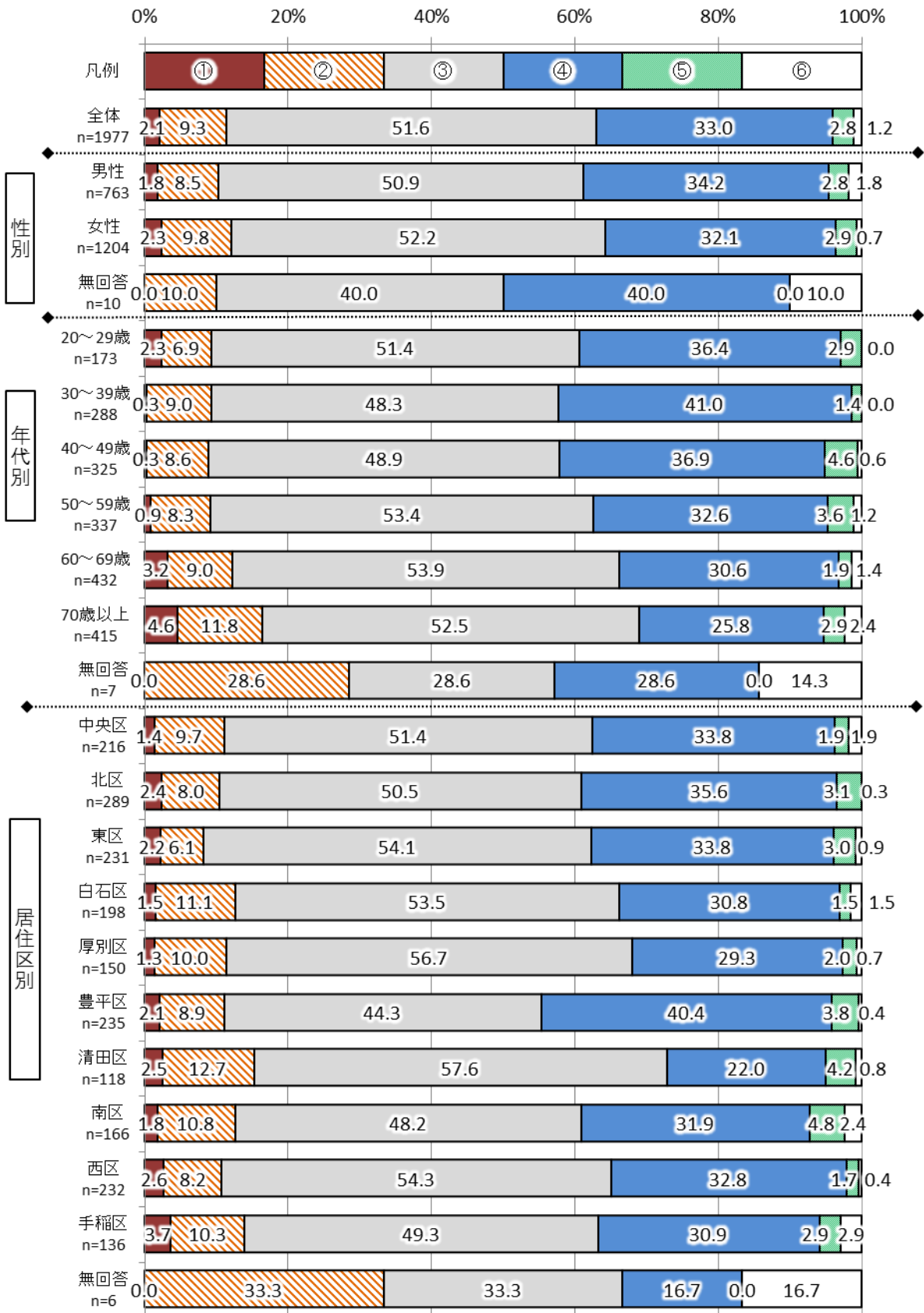
【年代別】

各年代共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、特に 20 歳代(87.8%)では9割近くを占めている。

【居住区別】

全居住区で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高く、特に東区(87.9%)、西区(87.1%)でやや高くなっている。

- ① そう思う ② まあそう思う ③ あまりそう思わない
 ④ 全くそう思わない ⑤ わからない ⑥ 無回答



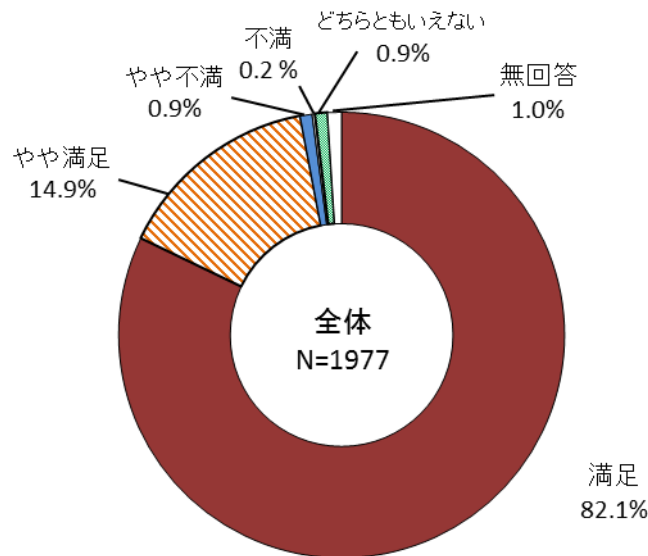
(5) 水道事業について

- ・ 水道事業に関する満足度

【問 21】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く。)

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「満足」(82.1%)と「やや満足」(14.9%)を合わせた“満足”(97.0%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「満足」(82.1%)が最も高く、次いで「やや満足」(14.9%)、「やや不満」(0.9%)、「どちらともいえない」(0.9%)、「不満」(0.2%)となっている。

【性別】

男女共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高く、男性(97.0%)、女性(97.1%)による差はない。

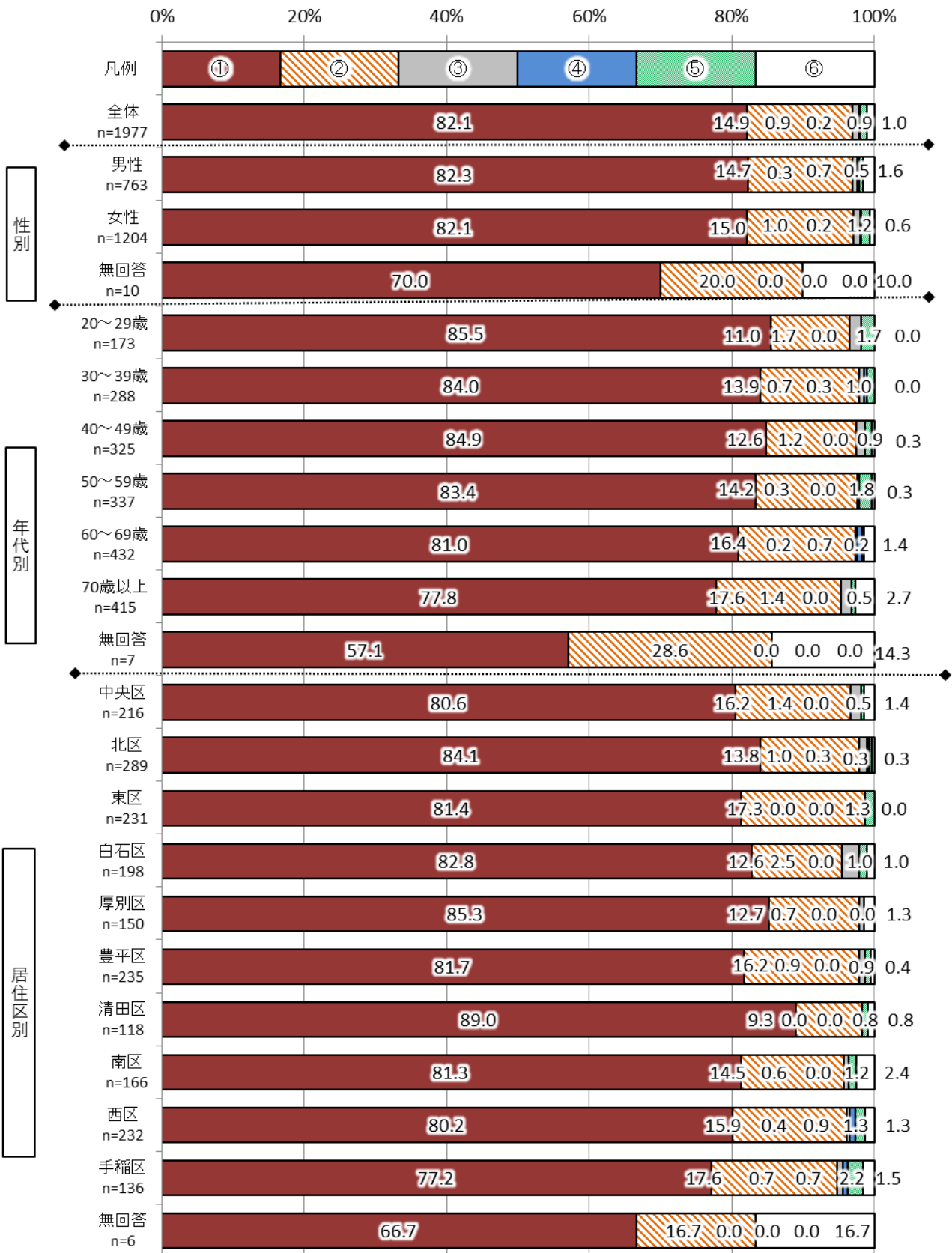
【年代別】

各年代共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

【居住区別】

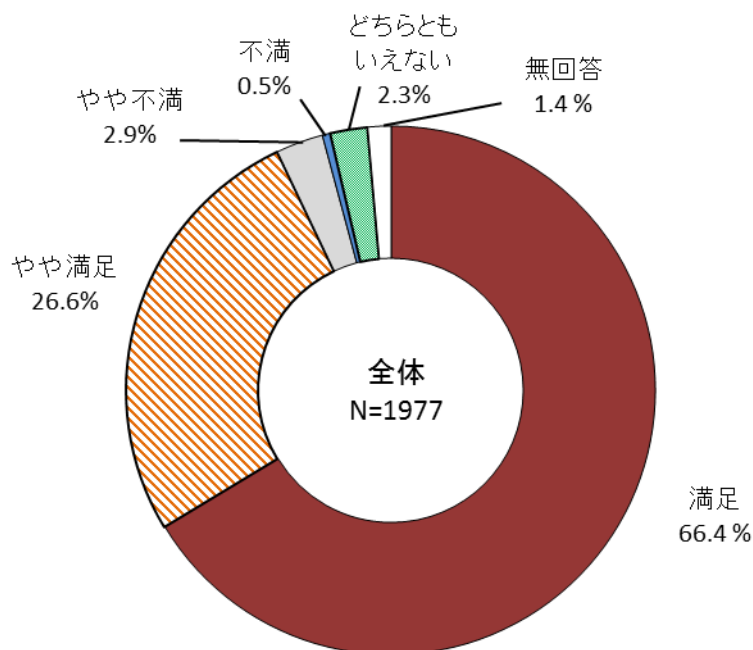
全ての居住区で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 21】 (2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「満足」(66.4%)と「やや満足」(26.6%)を合わせた“満足”(93.0%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「満足」(66.4%)が最も高く、次いで「やや満足」(26.6%)、「やや不満」(2.9%)、「どちらともいえない」(2.3%)、「不満」(0.5%)となっている。

【性別】

男女共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高く、男性(93.1%)、女性(92.8%)による差はない。

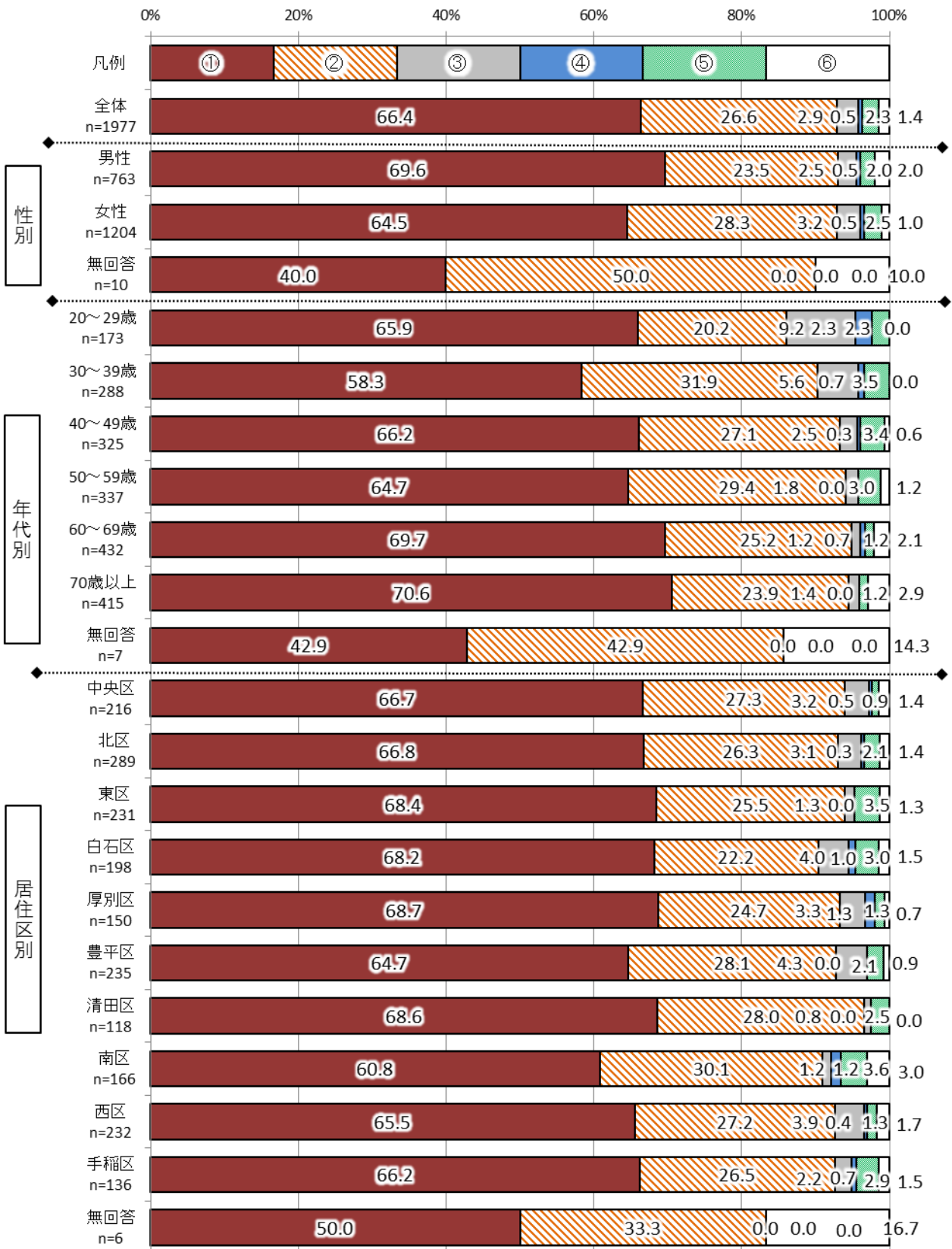
【年代別】

各年代共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高いが、20歳代(86.1%)は他の年代に比べてやや低く、年代が上がるに従って高くなっている。

【居住区別】

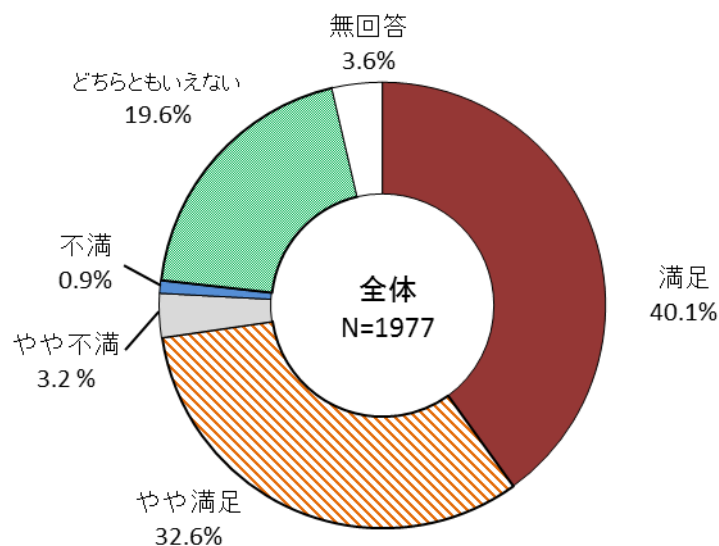
全ての居住区で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 21】 (3) お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「満足」(40.1%)と「やや満足」(32.6%)を合わせた“満足”(72.7%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「満足」(40.1%)が最も高く、次いで「やや満足」(32.6%)、「どちらともいえない」(19.6%)、「やや不満」(3.2%)、「不満」(0.9%)となっている。

【性別】

男女共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高く、女性(73.4%)は男性(71.9%)に比べてやや高くなっている。

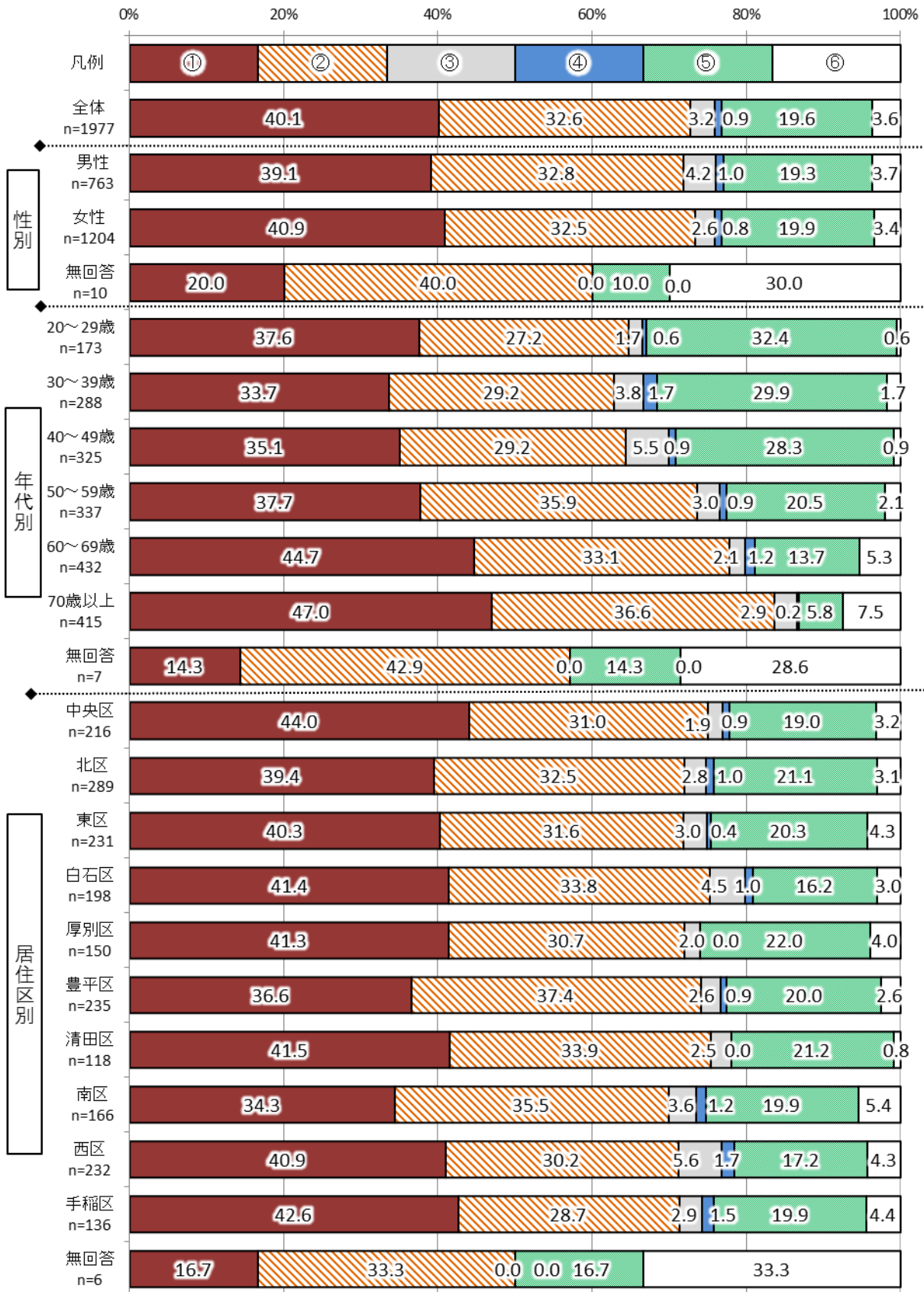
【年代別】

各年代共に「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高いが、20歳代(64.8%)、30歳代(62.9%)、40歳代(64.3%)は約6割であるのに対して、50歳代(73.6%)、60歳代(77.8%)、70歳以上(83.6%)では7割を超えている。

【居住区別】

全ての居住区で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も高くなっている。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答

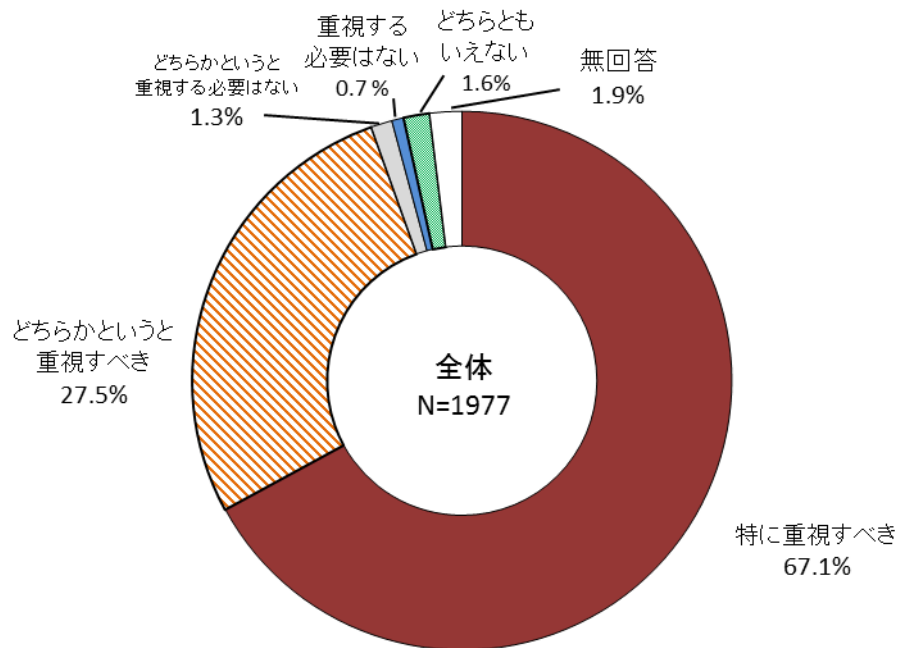


- ・ 水道事業で重視すべきこと

【問 22】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄について今後どのくらい重視すべきとお考えですか。
 (1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く。)

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「特に重視すべき」(67.1%)と「どちらかといえは重視すべき」(27.5%)を合わせた“重視すべき”(94.6%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

止まることなく水道水を安定してお届けすることについては、「特に重視すべき」(67.1%)が最も高く、次いで「どちらかといえは重視すべき」(27.5%)、「どちらともいえない」(1.6%)、「どちらかというと重視する必要がある」(1.3%)、「重視する必要がある」(0.7%)となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」と「どちらかといえは重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高く、男性(95.4%)、女性(94.1%)による差はない。

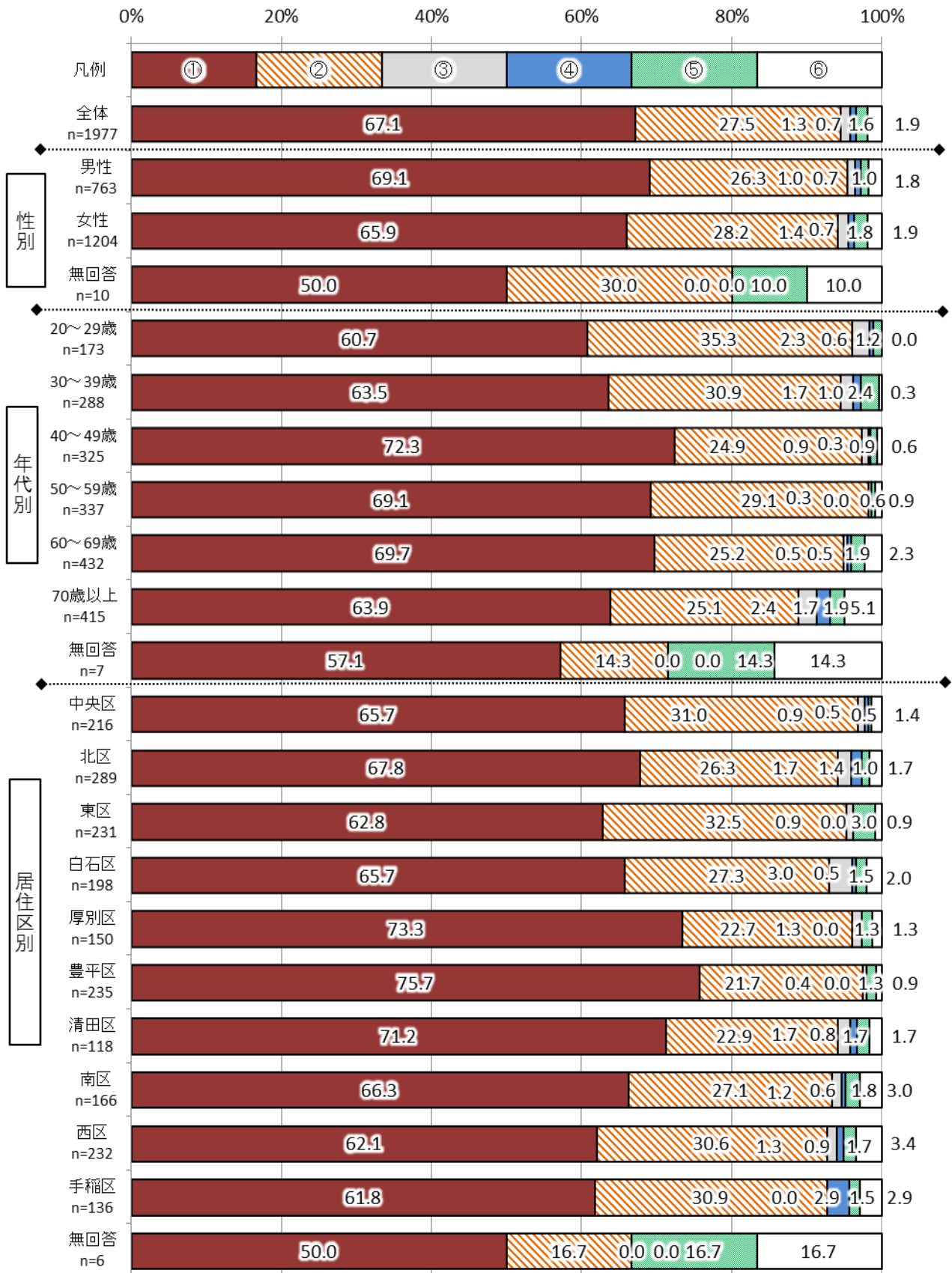
【年代別】

各年代共に「特に重視すべき」と「どちらかといえは重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、70歳以上(89.0%)は他の年代に比べてやや低くなっている。

【居住区別】

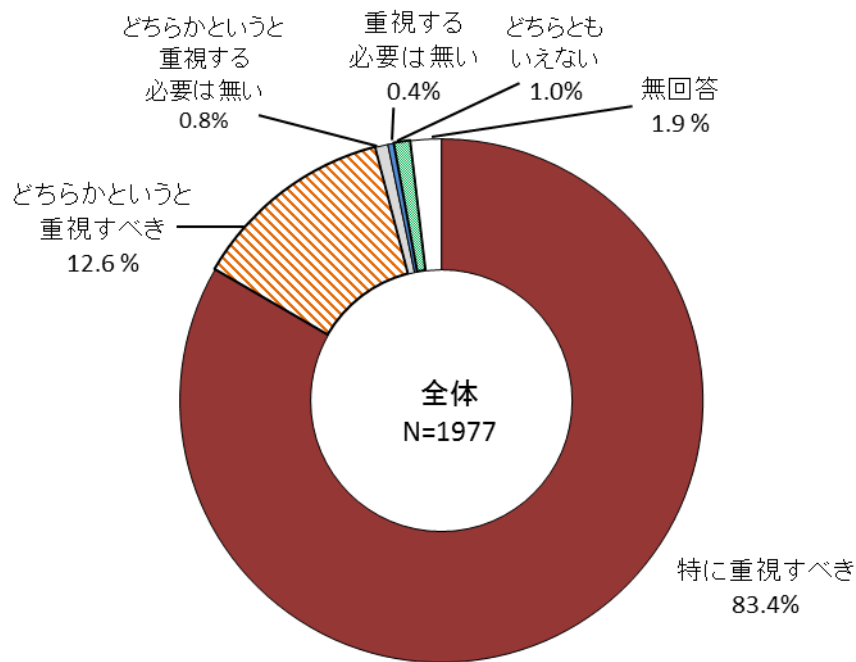
全ての居住区で「特に重視すべき」と「どちらかといえは重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高くなっている。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
 ④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 22】 (2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「特に重視すべき」(83.4%)と「どちらかといえば重視すべき」(12.6%)を合わせた“重視すべき”(96.0%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

安全で良質な水道水をお届けすることについては、「特に重視すべき」(83.4%)が最も高く、次いで「どちらかといえば重視すべき」(12.6%)、「どちらともいえない」(1.0%)、「どちらかというと重視する必要がある」(0.8%)、「重視する必要がある」(0.4%)となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高く、男性(96.2%)と女性(95.9%)の差はない。

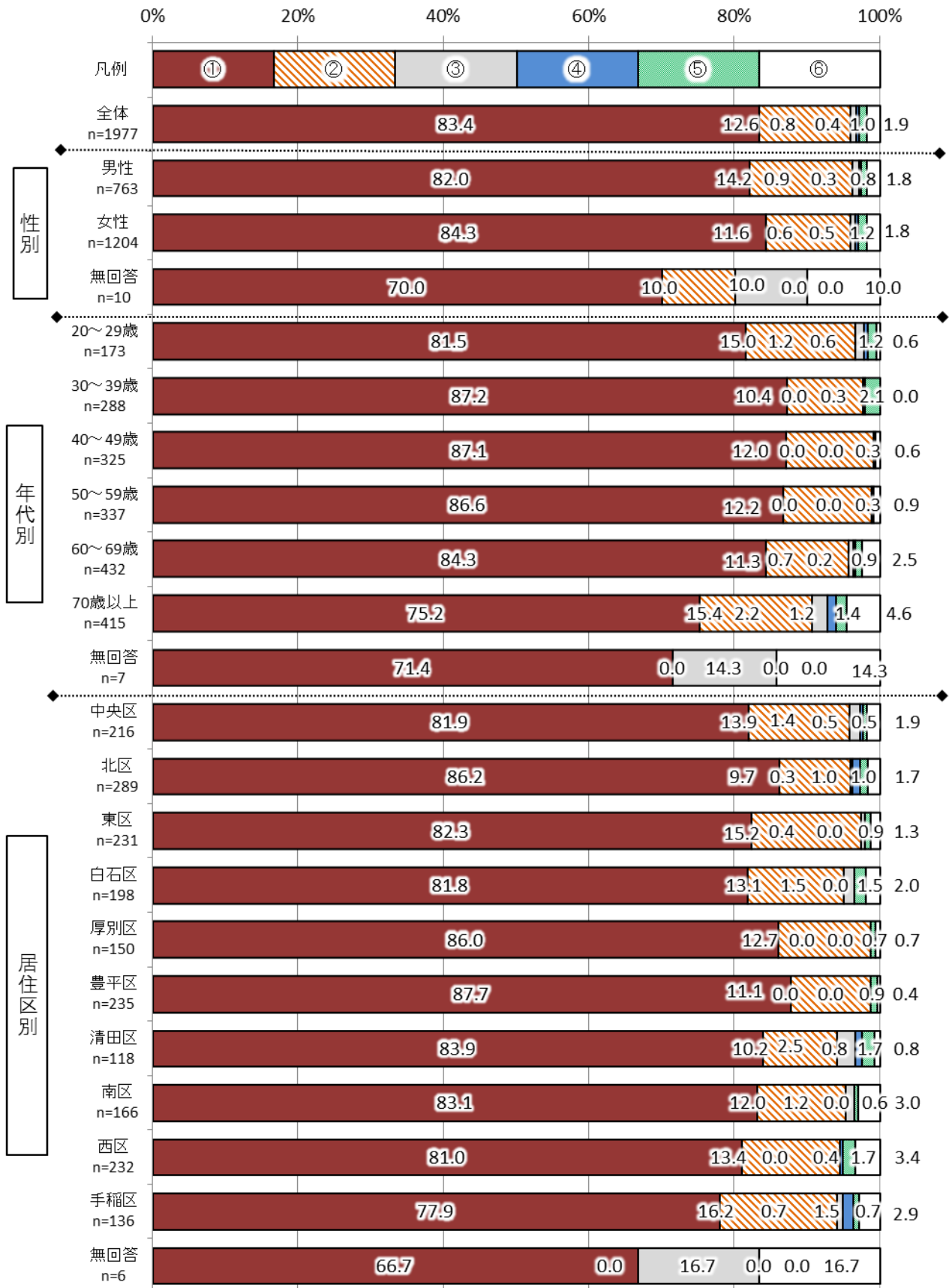
【年代別】

各年代共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、40歳代(99.1%)、50歳代(98.8%)では他の年代よりもやや高く、70歳以上(90.6%)はやや低くなっている。

【居住区別】

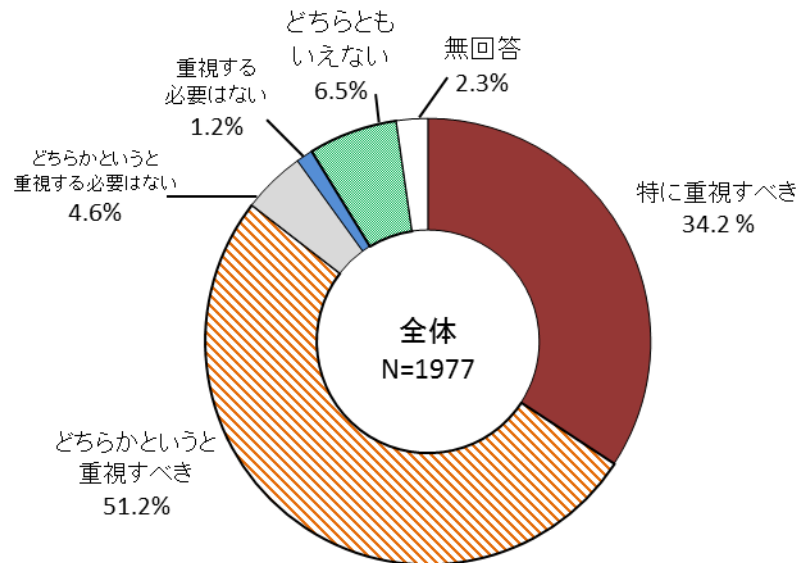
全ての居住区で「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高くなっている。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
 ④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



【問 22】 (3) お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「特に重視すべき」(34.2%)と「どちらかといえば重視すべき」(51.2%)を合わせた“重視すべき”(85.4%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

お客さまサービス(問い合わせ対応・広報)については、「どちらかといえば重視すべき」(51.2%)が最も高く、次いで「特に重視すべき」(34.2%)、「どちらともいえない」(6.5%)、「どちらかといえば重視する必要はない」(4.6%)、「重視する必要はない」(1.2%)となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、女性(86.7%)は男性(83.7%)に比べてやや高くなっている。

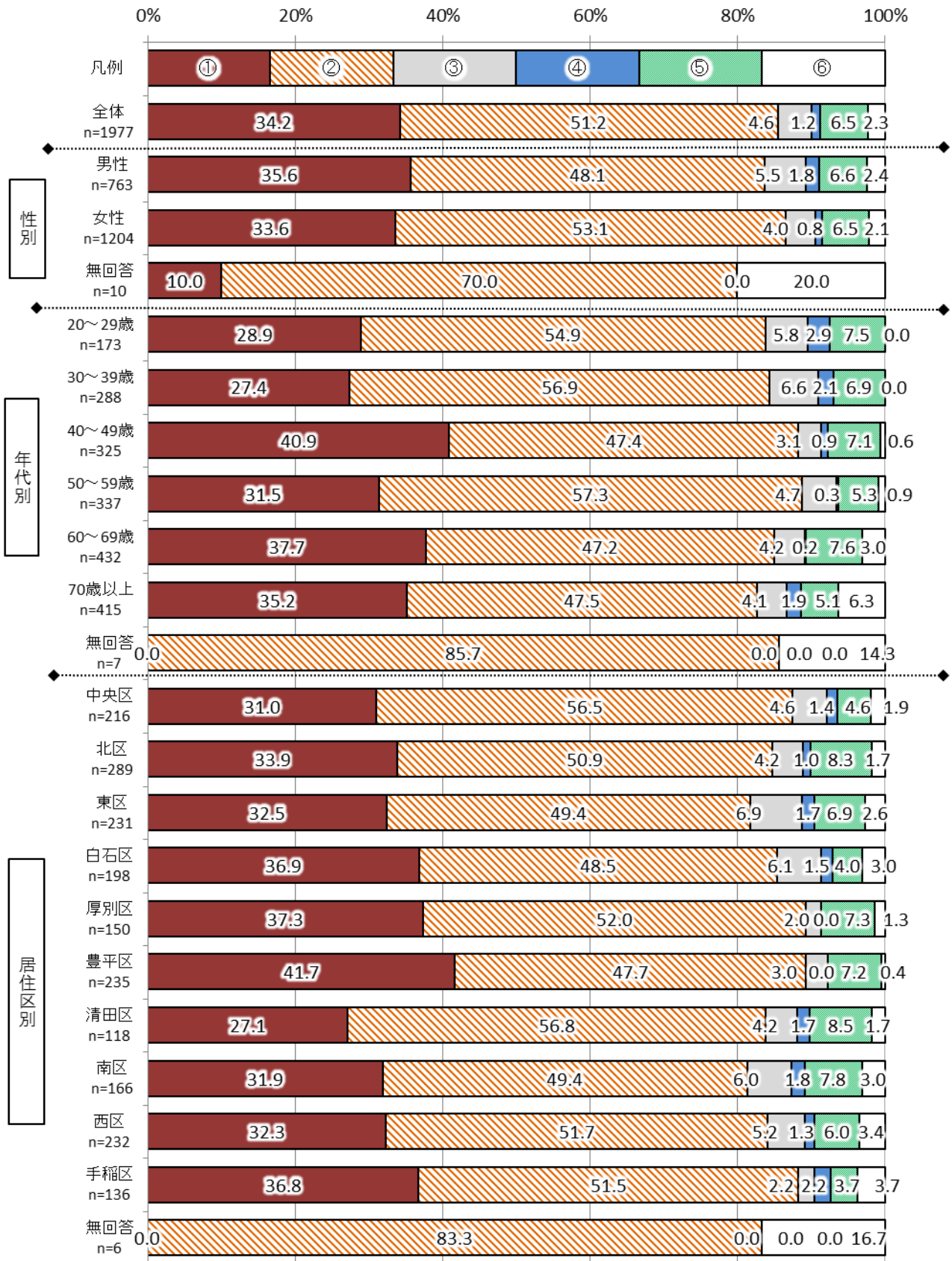
【年代別】

各年代共に「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、40歳代(88.3%)、50歳代(88.8%)で他の年代よりもやや高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「特に重視すべき」と「どちらかといえば重視すべき」を合わせた“重視すべき”が最も高いが、厚別区(89.3%)、豊平区(89.4%)では他の区に比べてやや高くなっている。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
 ④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答

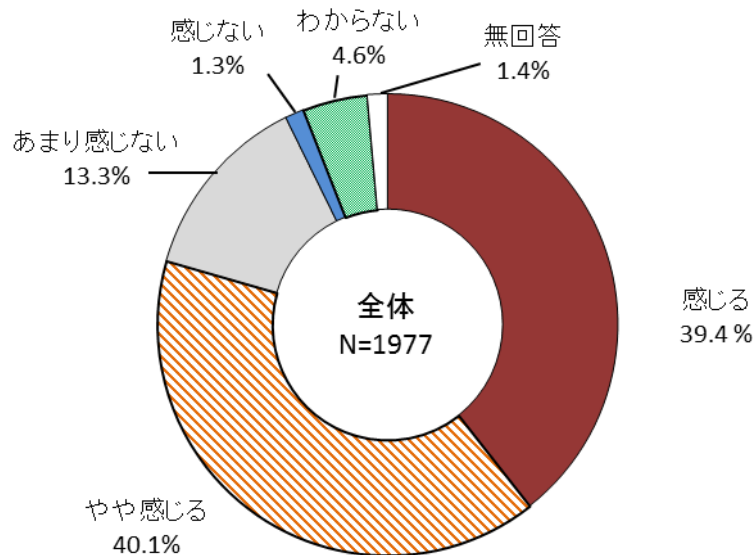


(6) 将来を見据えた魅力ある都市の整備

- ・ 都心部の「にぎわい」について

【問 23】 あなたは、札幌の都心(下図の点線で囲まれた部分参照)に「にぎわい」があると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

札幌の都心に「にぎわい」があると感じるかについては、「感じる」(39.4%)と「やや感じる」(40.1%)を合わせた“感じる”(79.5%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

札幌の都心に「にぎわい」があると感じるかについては「やや感じる」(40.1%)が最も高く、次いで「感じる」(39.4%)、「あまり感じない」(13.3%)、「わからない」(4.6%)、「感じない」(1.3%)となっている。

【性別】

男女共に「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高いが、男性(78.5%)に比べて女性(80.0%)がやや高くなっている。

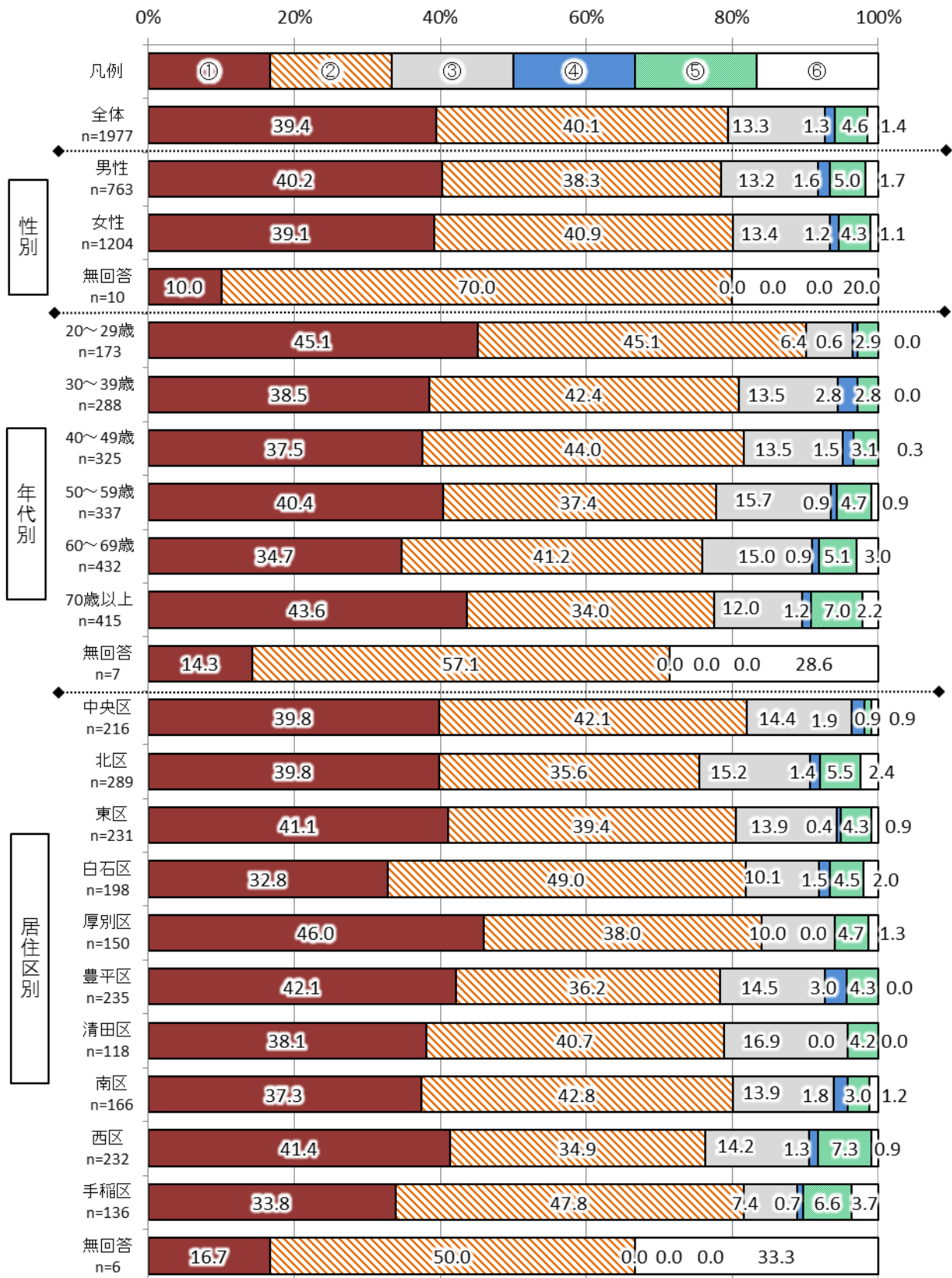
【年代別】

各年代共に「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高く、特に 20 歳代(90.2%)は約9割を占めている。

【居住区別】

全居住区で「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高く、厚別区(84.0%)は他の区よりやや高くなっている。

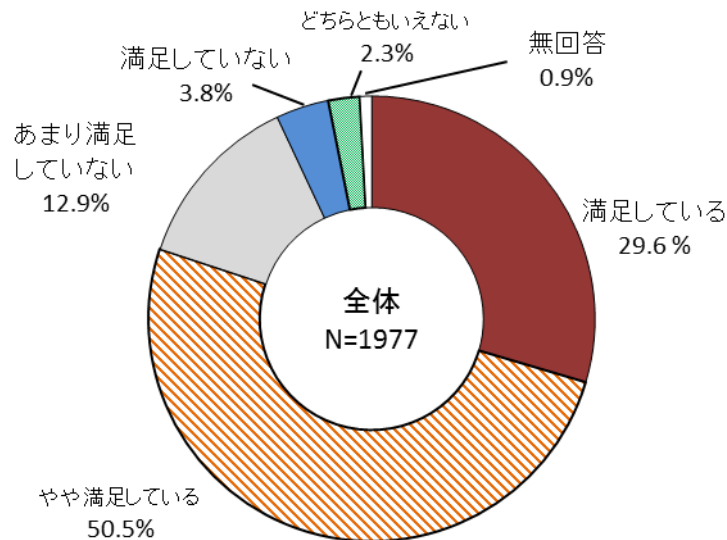
①感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④感じない ⑤わからない ⑥無回答



・住環境の満足度

【問 24】あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住んでいる地域の住環境については、「満足している」(29.6%)と「やや満足している」(50.5%)を合わせた“満足している”(80.1%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

住んでいる地域の住環境については、「やや満足している」(50.5%)が最も高く、次いで「満足している」(29.6%)、「あまり満足していない」(12.9%)、「満足していない」(3.8%)、「どちらともいえない」(2.3%)となっている。

【性別】

男女共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高く、女性(80.8%)は男性(78.7%)に比べてやや高くなっている。

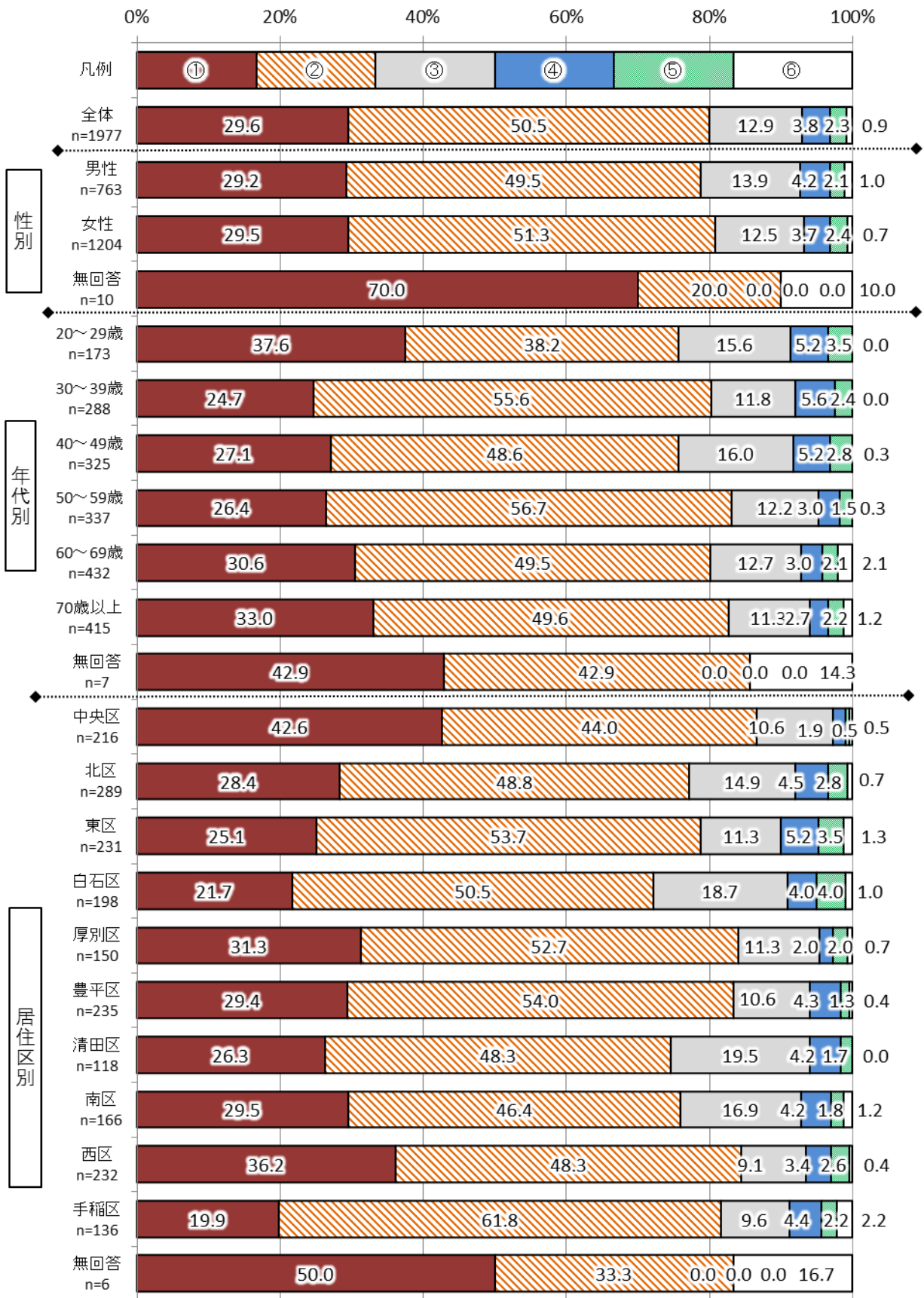
【年代別】

各年代共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、50歳代(83.1%)70歳以上(82.6%)でやや高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、スコアの低い白石区(72.2%)、南区(75.9%)に比べて中央区(86.6%)、西区(84.5%)は約10ポイント高くなっている。

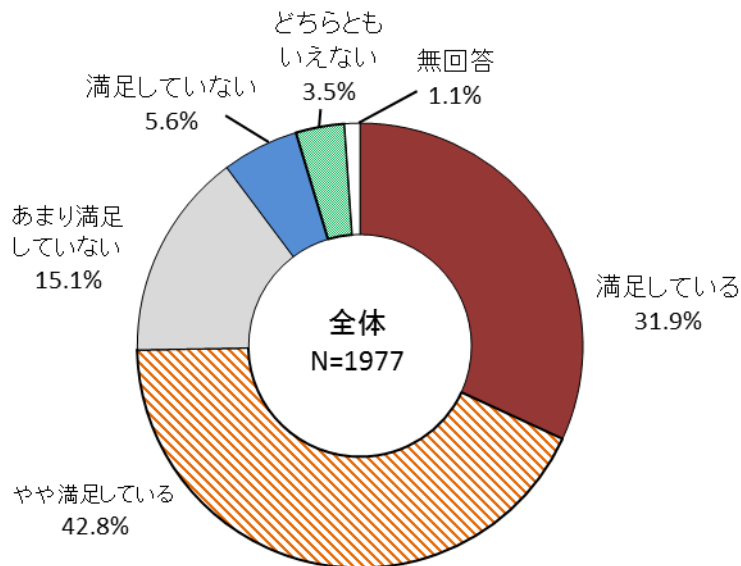
- ①満足している ②やや満足している ③あまり満足していない
④満足していない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



・ 公共交通の満足度

【問 25】 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通による日常の移動については、「満足している」(31.9%)と「やや満足している」(42.8%)を合わせた“満足している”(74.7%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

公共交通による日常の移動については「やや満足している」(42.8%)が最も高く、次いで「満足している」(31.9%)、「あまり満足していない」(15.1%)、「満足していない」(5.6%)、「どちらともいえない」(3.5%)となっている。

【性別】

男女共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、女性(76.2%)は男性(72.4%)に比べてやや高くなっている。

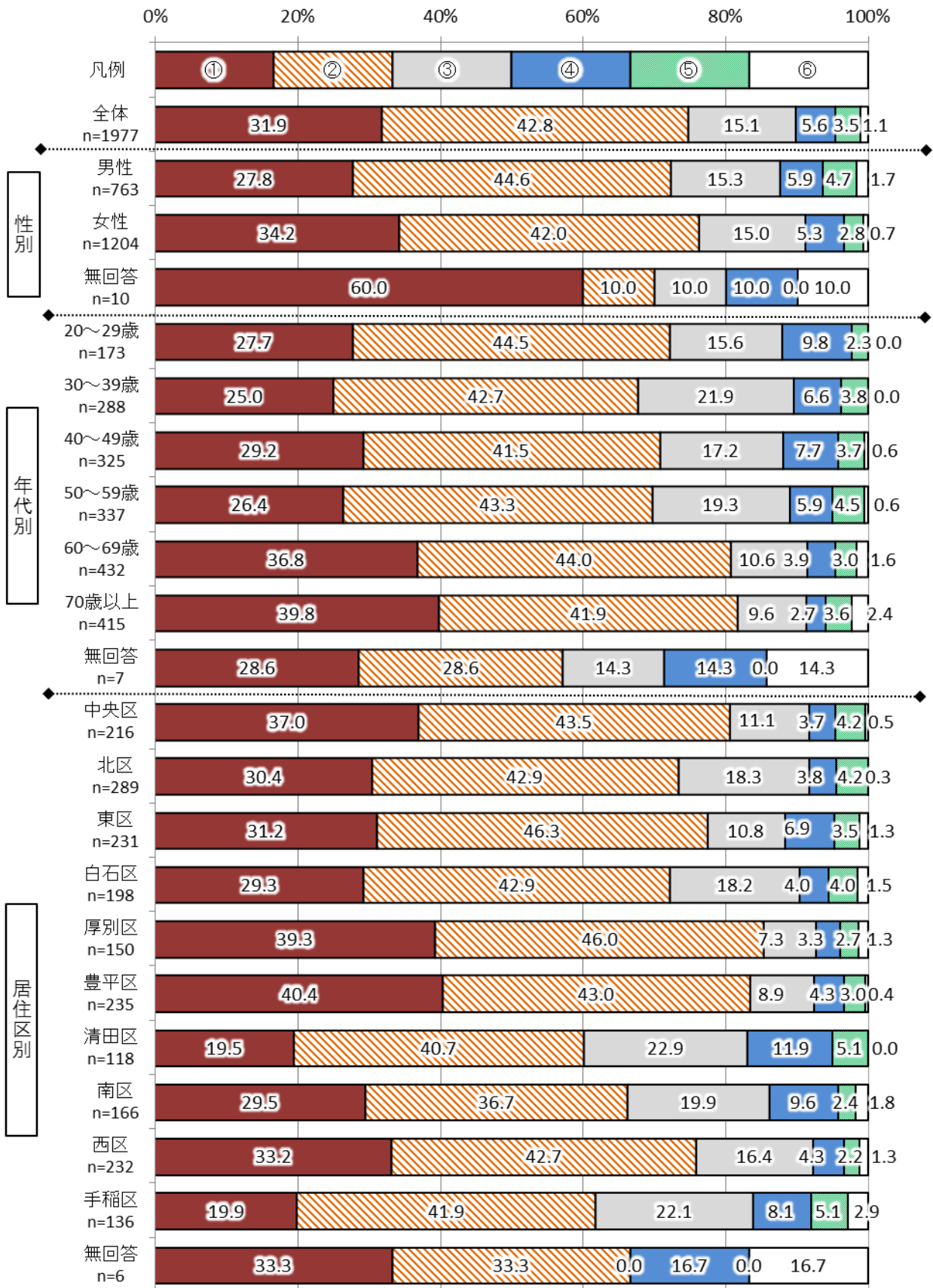
【年代別】

各年代共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、30歳代(67.7%)、40歳代(70.7%)、50歳代(69.7%)では約7割であるが、60歳代(80.8%)、70歳以上(81.7%)では約8割となっている。

【居住区別】

全居住区共に「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”が最も高いが、スコアの低い清田区(60.2%)、手稲区(61.8%)、南区(66.2%)に比べて厚別区(85.3%)、豊平区(83.4%)、中央区(80.5%)は約8割を占め10ポイント以上高くなっている。

- ①満足している ②やや満足している ③あまり満足していない
④満足していない ⑤どちらともいえない ⑥無回答

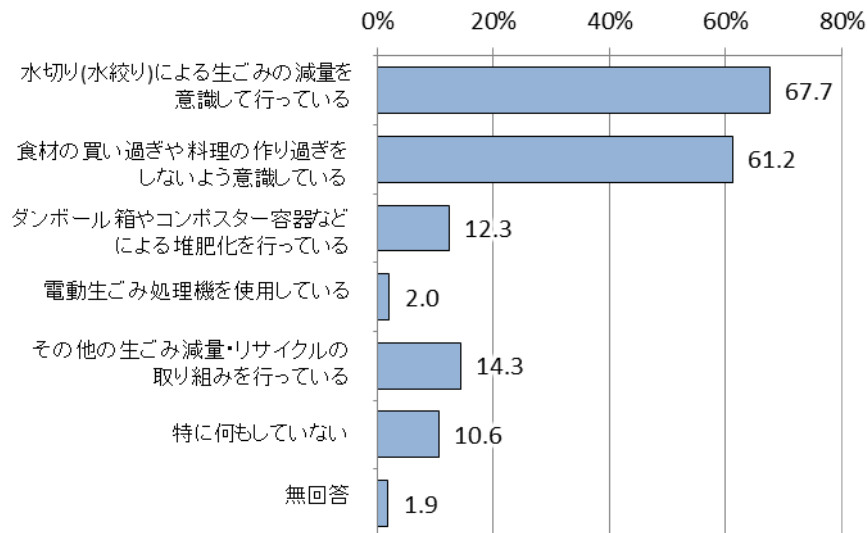


(7) 低炭素社会の推進と循環型社会の構築

- ・ 生ごみ減量・リサイクルの取り組みについて

【問 26】 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」(67.7%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」(67.7%)が最も高く、次いで「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」(61.2%)、「その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている」(14.3%)、「ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている」(12.3%)、「特に何もしていない」(10.6%)、「電動生ごみ処理機を使用している」(2.0%)となっている。

【性別】

男女共に「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高いが、女性(72.8%)は男性(59.8%)に比べて10ポイント以上高くなっている。

【年代別】

20歳代、30歳代を除く各世代で「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高くなっている。一方、20歳代(54.9%)、30歳代(63.5%)では「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が最も高くなっている。

【居住区別】

中央区を除く全ての居住区で「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高くなっている。中央区(63.9%)では「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が最も高くなっている。

上段 件数
下段 %

	対象者数	減水切り（水絞りを意識して行っている）	食材の買い過ぎや料理の作り過ぎ	ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答
対象者全体	1977	67.7	61.2	12.3	2.0	14.3	10.6	1.9
【性別】								
男性	763	59.8	54.9	11.9	2.0	13.5	14.4	2.5
女性	1204	72.8	65.4	12.7	2.1	14.8	8.1	1.3
無回答	10	60.0	30.0	0.0	0.0	20.0	10.0	20.0
【年代別】								
20～29歳	173	42.8	54.9	8.7	3.5	9.2	19.7	0.6
30～39歳	288	54.9	63.5	5.9	2.4	12.8	17.0	0.0
40～49歳	325	65.8	64.9	10.5	1.8	7.4	12.0	0.9
50～59歳	337	69.7	63.5	13.4	2.1	13.9	9.8	0.3
60～69歳	432	78.7	60.2	13.9	2.1	17.8	6.5	2.5
70歳以上	415	75.2	58.6	17.6	1.2	19.3	6.3	4.8
無回答	7	71.4	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3
【居住区別】								
中央区	216	62.0	63.9	9.3	4.2	14.8	10.2	0.5
北区	289	69.2	60.9	14.5	2.8	15.6	10.4	2.4
東区	231	64.5	59.3	7.8	1.3	12.1	12.6	1.7
白石区	198	64.6	61.6	11.6	2.0	14.1	13.1	1.5
厚別区	150	70.0	57.3	12.0	2.7	18.7	13.3	2.7
豊平区	235	68.9	68.1	11.9	0.9	14.5	8.9	1.3
清田区	118	68.6	55.1	16.1	2.5	16.1	12.7	0.8
南区	166	71.1	60.2	15.7	2.4	10.2	9.6	1.8
西区	232	70.7	63.8	10.8	1.3	9.9	9.1	1.7
手稲区	136	68.4	55.1	18.4	0.0	19.9	6.6	4.4
無回答	6	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

・環境配慮活動について

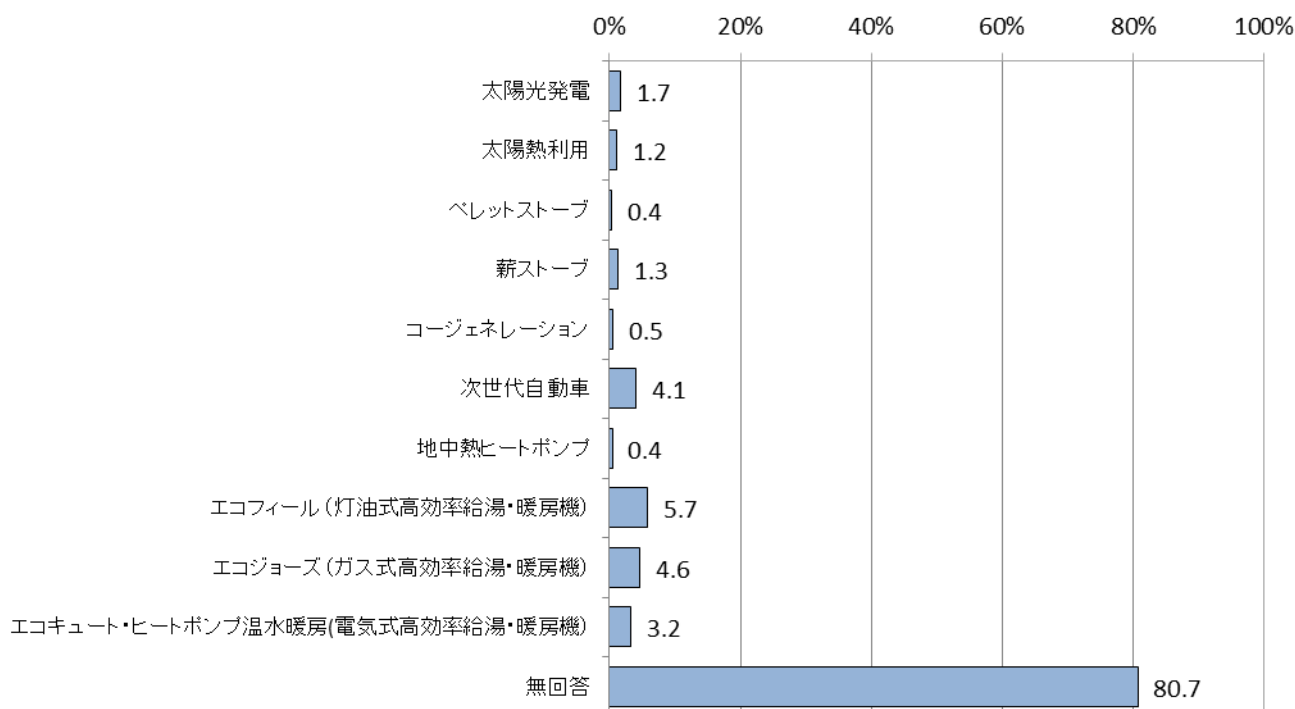
【問 27】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

(1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※1 コージェネレーション: 発電時の排熱を給湯・暖房に活用するシステム。具体的にはエネファームなどがあります。

※2 次世代自動車: 具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車などがあります。

再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入については、エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機) (5.7%)が1割弱を占めている。



【対象者全体】

再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入については、「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」(5.7%)が最も高く、次いで「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」(4.6%)、「次世代自動車」(4.1%)となっている。

【性別】

男女共にエコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機) (5.7%)が最も高いが、男性(7.7%)は女性(4.5%)に比べるとやや高くなっている。

【年代別】

20歳代(4.0%)では「次世代自動車」が、30歳代(5.2%)、40歳代(5.8%)、50歳代(5.3%)では「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が、60歳代(8.1%)、70歳以上(11.8%)では「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が最も高くなっている。

【居住区別】

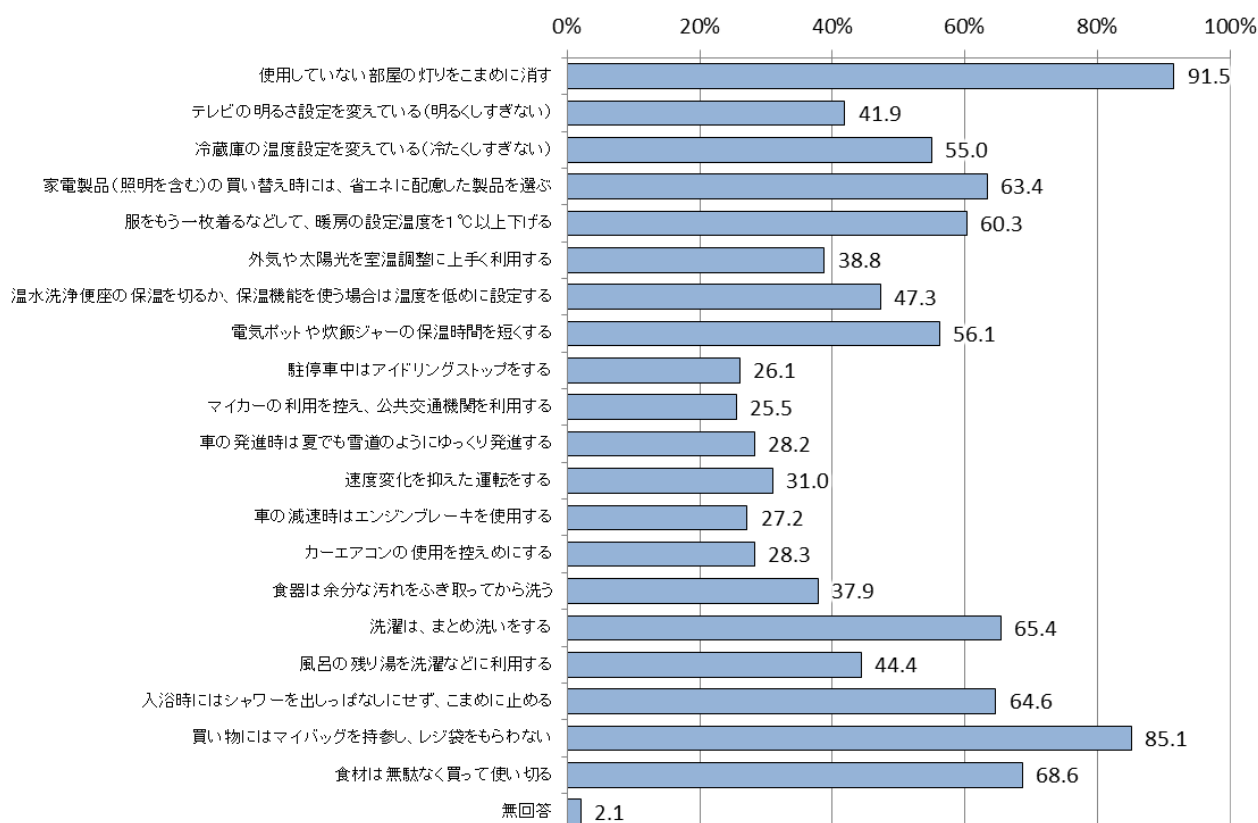
東区(8.7%)、白石区(6.6%)、豊平区(4.7%)、西区(6.9%)、手稲区(8.8%)では「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が、中央区(8.8%)、北区(5.5%)、厚別区(7.3%)、豊平区(4.7%)では「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が、清田区(10.2%)、南区(5.4%)では「次世代自動車」が最も高くなっている。

上段 件数
下段 %

	対象者数	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ	薪ストーブ	コージェネレーション	次世代自動車	地中熱ヒートポンプ	湯・エコフィール(暖房機)	湯・エコジョーズ(暖房機)	エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)	エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)	エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)	無回答
対象者全体	1977	1.7	1.2	0.4	1.3	0.5	4.1	0.4	5.7	4.6	3.2	80.7		
【性別】														
男性	763	1.8	1.7	0.4	1.7	0.5	5.0	0.7	7.7	4.8	1.6	78.2		
女性	1204	1.5	0.8	0.3	1.0	0.5	3.6	0.2	4.5	4.4	4.2	82.3		
無回答	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	80.0		
【年代別】														
20～29歳	173	1.7	0.6	0.6	1.7	1.2	4.0	1.2	2.9	1.2	2.3	85.5		
30～39歳	288	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	3.5	0.0	2.1	5.2	4.9	83.7		
40～49歳	325	2.5	0.9	0.3	0.3	0.0	4.0	0.6	1.5	5.8	4.6	81.5		
50～59歳	337	2.7	1.8	0.6	2.1	0.9	4.7	0.3	3.9	5.3	3.3	81.0		
60～69歳	432	0.9	1.2	0.2	1.2	0.2	6.3	0.0	8.1	4.9	2.8	78.2		
70歳以上	415	1.4	1.9	0.5	2.2	0.5	1.9	0.7	11.8	3.6	1.7	78.6		
無回答	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	71.4		
【居住区】														
中央区	216	2.3	2.3	0.9	0.9	0.9	4.6	1.4	4.6	8.8	2.8	78.2		
北区	289	1.4	0.7	0.3	0.7	0.7	2.8	0.0	4.8	5.5	3.1	80.3		
東区	231	1.7	0.9	0.4	2.2	0.0	5.2	0.4	8.7	4.3	3.9	77.1		
白石区	198	2.0	1.5	0.0	2.0	1.5	2.0	0.5	6.6	3.0	2.5	83.8		
厚別区	150	1.3	0.7	0.0	0.7	0.7	4.0	0.0	1.3	7.3	3.3	82.0		
豊平区	235	2.6	1.3	0.4	0.4	0.9	3.8	0.4	4.7	4.7	3.4	84.7		
清田区	118	1.7	0.8	0.0	4.2	0.0	10.2	0.8	7.6	0.8	3.4	72.9		
南区	166	1.2	1.8	0.0	0.6	0.0	5.4	0.6	3.6	3.0	3.6	81.9		
西区	232	0.9	1.3	0.4	0.9	0.0	3.4	0.0	6.9	3.0	1.7	83.2		
手稲区	136	0.7	0.0	0.7	1.5	0.0	2.2	0.0	8.8	3.7	5.1	80.1		
無回答	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3		

【問 27】(2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

エコライフの取り組みについては、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」(91.5%)が全体の約9割を占めている。



【対象者全体】

エコライフの取り組みについては、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」(91.5%)が最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」(85.1%)、「食材は無駄なく買って使い切る」(68.6%)、「洗濯は、まとめ洗いをする」(65.4%)、「入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める」(64.6%)、「家電製品(照明を含む)の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ」(63.4%)、「服をもう一枚着るなどして、暖房の設定温度を1℃以上下げる」(60.3%)となっている。

【性別】

男女共に「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高いが、女性(94.2%)は男性(87.8%)に比べて高くなっている。

【年代別】

各年代共に「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高いが、年代が上がるに従って高くなっている。また、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」は年代が下がるに従ってほぼ低くなり、20歳代(73.4%)は60歳代(89.1%)、70歳以上(87.7%)に比べると10ポイント以上低い。

【居住区別】

全ての居住区で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高いが、南区(95.8%)、手稲区(96.3%)は他の区よりもやや高くなっている。

表1

対象者数	使用するいない部屋の灯りをこまめに消す	テレビの明るさ設定を変えている(明るくしすぎない)	冷蔵庫の温度設定を変えている(冷たくしすぎない)	家電製品(照明を含む)の買い替える際には、省エネに配慮した製品を選ぶ	服をもう一枚着るなどして、暖房の設定温度を1℃以上下げる	外気や太陽光を室温調整に上手く利用する	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに保設定する	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	駐車中はアイドリングストップをする	マイカーの利用を控え、公共交通機関を利用する	
対象者全体	1977	91.5	41.9	55.0	63.4	60.3	38.8	47.3	56.1	26.1	25.5
【性別】											
男性	763	87.8	37.1	46.7	60.7	50.9	34.5	38.0	40.9	31.5	26.5
女性	1204	94.2	44.9	60.7	65.4	66.6	41.9	53.4	66.0	22.8	25.0
無回答	10	50.0	40.0	10.0	40.0	20.0	0.0	20.0	30.0	20.0	10.0
【年代別】											
20~29歳	173	86.7	34.1	36.4	34.7	51.4	29.5	32.9	38.7	12.7	24.3
30~39歳	288	90.3	44.1	54.2	58.0	57.3	37.5	43.8	62.8	17.0	18.8
40~49歳	325	91.7	51.1	56.3	64.9	63.7	36.9	51.1	63.1	24.9	21.2
50~59歳	337	91.1	39.8	57.9	68.5	59.6	41.2	53.7	57.9	27.6	22.0
60~69歳	432	93.5	41.9	62.3	71.5	63.2	43.5	51.4	60.2	37.0	28.2
70歳以上	415	93.3	37.8	53.5	66.0	61.7	38.6	43.9	48.4	26.5	34.2
無回答	7	42.9	57.1	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
【年代別】											
中央区	216	90.3	33.8	48.1	59.7	57.9	36.1	50.5	49.5	23.6	31.0
北区	289	93.4	46.7	61.6	64.7	59.9	41.2	49.5	55.0	28.4	24.9
東区	231	90.0	45.5	51.5	62.3	56.3	38.1	42.0	56.3	26.8	22.5
白石区	198	90.4	43.9	57.1	54.0	64.1	34.3	50.5	67.2	21.2	23.2
厚別区	150	90.0	34.7	53.3	65.3	59.3	47.3	47.3	50.7	28.7	32.0
豊平区	235	91.1	43.0	57.9	66.0	62.1	37.9	45.5	58.3	25.1	27.7
清田区	118	91.5	36.4	45.8	69.5	53.4	35.6	46.6	50.0	33.1	18.6
南区	166	95.8	42.8	57.2	72.3	63.3	38.0	46.4	57.2	28.3	21.7
西区	232	89.7	40.9	55.6	60.3	62.5	40.5	43.5	59.9	22.0	27.2
手稲区	136	96.3	46.3	58.8	66.9	64.7	39.7	54.4	54.4	29.4	23.5
無回答	6	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

表2

対象者数	ゆづりの発達時は夏でも雪道のように	速度変化を抑えた運転をする	車の減速時はエンジンブレーキを使用する	カーエアコンの使用を控える	食器は余分な汚れをふき取ってから洗う	洗濯は、まとめ洗いをする	風呂の残り湯を洗濯などに利用する	入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める	買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない	食材は無駄なく買って使い切る	無回答	
対象者全体	1977	28.2	31.0	27.2	28.3	37.9	65.4	44.4	64.6	85.1	68.6	2.1
【性別】												
男性	763	35.3	39.2	34.7	32.2	29.5	57.1	40.8	61.1	78.5	63.0	3.1
女性	1204	23.9	26.0	22.5	25.9	43.4	70.8	46.8	67.1	89.6	72.5	1.1
無回答	10	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	40.0
【年代別】												
20~29歳	173	14.5	23.1	21.4	23.7	20.2	56.1	33.5	46.2	73.4	52.6	2.3
30~39歳	288	22.6	31.3	26.4	28.5	26.0	67.4	46.2	50.0	81.9	69.4	0.7
40~49歳	325	27.4	32.3	27.7	29.5	35.4	63.7	42.8	66.5	85.8	72.6	1.5
50~59歳	337	32.3	37.4	32.6	31.5	39.2	59.1	49.3	68.0	85.8	69.7	1.8
60~69歳	432	35.2	33.1	29.4	30.6	47.2	71.3	42.6	72.9	89.1	68.1	2.1
70歳以上	415	28.2	26.0	22.9	24.3	45.3	68.7	47.2	70.4	87.7	72.3	2.9
無回答	7	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	42.9
【居住区別】												
中央区	216	18.5	25.5	21.8	23.1	36.6	65.3	34.3	58.3	79.2	68.1	2.3
北区	289	30.4	31.8	29.4	30.1	36.0	64.0	45.3	60.9	86.2	72.0	1.7
東区	231	29.9	32.9	26.4	23.4	34.6	66.2	43.3	67.1	82.7	69.3	1.7
白石区	198	28.3	26.3	17.2	20.7	37.4	71.2	41.9	59.6	84.3	70.2	3.0
厚別区	150	26.7	35.3	28.7	30.0	40.0	56.0	50.7	60.0	86.0	65.3	3.3
豊平区	235	30.2	29.4	28.9	31.1	37.0	65.1	43.0	66.0	87.7	70.6	2.1
清田区	118	35.6	39.8	36.4	39.0	38.1	60.2	49.2	70.3	83.9	62.7	1.7
南区	166	30.1	30.1	31.9	32.5	38.6	70.5	48.2	72.3	86.1	74.1	0.6
西区	232	23.3	30.2	25.4	24.6	42.7	65.9	43.5	64.7	87.1	65.9	2.2
手稲区	136	34.6	35.3	31.6	37.5	41.9	68.4	53.7	76.5	91.2	64.7	0.0
無回答	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

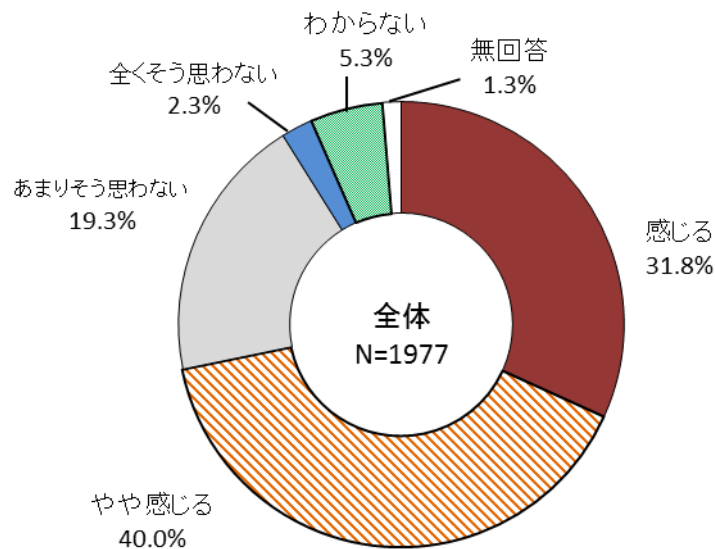
対象者全体スコアと比較して10%以上低い

(8) 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり

- ・ 花やみどりの現状について

【問 28】 あなたは、自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりの現状について、親しみを感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりへの親しみについては、「感じる」(31.8%)と「やや感じる」(40.0%)を合わせた“感じる” (71.8%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりへの親しみについては、「やや感じる」(40.0%)が最も高く、次いで「感じる」(31.8%)、「あまりそう思わない」(19.3%)、「わからない」(5.3%)、「全くそう思わない」(2.3%)となっている。

【性別】

男女共に「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高いが、男性(66.1%)に比べ女性(75.8%)が高くなっている。

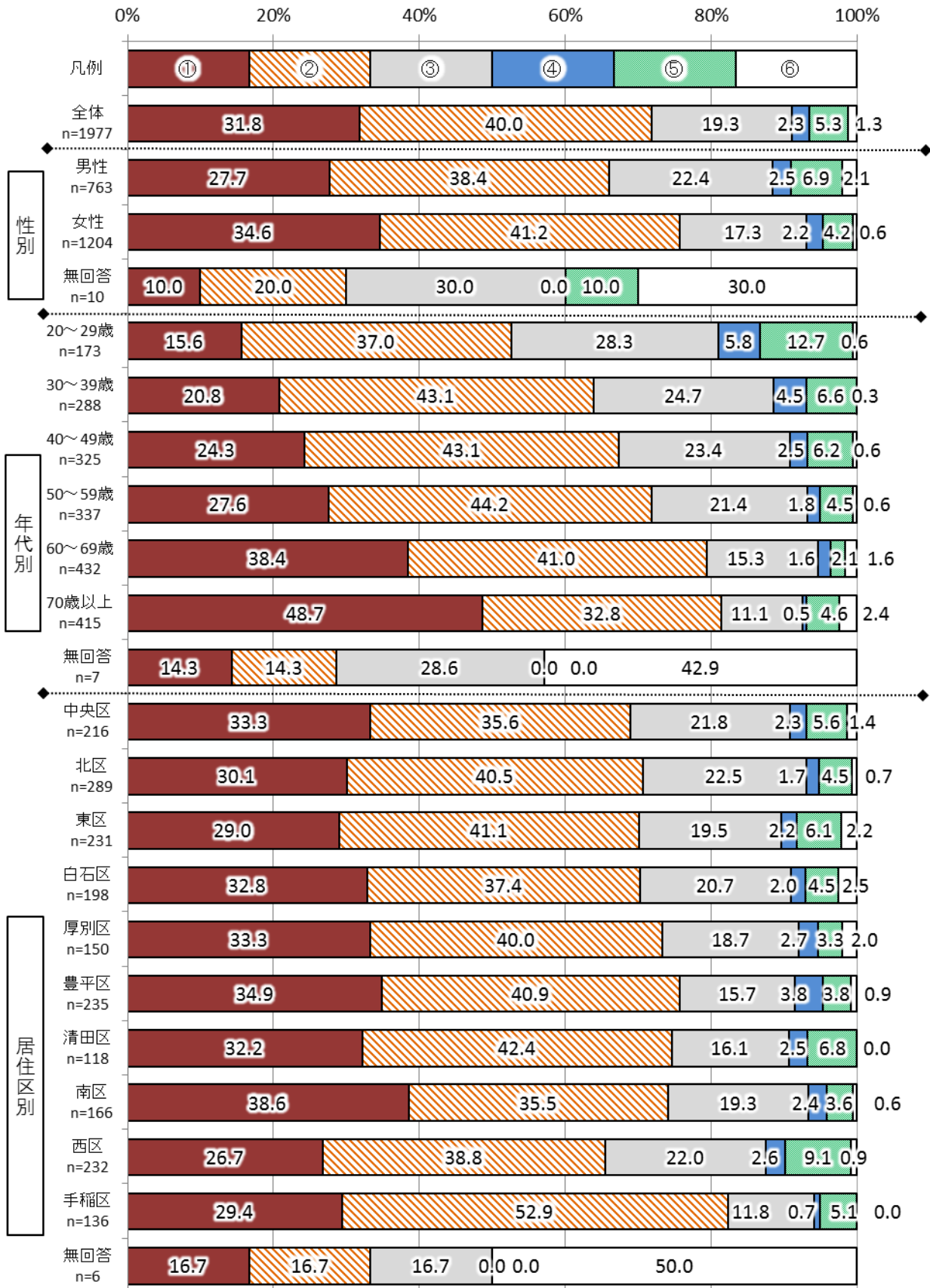
【年代別】

各年代共に「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高いが、70歳以上(81.5%)では約8割、20歳代(52.6%)で約5割と年代が上がるに従い高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が最も高いが、スコアの低い「西区」(65.5%)、「中央区」(68.9%)に比べて「手稲区」(82.3%)は10ポイント以上高くなっている。

- ①感じる ②やや感じる ③あまりそう思わない
 ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

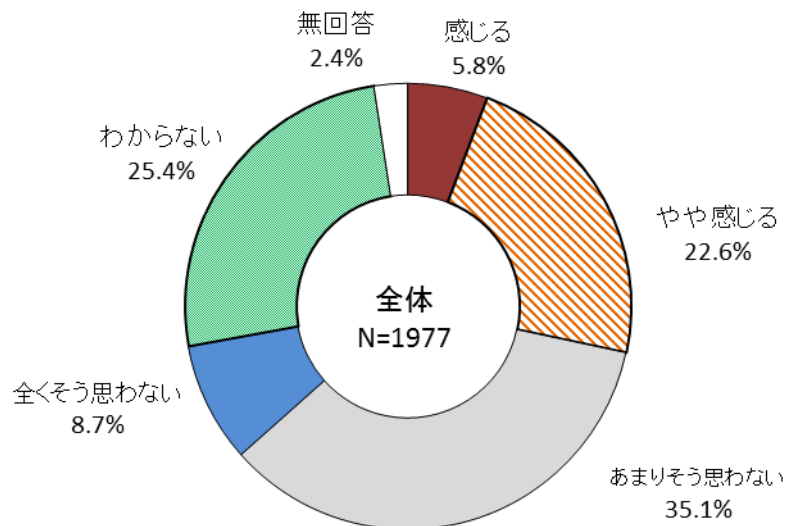


(9) 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり

・ 市政参加の機会

【問 29】 札幌市では、市民の声を市政に反映するため、電話や E メールでの意見募集、さらにはアンケート調査やワークショップ、フォーラム、出前講座等さまざまな市政参加の機会を提供しておりますが、普段、あなたはこうした市政参加の機会が用意されていると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

市政参加の機会が用意されているかについては、「あまりそう思わない」(35.1%)と「全くそう思わない」(8.7%)を合わせた“そう思わない”(43.8%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

市政参加の機会が用意されているかについては、「あまりそう思わない」(35.1%)が最も高く、次いで「わからない」(25.4%)、「やや感じる」(22.6%)、「全くそう思わない」(8.7%)、「感じる」(5.8%)となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、男性(48.7%)は女性(40.9%)に比べて高くなっている。

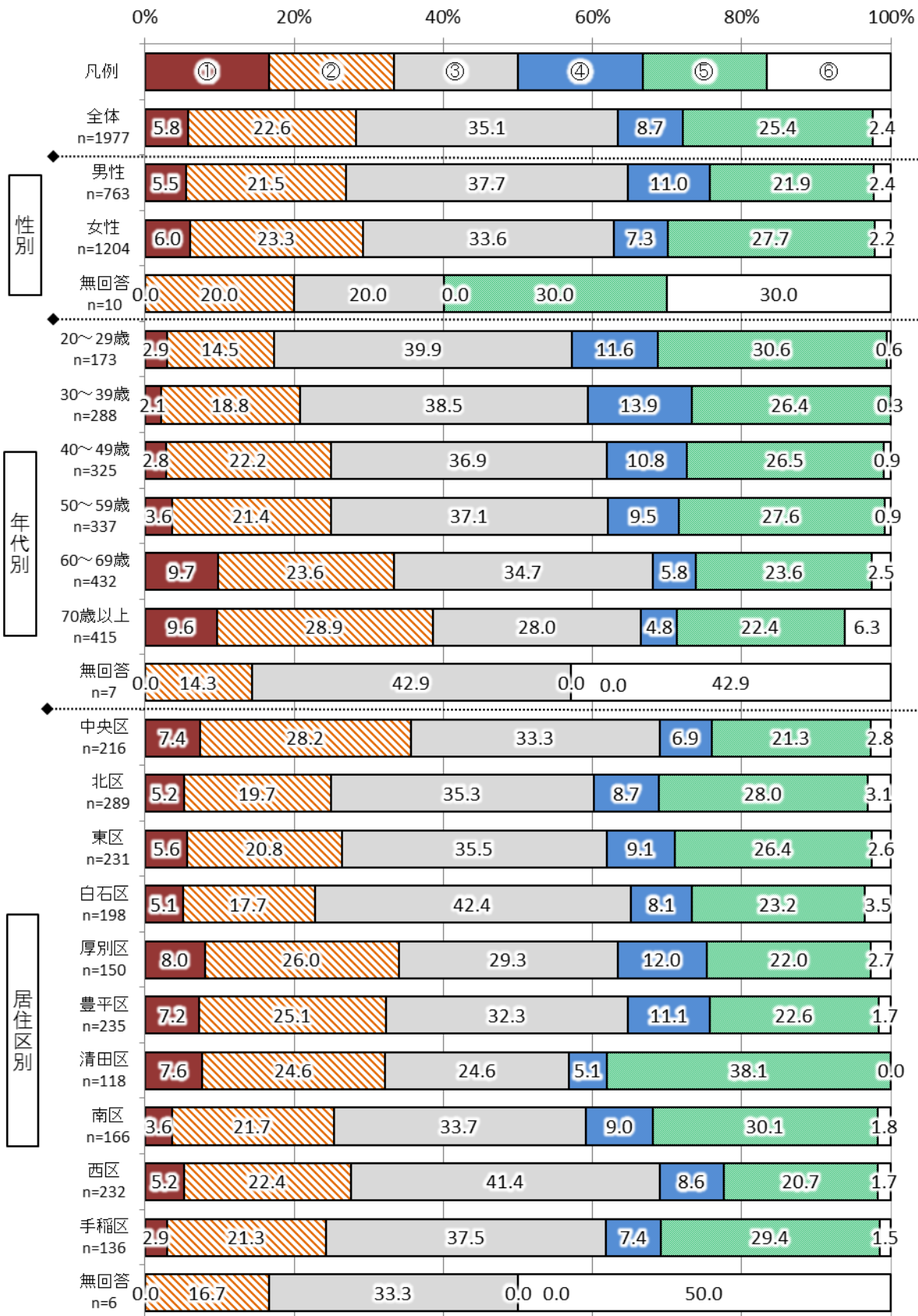
【年代別】

各年代共に「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、年代が下がるに従って高く、20 歳代(51.5%)、30 歳代(52.4%)は約5割を占めている。一方、60 歳代(33.3%)、70 歳以上(38.5%)では「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が3割を超えている。

【居住区別】

全ての居住区で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”が最も高いが、白石区(50.5%)、西区(50.0%)では約5割を占めている。一方、中央区(35.6%)では「感じる」と「やや感じる」を合わせた“感じる”が3割を超えている。

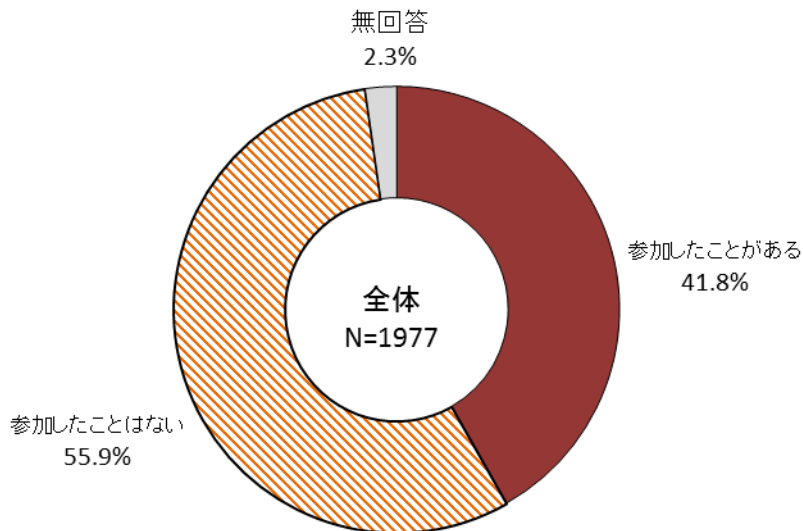
- ①感じる ②やや感じる ③あまりそう思わない
 ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ まちづくり活動について

【問 30】 あなたは、札幌をより快適に過ごせるまちにするため、「まちづくり活動」(ごみステーションのマナー遵守や節電への取組、あるいは町内会活動への参加等)に参加した(取り組んだ)ことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。なお、参加した活動の種類や規模、期間などは問いません。

「まちづくり活動」への参加については、「参加したことはない」(55.9%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

「まちづくり活動」への参加については、「参加したことはない」(55.9%)が最も高く、「参加したことがある」(41.8%)は約4割となっている。

【性別】

男女共に「参加したことはない」が最も高いが、女性(57.0%)が男性(54.3%)に比べてやや高くなっている。

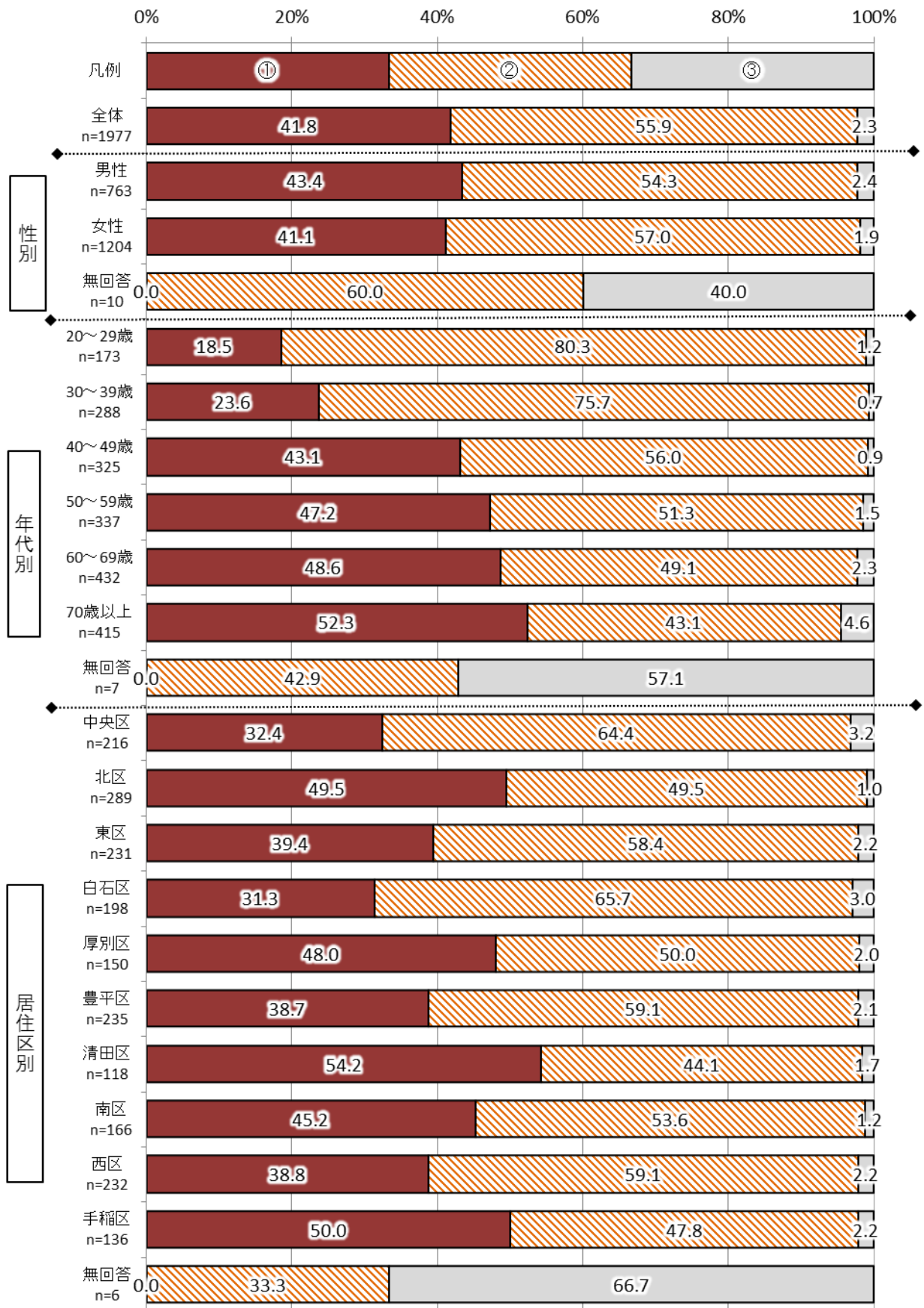
【年代別】

70歳以上を除く全ての年代で「参加したことはない」が高く、また年代が下がるに従ってその割合は高くなっている。70歳以上(52.3%)では「参加したことがある」が5割を超えている。

【居住区別】

清田区、手稲区を除く全ての居住区で「参加したことはない」が高く、中央区(64.4%)、白石区(65.7%)では6割を超えている。一方、北区(49.5%)、清田区(54.2%)、手稲区(50.0%)では「参加したことがある」が約5割を占めている。

①参加したことがある ②参加したことはない ③無回答

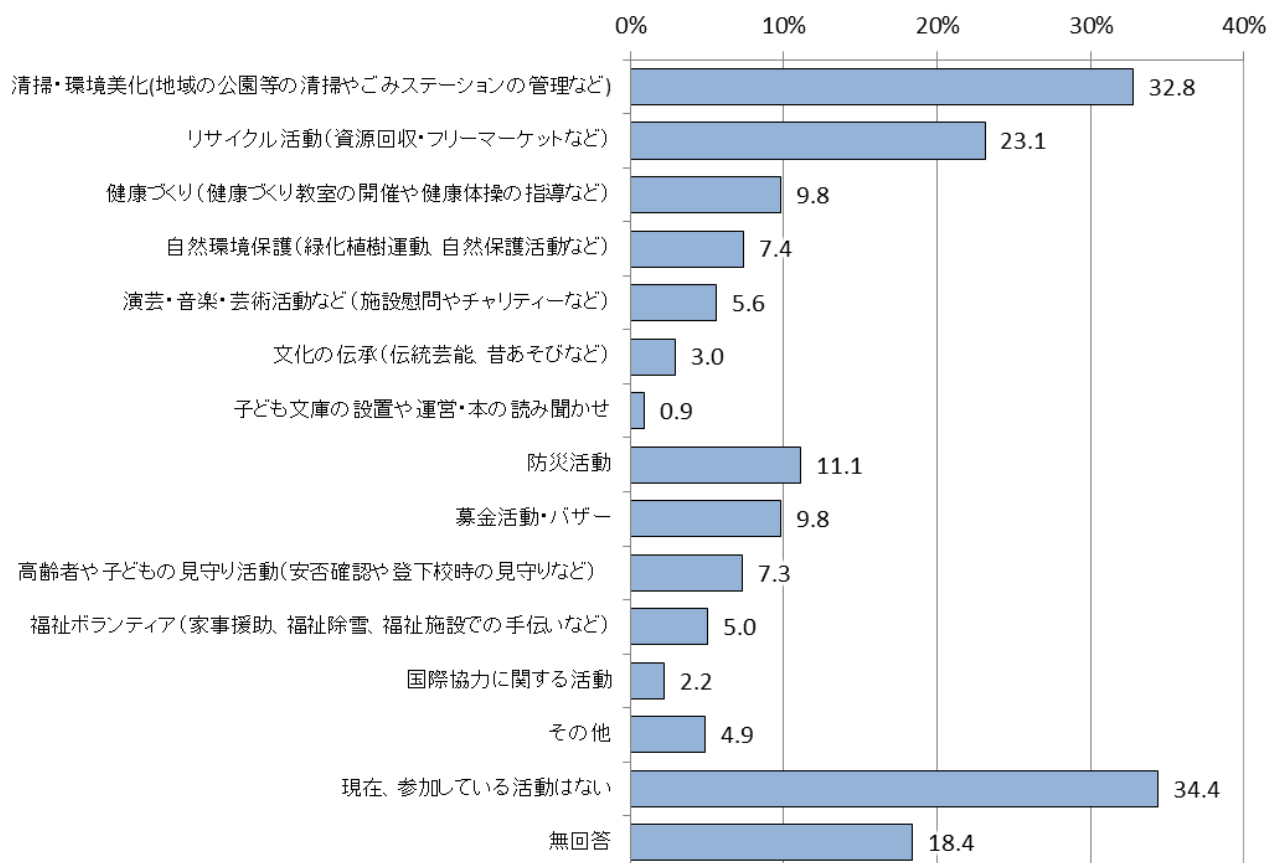


【問 31】 次にあげる「社会に役立つ活動」*のうち、あなたが現在継続的に参

加しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※「社会に役立つ活動」とは、地域や社会のために時間や労力、知識、技術などを提供する活動をいい、ここでは、町内会や老人クラブをはじめとした地域活動やボランティア活動、さらにNPOなどの公益的な活動も含めて考えます。

「社会に役立つ活動」のうち現在継続的に参加しているものについては、「清掃・環境美化(地域の公園等の清掃やごみステーションの管理など)」(32.8%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

「社会に役立つ活動」のうち現在継続的に参加しているものについては、「清掃・環境美化」(32.8%)が最も高く、次いで「リサイクル活動」(23.1%)、「防災活動」(11.1%)、「健康づくり」(9.8%)、「募金活動・バザー」(9.8%)、「自然環境保護」(7.4%)となっている。一方、「現在、参加している活動はない」(34.4%)は約3割を占める。

【性別】

男女共に「清掃・環境美化」が最も高いが、男性(40.1%)は女性(26.9%)に比べて10ポイント以上高くなっている。一方、「現在、参加している活動はない」は女性(38.3%)が男性(30.1%)に比べて高くなっている。

【年代別】

各年代共に「清掃・環境美化」が最も高いが、70歳以上(36.1%)は60歳代(27.6%)に比べて高くなっている。「現在、参加している活動はない」は60歳代(38.9%)が70歳以上(31.8%)に比べて高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「清掃・環境美化」が最も高いが、特に北区(41.1%)、厚別区(40.7%)、清田区(47.5%)で4割を超え、手稲区(51.7%)では5割を超えている。また、清田区は「リサイクル活動」(30.0%)、「防災活動」(22.5%)、「募金活動・バザー」(22.5%)、「高齢者や子どもの見守り活動」(17.5%)などの項目で他の区に比べて高くなっている。一方、中央区(43.1%)、東区(46.2%)では「現在、参加している活動はない」が他の区に比べて高く4割を超えている。

上段 件数
下段 %

	対象者数	清掃・環境美化(地域での公園等の管理など)	リサイクル活動(資源回収・フリーマーケットなど)	健康づくり(健康づくり教室の開催や健康体操の指導など)	自然環境保護(緑化植樹運動、自然保護活動など)	演芸・音楽・芸術活動など(施設慰問やチャリティーなど)	文化の伝承(伝統芸能、昔あそびなど)	子ども文庫の設置や運営・本の読み聞かせ	防災活動	募金活動・バザー	高齢者や子どもの見守り活動(安否確認や登下校時の見守りなど)	福祉ボランティア(家事援助、福祉施設での手伝いなど)	国際協力に関する活動	その他	現在、参加している活動はない	無回答
対象者全体	674	32.8	23.1	9.8	7.4	5.6	3.0	0.9	11.1	9.8	7.3	5.0	2.2	4.9	34.4	18.4
【性別】																
男性	309	40.1	25.2	9.4	10.7	3.9	1.9	0.3	15.5	7.4	7.8	5.8	2.6	5.5	30.1	15.2
女性	360	26.9	21.7	10.3	4.7	7.2	3.9	1.4	7.5	11.9	6.9	4.4	1.9	4.4	38.3	20.3
無回答	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	
【年代別】																
60～69歳	257	27.6	23.7	6.6	6.2	4.7	2.3	0.8	6.6	6.2	5.4	3.1	1.2	5.4	38.9	16.3
70歳以上	415	36.1	22.9	11.8	8.2	6.3	3.4	1.0	14.0	12.0	8.4	6.3	2.9	4.6	31.8	19.3
無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
【居住区別】																
中央区	72	22.2	13.9	12.5	5.6	6.9	1.4	1.4	6.9	11.1	5.6	2.8	2.8	8.3	43.1	15.3
北区	95	41.1	27.4	10.5	7.4	6.3	5.3	1.1	13.7	12.6	10.5	5.3	4.2	2.1	33.7	15.8
東区	78	25.6	21.8	6.4	3.8	5.1	1.3	0.0	9.0	2.6	2.6	2.6	0.0	5.1	46.2	14.1
白石区	55	25.5	18.2	10.9	5.5	3.6	3.6	1.8	7.3	12.7	1.8	3.6	3.6	1.8	36.4	25.5
厚別区	54	40.7	22.2	13.0	11.1	5.6	1.9	0.0	13.0	13.0	7.4	7.4	3.7	3.7	29.6	22.2
豊平区	75	29.3	28.0	5.3	5.3	2.7	0.0	1.3	13.3	8.0	5.3	4.0	1.3	8.0	32.0	17.3
清田区	40	47.5	30.0	15.0	15.0	10.0	2.5	2.5	22.5	22.5	17.5	15.0	0.0	7.5	25.0	10.0
南区	61	31.1	27.9	8.2	8.2	3.3	4.9	1.6	9.8	4.9	6.6	3.3	3.3	8.2	31.1	14.8
西区	84	23.8	16.7	9.5	7.1	8.3	3.6	0.0	6.0	10.7	8.3	4.8	1.2	4.8	35.7	25.0
手稲区	58	51.7	29.3	10.3	10.3	5.2	5.2	0.0	15.5	5.2	10.3	6.9	1.7	0.0	24.1	20.7
無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

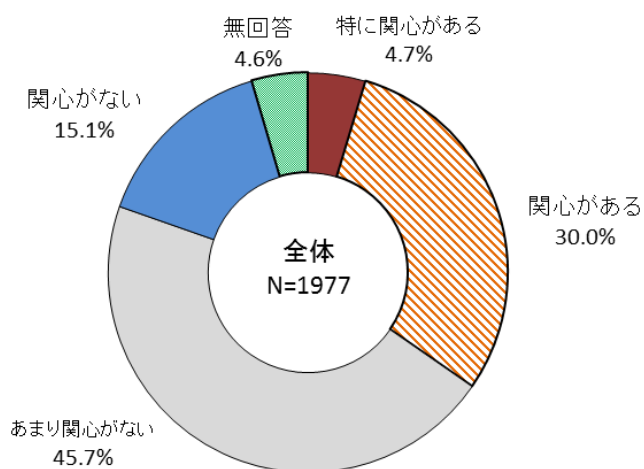
・海外諸都市や外国人との交流について

【問 32】 あなたは、姉妹・友好都市^{※1}をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流^{※2}に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド(アメリカ)、ミュンヘン(ドイツ)、瀋陽(中国)、ノボシビルスク(ロシア)、大田(韓国)の5都市です。

※2 「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、芸術文化(芸術作品の創作・鑑賞、各国を知るセミナー等)、スポーツ(青少年スポーツ交流等)、観光(外国人観光客のおもてなし、海外での見聞を広める等)、教育(語学、留学等)、経済(企業の進出・誘致、流通の拡大等)など様々な分野における交流を指します。

姉妹・友好都市をはじめとした海外諸都市との交流や外国人との交流については、「あまり関心がない」(45.7%)と「関心がない」(15.1%)を合わせた“関心がない”(60.8%)が全体の6割を占めている。



【対象者全体】

姉妹・友好都市をはじめとした海外諸都市との交流や外国人との交流については、「あまり関心がない」(45.7%)が最も高く、次いで「関心がある」(30.0%)、「関心がない」(15.1%)、「特に関心がある」(4.7%)となっている。

【性別】

男女共に「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”が最も高いが、男性(63.0%)が女性(59.7%)に比べてやや高くなっている。

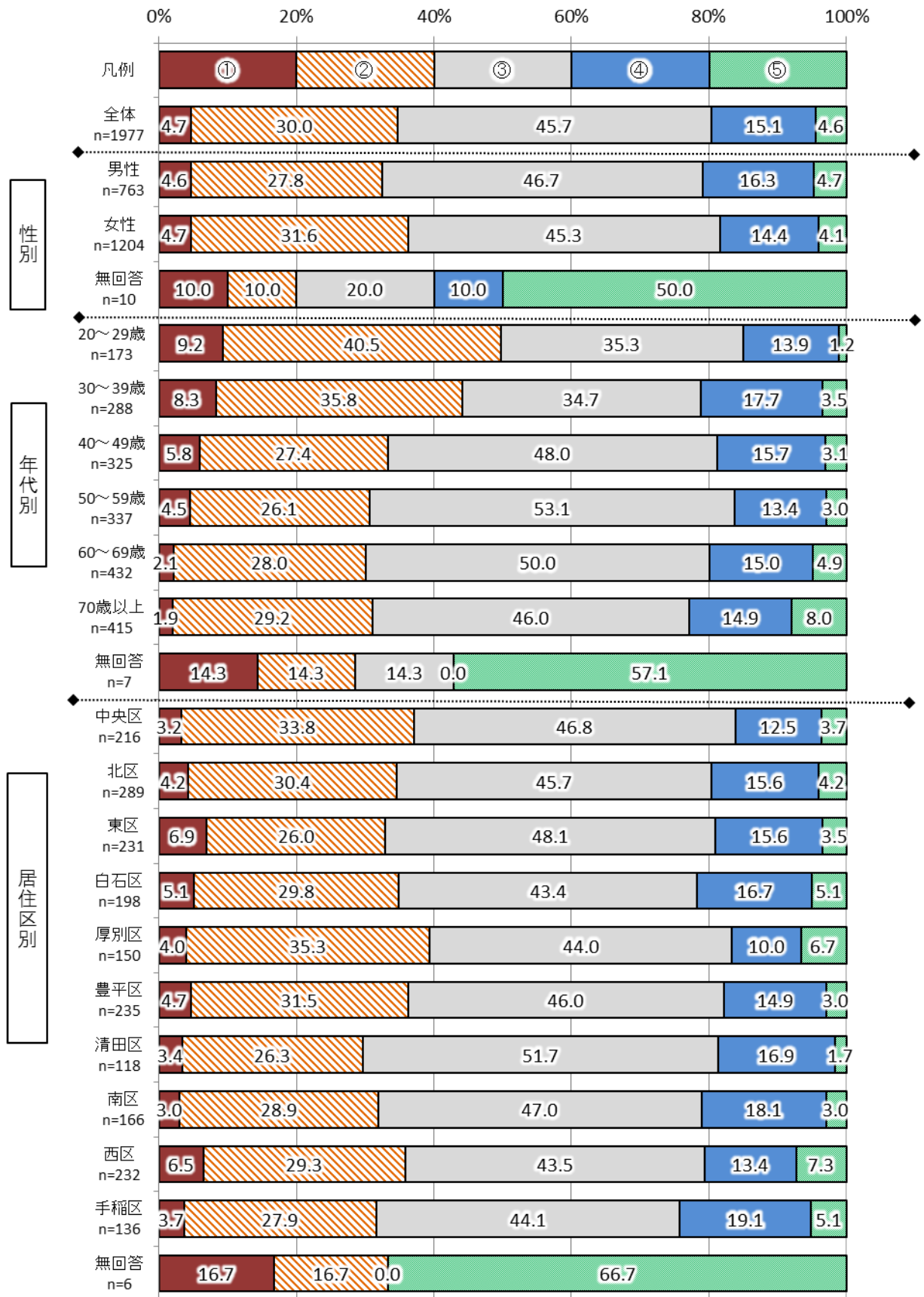
【年代別】

20歳代を除く全ての年代で「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”が最も高く、特に50歳代(66.5%)、60歳代(65.0%)では他の年代に比べて高くなっている。一方、20歳代(49.7%)、30歳代(44.1%)では「特に関心がある」と「関心がある」を合わせた“関心がある”が他の年代に比べて高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”が最も高く、特に清田区(68.6%)では約7割を占めている。一方、厚別区(39.3%)では「特に関心がある」と「関心がある」を合わせた“関心がある”が他の区に比べてやや高くなっている。

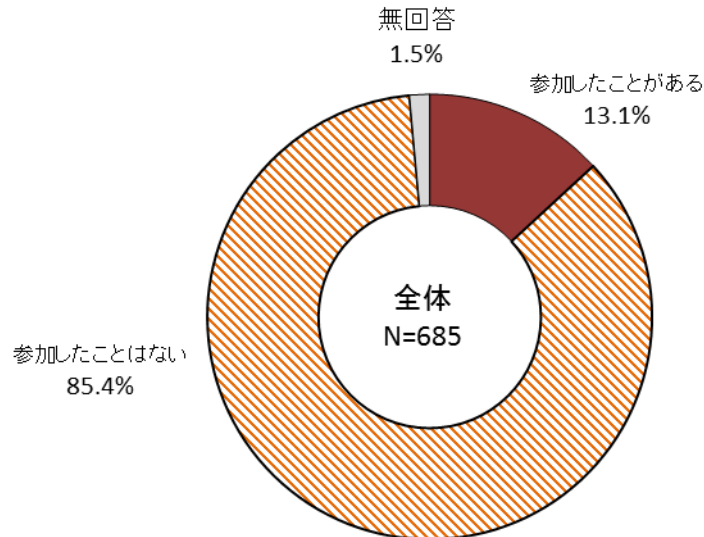
①特に関心がある ②関心がある ③あまり関心がない ④関心がない ⑤無回答



<問 32 で「1. 特に関心がある」、「2. 関心がある」と答えた方のみ>

【問 33】あなたは、国際交流イベントへの参加やホームステイへの協力、外国語通訳などのボランティア活動といった国際交流に参加したことはありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

国際交流への参加については、「参加したことはない」(85.4%)が約8割を占めている。



【対象者全体】

国際交流への参加については「参加したことはない」(85.4%)が高く、「参加したことがある」(13.1%)は低い。

【性別】

男女共に「参加したことはない」が高いが、男性(87.9%)は女性(83.9%)に比べて高くなっている。

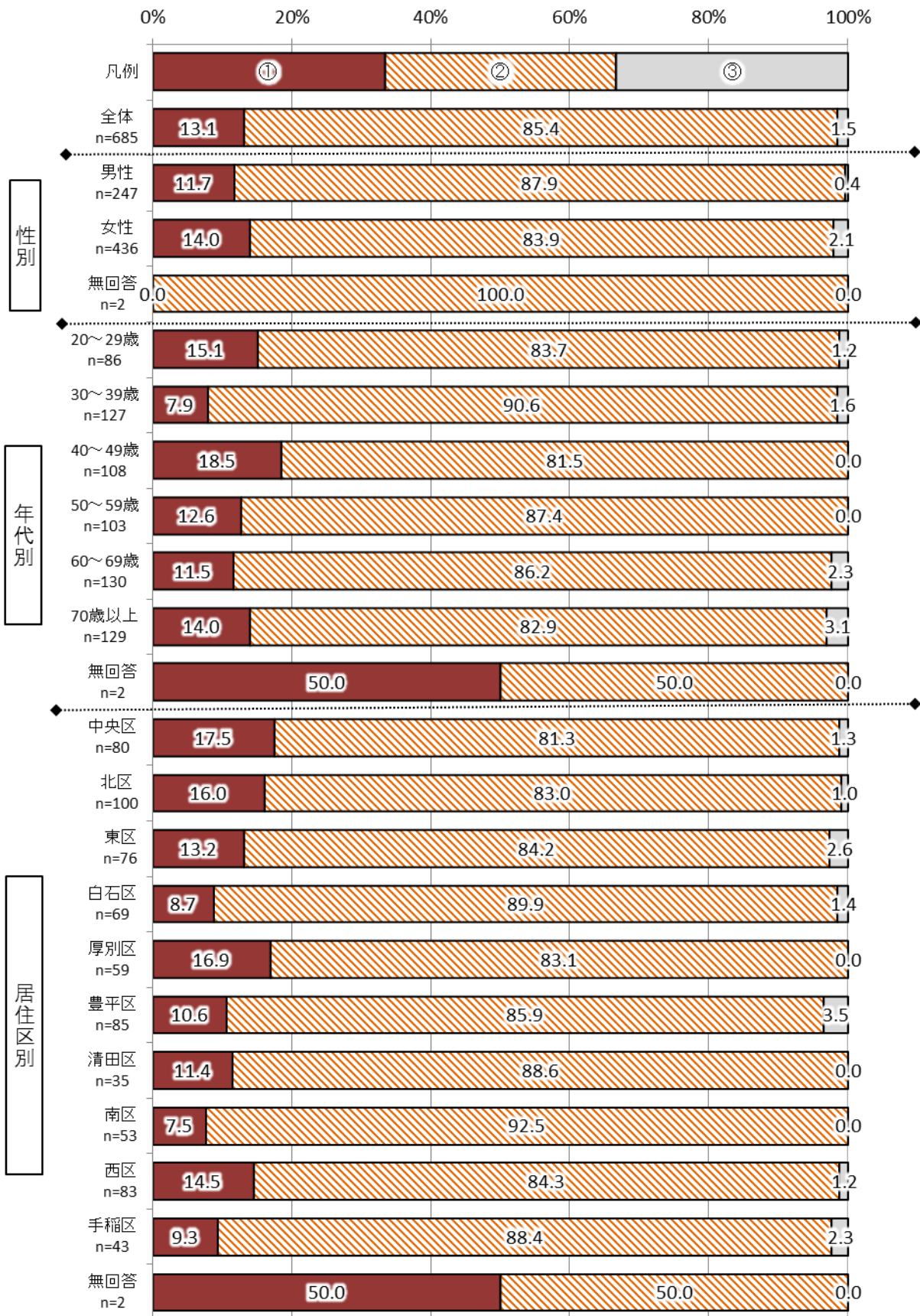
【年代別】

各年代共に「参加したことはない」が高いが、30 歳代(90.6%)では約9割を占めている。一方、40 歳代(18.5%)では「参加したことがある」が他の年代に比べて高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「参加したことはない」が高いが、南区(92.5%)では約9割を占めている。一方、中央区(17.5%)、北区(16.0%)、厚別区(16.9%)では「参加したことがある」が他の区に比べてやや高くなっている。

①参加したことがある ②参加したことはない ③無回答

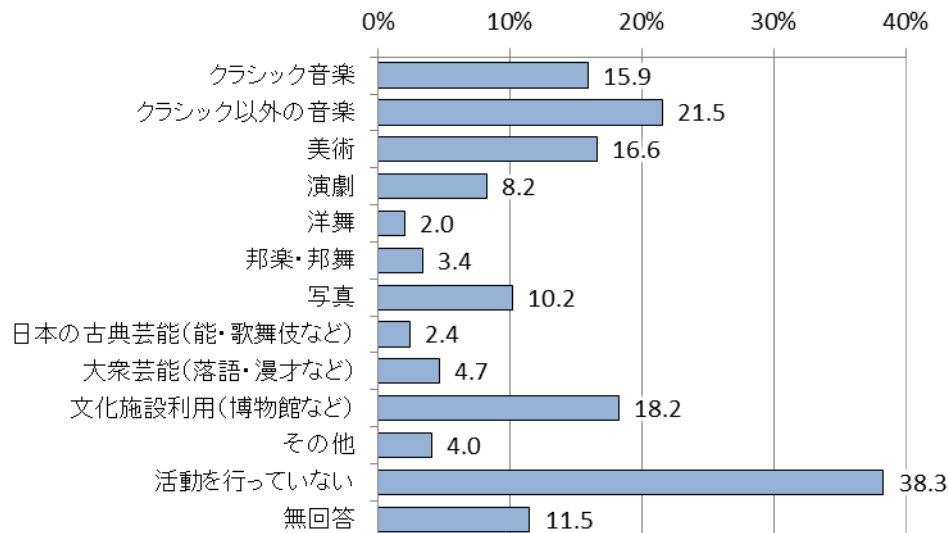


(10) 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり

・文化芸術活動について

【問 34】あなたが、この1年間に、趣味などで行った文化芸術活動(実践及び鑑賞)は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

趣味などで行った文化芸術活動(実践及び鑑賞)については、「クラシック以外の音楽」(21.5%)が全体の約2割を占めている。



【対象者全体】

趣味などで行った文化芸術活動(実践及び鑑賞)については、「クラシック以外の音楽」(21.5%)が最も高く、次いで「文化施設利用(博物館など)」(18.2%)、「美術」(16.6%)、クラシック音楽「15.9%」となっている。一方、「活動を行っていない」(38.8%)は約4割を占めている。

【性別】

男女共に「クラシック以外の音楽」が最も高いが、女性(24.2%)は男性(17.4%)に比べて高くなっている。他の項目でも写真を除いて、女性が男性よりも高くなっている。一方、男性(41.9%)は「活動をおこなっていない」が女性(36.0%)よりもやや高くなっている。

【年代別】

60歳代、30歳代を除く全ての年代で「クラシック以外の音楽」が最も高く、20歳代(28.9%)では約3割を占めている。一方、20歳代(43.4%)、30歳代(42.7%)では「活動を行っていない」が4割を超えている。

【居住区別】

南区を除く全ての居住区で「クラシック以外の音楽」が最も高く、中央区(23.6%)では約2割を占めている。中央区(21.8%)、豊平区(19.1%)、南区(18.7%)では「美術」が他の区に比べてやや高く、中央区(22.7%)、豊平区(19.1%)、南区(18.7%)、西区(19.8%)では文化施設利用が他の区よりもやや高くなっている。一方、北区(42.6%)、南区(42.2%)、西区(42.7%)では「活動を行っていない」が4割を超えている。

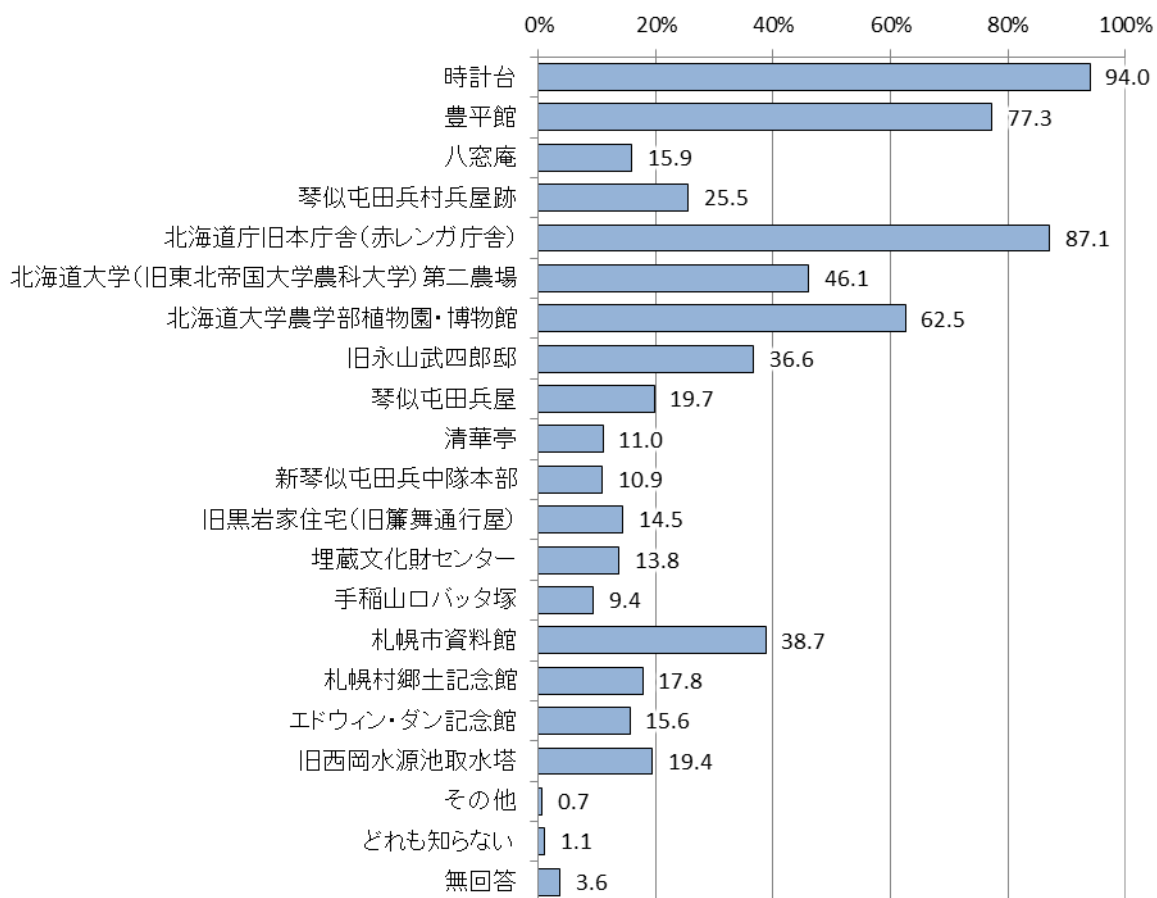
	対象者数	クラシック音楽	クラシック以外の音楽	美術	演劇	洋舞	邦楽・邦舞	写真	日本の古典芸能（能・歌舞伎など）	大衆芸能（落語・漫才など）	文化施設利用（博物館など）	その他	活動を行っていない	無回答
対象者全体	1977	15.9	21.5	16.6	8.2	2.0	3.4	10.2	2.4	4.7	18.2	4.0	38.3	11.5
【性別】														
男性	763	14.3	17.4	14.7	6.2	0.8	2.1	12.3	1.4	4.8	15.9	2.8	41.9	13.4
女性	1204	17.0	24.2	17.9	9.6	2.7	4.2	8.9	3.1	4.6	19.9	4.9	36.0	9.9
無回答	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	60.0
【年代別】														
20～29歳	173	17.9	28.9	13.3	10.4	0.6	9.2	17.3	1.2	2.3	17.9	1.2	43.4	1.2
30～39歳	288	14.9	20.5	12.2	9.7	3.5	3.8	9.7	1.0	3.1	21.2	2.4	42.7	4.2
40～49歳	325	15.4	24.9	16.6	11.4	2.2	3.4	8.0	2.5	4.6	21.8	3.1	37.5	6.8
50～59歳	337	16.6	24.9	20.5	8.3	3.0	1.2	9.8	1.8	4.2	20.5	3.9	37.1	8.3
60～69歳	432	16.2	19.0	20.1	6.9	1.2	2.1	11.6	2.8	6.5	16.9	4.2	38.2	15.0
70歳以上	415	15.2	16.4	14.5	5.1	1.4	3.9	8.0	4.1	5.3	13.0	7.0	35.2	22.7
無回答	7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	57.1
【居住区別】														
中央区	216	22.2	23.6	21.8	13.0	3.2	4.6	10.6	5.6	6.0	22.7	5.6	33.8	6.0
北区	289	13.5	21.8	15.6	7.6	1.4	4.5	8.7	2.4	3.8	17.0	4.2	42.6	11.4
東区	231	16.9	19.5	17.7	8.2	2.6	3.0	10.0	0.9	5.2	16.5	3.9	35.5	13.9
白石区	198	12.1	19.7	12.1	8.6	0.5	3.5	9.6	2.5	5.1	15.2	3.0	39.4	13.1
厚別区	150	19.3	24.0	12.7	7.3	0.7	1.3	10.0	2.7	4.7	18.0	2.7	34.7	15.3
豊平区	235	17.9	22.1	19.1	9.8	2.1	3.0	12.8	3.4	3.8	19.1	4.3	37.4	8.1
清田区	118	15.3	26.3	13.6	5.1	1.7	2.5	6.8	2.5	6.8	17.8	4.2	33.1	11.9
南区	166	10.8	15.1	18.7	5.4	0.6	1.8	12.7	0.0	5.4	18.7	5.4	42.2	10.2
西区	232	15.9	21.1	16.8	8.2	2.6	4.7	9.9	1.7	4.7	19.8	2.2	42.7	12.9
手稲区	136	14.0	24.3	15.4	5.9	4.4	2.9	9.6	2.2	1.5	16.9	5.1	39.0	11.8
無回答	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	66.7

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

・文化財施設の認知状況

【問 35】 札幌市の文化財及び関係施設のうち、あなたが文化財施設として知っているものはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

文化財施設として知っているものについては、「時計台」(94.0%)が全体の約9割を占めている。



【対象者全体】

文化財施設として知っているものについては、「時計台」(94.0%)が最も高く、次いで「北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)」(87.1%)、「豊平館」(77.3%)、「北海道大学農学部植物園・博物館」(62.5%)となっている。

【性別】

男女共に「時計台」が最も高いが、女性(95.0%)が男性(93.2%)に比べてやや高くなっている。

【年代別】

各年代共に「時計台」が最も高く、次いで「北海道庁旧本庁舎」となっている。20歳代(39.9%)、30歳代(63.2%)で「豊平館」は他の年代に比べて低くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「時計台」が最も高く、次いで「北海道庁旧本庁舎」となっている。中央区(84.7%)、豊平区(82.6%)では「豊平館」が約8割を占め、西区では「琴似屯田兵村屋跡」(62.1%)、「琴似屯田平屋」(53.4%)が半数を超えている。南区では「エドウィン・ダン記念館」(59.6%)が約6割、東区では「札幌村郷土記念館」(35.9%)が約4割、豊平区では「旧西岡水源池取水塔」(36.6%)が約4割となっている。

上段 件数
下段 %

表1

	対象者数	時計台	豊平館	八窓庵	琴似屯田兵村兵屋跡	北海道庁旧本庁舎（赤レンガ庁舎）	北海道大学（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	北海道大学農学部植物園・博物館	旧永山武四郎邸	琴似屯田兵屋	清華亭
対象者全体	1977	94.0	77.3	15.9	25.5	87.1	46.1	62.5	36.6	19.7	11.0
【性別】											
男性	763	93.2	75.0	14.5	26.7	85.8	50.2	59.6	35.4	21.6	11.4
女性	1204	95.0	79.3	16.9	25.0	88.3	43.8	64.6	37.6	18.7	10.9
無回答	10	30.0	20.0	0.0	0.0	40.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0
【年代別】											
20～29歳	173	93.1	39.9	1.7	19.1	84.4	32.9	46.2	12.7	13.3	6.9
30～39歳	288	93.8	63.2	6.3	15.6	84.0	29.2	45.8	26.0	11.1	5.2
40～49歳	325	96.3	79.1	11.4	22.5	91.1	42.8	57.8	35.4	16.0	10.8
50～59歳	337	97.3	88.7	14.2	27.6	90.8	48.7	65.3	42.4	21.7	11.9
60～69歳	432	93.8	86.1	24.8	29.9	88.0	56.5	73.8	49.1	22.5	15.3
70歳以上	415	91.3	83.9	24.1	31.8	84.3	53.5	71.1	37.6	27.2	11.8
無回答	7	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3
【居住区別】											
中央区	216	95.8	84.7	26.9	20.4	90.3	51.9	66.7	41.2	12.0	14.4
北区	289	93.4	77.2	12.1	27.7	88.2	49.1	62.3	33.6	20.1	16.6
東区	231	94.4	73.6	16.9	22.1	87.0	45.5	61.9	49.4	15.6	10.4
白石区	198	92.9	75.8	10.6	13.6	83.8	41.4	60.1	42.4	11.1	7.6
厚別区	150	94.7	77.3	14.0	16.7	86.7	42.7	66.7	38.7	15.3	12.0
豊平区	235	95.7	82.6	19.1	17.4	88.1	48.5	60.0	31.9	15.3	8.9
清田区	118	93.2	77.1	12.7	15.3	83.1	39.0	55.9	30.5	13.6	6.8
南区	166	94.6	76.5	16.9	14.5	86.1	43.4	65.7	34.3	7.2	7.2
西区	232	93.5	78.9	15.5	62.1	88.4	46.6	61.6	33.2	53.4	10.8
手稲区	136	92.6	66.2	11.0	37.5	88.2	47.8	65.4	26.5	27.2	11.0
無回答	6	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

上段 件数
下段 %

表2

	対象者数	新琴似屯田兵中隊本部	旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）	埋蔵文化財センター	手稲山口バツタ塚	札幌市資料館	札幌村郷土記念館	エドウィン・ダン記念館	旧西岡水源池取水塔	その他	どれも知らない	無回答
対象者全体	1977	10.9	14.5	13.8	9.4	38.7	17.8	15.6	19.4	0.7	1.1	3.6
【性別】												
男性	763	12.5	15.3	15.1	11.3	34.9	17.0	14.5	21.0	1.0	0.5	4.6
女性	1204	10.0	14.0	13.0	8.3	41.4	18.4	16.4	18.4	0.4	1.5	2.7
無回答	10	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	50.0
【年代別】												
20～29歳	173	4.6	5.8	10.4	4.0	22.0	10.4	8.1	8.1	0.0	2.9	1.2
30～39歳	288	4.9	11.1	11.1	8.7	25.0	14.6	10.1	11.8	0.0	2.4	1.0
40～49歳	325	9.8	12.3	15.7	7.4	36.0	18.2	14.5	12.6	0.3	0.9	2.2
50～59歳	337	10.4	17.8	17.2	10.7	42.7	18.7	19.9	22.6	1.2	0.3	1.8
60～69歳	432	14.8	20.1	15.5	9.3	47.5	18.8	18.8	26.4	0.2	0.2	5.3
70歳以上	415	14.9	13.5	10.6	12.8	45.5	21.4	16.6	25.1	1.7	1.2	6.5
無回答	7	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1
【居住区別】												
中央区	216	5.1	17.6	30.6	4.6	56.9	14.8	13.0	11.1	0.0	0.5	1.9
北区	289	28.0	8.7	12.1	11.1	36.0	14.5	10.4	14.5	1.4	1.4	3.1
東区	231	9.5	9.5	10.4	7.8	38.1	35.9	11.7	18.6	0.0	0.9	3.9
白石区	198	6.1	9.1	6.1	3.5	36.9	18.7	8.6	19.7	0.0	2.0	4.5
厚別区	150	11.3	10.0	18.7	6.0	36.0	20.0	10.0	18.7	2.0	1.3	4.0
豊平区	235	5.5	17.9	12.3	5.5	34.9	14.5	20.9	36.6	0.4	0.4	2.6
清田区	118	7.6	13.6	9.3	4.2	31.4	18.6	9.3	22.9	1.7	0.8	3.4
南区	166	3.6	40.4	15.1	3.6	37.3	15.1	59.6	27.1	0.0	0.6	4.2
西区	232	10.8	12.9	12.5	11.6	39.7	11.2	10.3	12.9	0.9	2.2	3.0
手稲区	136	14.0	8.8	8.8	42.6	36.8	15.4	5.1	14.0	0.7	0.7	5.1
無回答	6	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

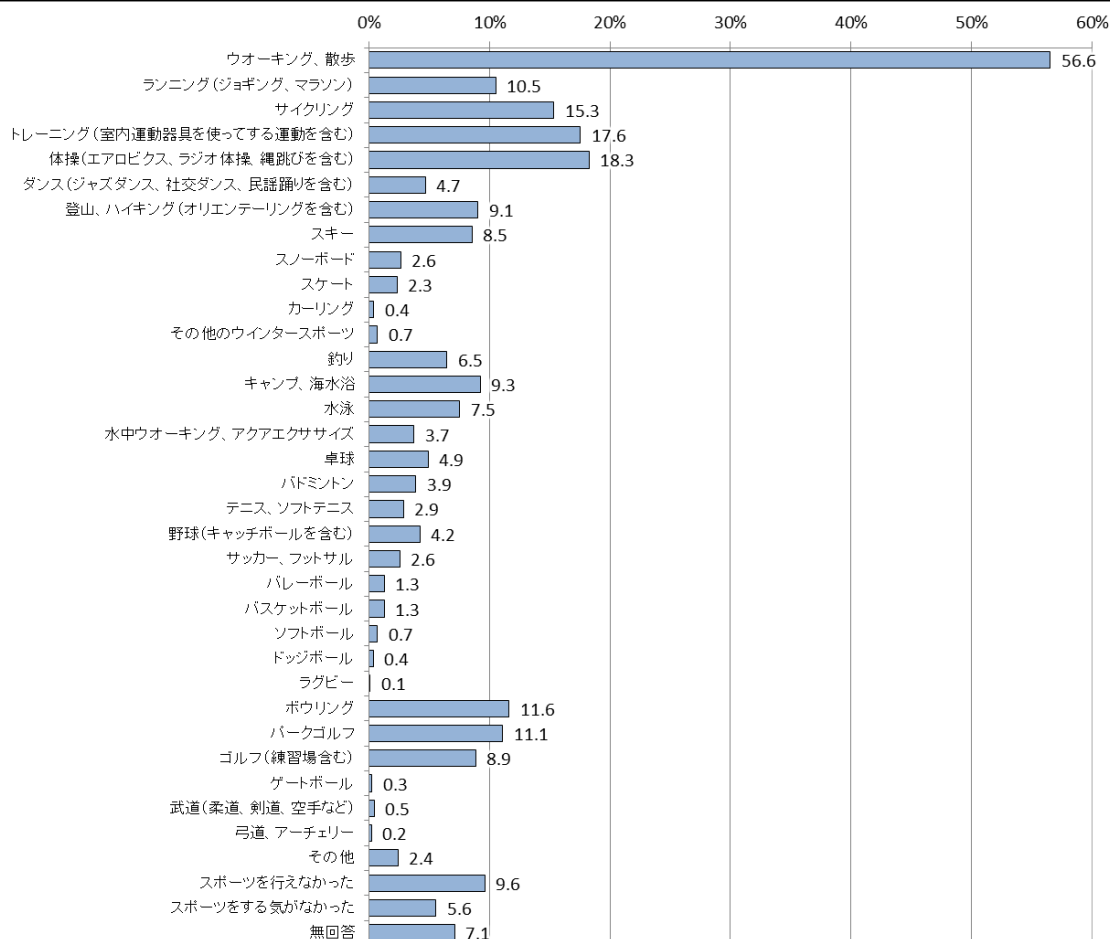
対象者全体スコアと比較して10%以上低い

・1年間に行ったスポーツの種類

【問36】あなたは、この1年間にスポーツ(運動)を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、スポーツ(運動)には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます(部活動は含まれます)。スポーツを行わなかった場合は、「34」または「35」のいずれかに○をつけてください。

1年間に行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」(56.6%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

1年間に行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」(56.6%)が最も高く、次いで「体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)」(18.3%)、「トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)」(17.6%)、「サイクリング」(15.3%)、「ボウリング」(11.6%)、「パークゴルフ」(11.1%)となっている。

【性別】

男女共に「ウォーキング、散歩」が最も高く、男性(57.4%)、女性(56.3%)でほとんど差はない。女性(22.8%)は「体操」が高く、男性(20.4%)では「トレーニング」が高くなっている。

【年代別】

各年代共に「ウォーキング、散歩」が最も高く、60歳代(63.9%)は6割を超えている。50歳代では「体操」(21.4%)が他の年代よりやや高く、20歳代では「トレーニング」(23.1%)、「ランニング」(27.7%)、「サイクリング」(22.0%)、「ボウリング」(31.8%)が高く、70歳以上では「パークゴルフ」(21.0%)が高くなっている。

【居住区別】

全ての居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高く、豊平区(65.5%)は6割を超えている。厚別区(22.0%)では「体操」が、清田区(21.2%)では「トレーニング」が他の区に比べてやや高くなっている。

表1

上段 件数
下段 %

	対象者数	ウォーキング、散歩	ランニング(ジョギング、マラソン)	サイクリング	トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)	体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)	ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む)	登山、ハイキング(オリエンテーリングを含む)	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ
対象者全体	1977	56.6	10.5	15.3	17.6	18.3	4.7	9.1	8.5	2.6	2.3	0.4	0.7
【性別】													
男性	763	57.4	14.7	17.8	20.4	11.4	1.2	11.7	11.4	4.2	2.2	0.5	0.8
女性	1204	56.3	8.0	13.8	15.7	22.8	6.9	7.5	6.8	1.7	2.4	0.3	0.7
無回答	10	20.0	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【年代別】													
20～29歳	173	52.0	27.7	22.0	23.1	15.6	5.2	9.2	12.7	13.9	2.9	1.2	1.2
30～39歳	288	50.7	15.6	17.7	16.3	16.7	4.2	8.7	16.3	5.9	6.3	1.4	1.4
40～49歳	325	54.5	12.3	19.1	19.1	18.5	3.4	8.0	13.2	1.5	4.6	0.0	1.5
50～59歳	337	56.7	8.6	16.0	16.3	21.4	5.0	10.1	7.4	0.3	0.9	0.0	0.0
60～69歳	432	63.9	6.9	14.6	19.0	17.8	3.9	12.5	4.2	0.7	0.9	0.0	0.5
70歳以上	415	56.9	3.9	8.2	14.2	18.6	6.3	5.8	3.4	0.5	0.2	0.5	0.2
無回答	7	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【居住区別】													
中央区	216	56.0	13.9	13.9	18.1	16.7	5.1	13.9	7.9	2.8	1.4	0.9	0.0
北区	289	55.0	9.7	15.9	19.4	19.7	5.2	6.9	8.0	2.8	2.4	0.7	0.3
東区	231	52.8	10.0	15.6	16.9	16.0	3.9	9.1	8.2	1.7	0.9	0.4	0.9
白石区	198	54.0	10.1	14.6	15.2	18.7	5.6	3.5	7.6	3.5	3.0	1.0	0.5
厚別区	150	56.0	10.7	20.0	10.7	22.0	6.7	12.0	11.3	0.7	1.3	0.7	1.3
豊平区	235	65.5	9.8	12.3	18.3	17.9	4.3	8.5	6.8	3.4	3.4	0.0	1.3
清田区	118	53.4	12.7	16.1	21.2	17.8	1.7	8.5	11.9	3.4	1.7	0.0	0.8
南区	166	58.4	12.0	12.7	19.3	18.1	2.4	10.2	9.0	1.2	3.0	0.0	0.6
西区	232	56.9	11.2	19.0	18.1	18.5	6.0	10.3	10.8	3.4	3.0	0.0	0.4
手稲区	136	56.6	5.1	13.2	16.9	18.4	4.4	8.8	5.9	2.9	2.9	0.0	1.5
無回答	100	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

表2

上段 件数
下段 %

	対象者数	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン	テニス、ソフトテニス	野球(キャッチボールを含む)	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー
対象者全体	1977	6.5	9.3	7.5	3.7	4.9	3.9	2.9	4.2	2.6	1.3	1.3	0.7	0.4	0.1
【性別】															
男性	763	10.5	10.0	7.1	2.2	6.0	3.7	2.5	8.8	4.6	0.9	2.0	1.0	0.4	0.3
女性	1204	4.0	8.8	7.9	4.7	4.2	4.1	3.2	1.4	1.3	1.5	0.8	0.5	0.3	0.0
無回答	10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【年代別】															
20～29歳	173	5.8	14.5	8.1	2.3	12.1	15.0	9.2	13.3	12.1	6.4	8.1	0.6	2.3	0.6
30～39歳	288	6.9	20.8	10.4	2.8	2.4	5.9	4.5	6.6	4.5	2.4	2.1	1.0	0.7	0.0
40～49歳	100	8.6	14.8	10.2	4.0	5.5	7.1	4.0	6.5	3.4	1.2	0.6	1.2	0.3	0.3
50～59歳	325	6.8	5.0	6.2	2.1	4.5	1.2	2.4	2.4	1.2	0.3	0.9	0.3	0.0	0.0
60～69歳	337	5.3	3.5	6.0	4.9	3.2	0.7	0.9	1.9	0.5	0.5	0.0	1.2	0.0	0.0
70歳以上	432	5.8	4.1	6.0	5.1	5.3	1.0	0.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	415	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【居住区別】															
中央区	216	5.1	6.5	10.2	3.2	5.1	2.8	2.3	2.8	3.2	1.4	0.9	0.5	0.0	0.0
北区	289	4.5	9.7	8.0	3.8	3.5	5.5	2.8	5.2	2.1	1.4	0.7	0.0	0.3	0.3
東区	231	4.8	9.5	6.5	2.2	4.8	2.2	2.6	4.3	3.0	1.3	1.3	1.7	0.4	0.0
白石区	198	6.1	9.6	4.0	3.0	6.6	5.6	5.6	2.5	2.0	1.5	2.0	0.0	0.5	0.0
厚別区	150	4.0	10.0	14.0	4.0	4.0	2.7	2.7	4.0	2.0	0.7	0.0	1.3	1.3	0.0
豊平区	235	8.1	9.4	7.2	4.3	6.0	4.7	2.6	5.5	4.7	0.9	3.0	0.9	0.0	0.0
清田区	118	10.2	11.9	7.6	6.8	6.8	3.4	1.7	7.6	0.0	1.7	0.8	0.0	0.8	0.0
南区	166	9.0	7.2	7.2	3.6	3.0	3.0	4.2	6.0	1.8	0.6	0.6	1.2	0.6	0.0
西区	232	8.2	9.9	4.7	3.4	6.5	3.9	3.0	3.0	3.4	2.2	0.9	1.3	0.0	0.4
手稲区	136	7.4	10.3	8.1	5.1	2.9	4.4	0.7	2.2	1.5	0.7	2.2	0.0	0.0	0.0
無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

表3

	対象者数	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答
対象者全体	1977	11.6	11.1	8.9	0.3	0.5	0.2	2.4	9.6	5.6	7.1
男性	763	15.7	15.5	17.4	0.4	0.8	0.1	1.6	7.1	3.5	7.6
女性	1204	9.1	8.4	3.4	0.2	0.2	0.2	3.0	11.2	6.9	6.4
無回答	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	60.0
【性別】											
20～29歳	173	31.8	2.9	5.2	0.6	0.6	2.3	5.8	9.8	5.2	0.0
30～39歳	288	9.7	3.1	5.2	0.0	0.3	0.0	3.5	13.2	5.6	2.8
40～49歳	325	14.5	4.9	6.8	0.0	1.2	0.0	1.5	8.9	8.9	2.8
50～59歳	337	10.4	7.1	10.4	0.0	0.3	0.0	2.4	12.2	6.8	4.2
60～69歳	432	8.8	18.1	13.0	0.0	0.2	0.0	3.0	7.9	3.2	8.8
70歳以上	415	6.5	21.0	8.9	1.0	0.2	0.0	0.5	7.5	4.6	16.4
無回答	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
【居住区別】											
中央区	216	9.7	8.8	11.6	0.0	0.0	0.0	2.3	13.0	3.7	6.5
北区	289	13.8	11.4	9.0	0.0	0.3	0.3	3.5	11.8	5.2	5.2
東区	231	8.7	13.9	8.7	0.4	0.9	0.0	1.3	12.6	6.9	6.5
白石区	198	12.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.5	2.5	10.1	9.1	8.6
厚別区	150	11.3	13.3	6.0	0.0	0.0	0.0	2.0	8.0	6.7	8.0
豊平区	235	14.0	11.1	10.2	0.4	0.4	0.4	1.7	7.7	3.8	4.3
清田区	118	13.6	13.6	11.0	0.8	0.8	0.8	4.2	10.2	5.9	5.1
南区	166	13.9	9.6	8.4	1.2	0.6	0.0	1.8	7.2	6.6	8.4
西区	232	8.6	10.3	8.2	0.0	0.9	0.0	2.2	5.2	4.7	10.3
手稲区	136	11.0	16.2	10.3	0.0	0.7	0.0	3.7	9.6	3.7	7.4
無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

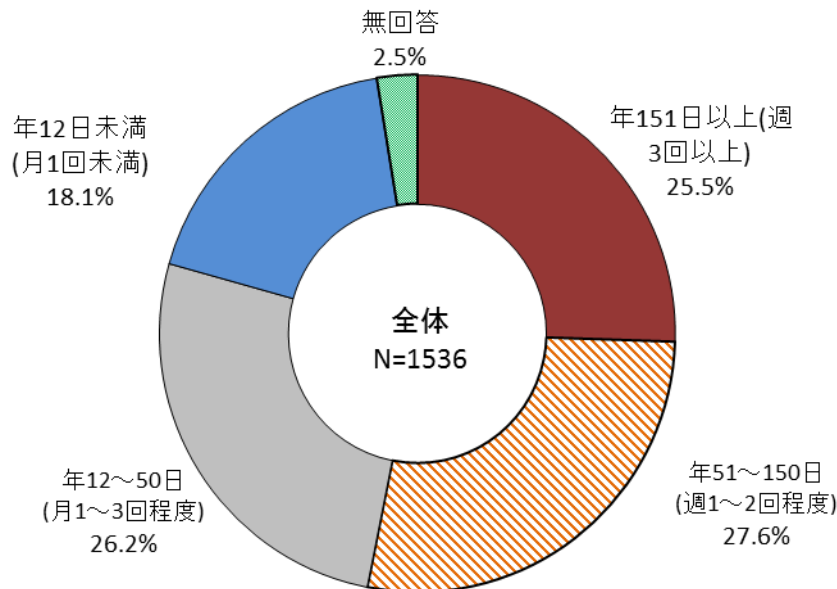
対象者全体スコアと比較して10%以上高い

・スポーツの頻度

<問 36 で「1」から「33」までのいずれかに○をつけた方のみ>

【問 37】あなたが、問 36 で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1年間でスポーツを行った日数については、「年 51～150 日(週 1～2 回程度)」(27.6%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

1年間でスポーツを行った日数については、「年 51～150 日(週 1～2 回程度)」(27.6%)が最も高く、次いで「年 12～50 日(月 1～3 回程度)」(26.2%)、「年 151 日以上(週 3 回以上)」(25.5%)、「年 12 日未満(月 1 回未満)」(18.1%)となっている。

【性別】

男女共に「年 51～150 日(週 1～2 回程度)」が最も高く男女による差はないが、男性は「年 12～50 日(月 1～3 回程度)」(27.4%)も第 1 位の項目と同程度となっている。

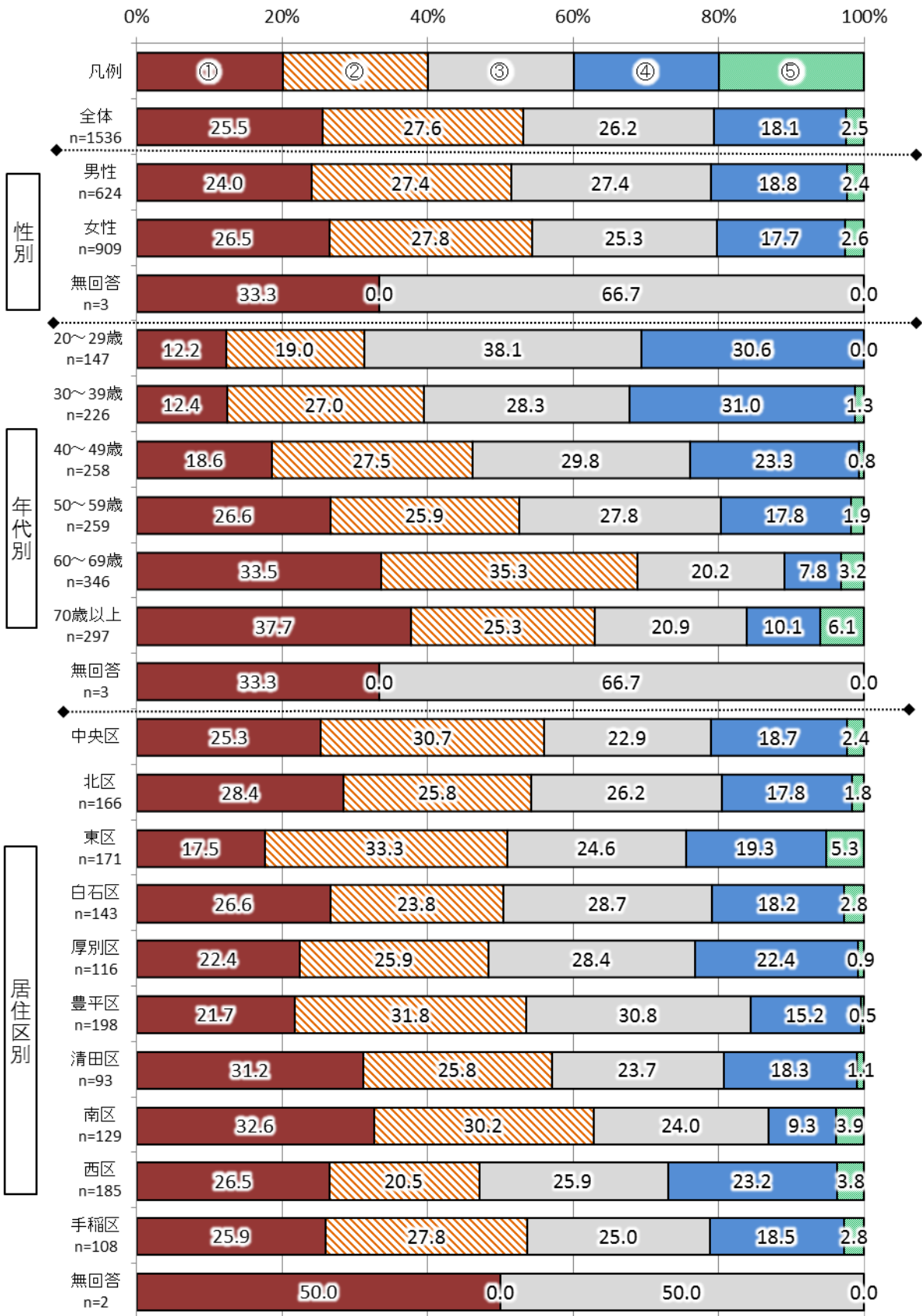
【年代別】

20 歳代(38.1%)、30 歳代(28.3%)、40 歳代(29.8%)、50 歳代(27.8%)では「年 12～50 日」が最も高くなっている。一方、60 歳代では「年 51～150 日」(35.3%)が最も高く、70 歳以上では「年 151 日以上」(37.7%)が最も高くなっている。

【居住区別】

北区(28.4%)、清田区(31.2%)、南区(32.6%)、西区(26.5%)では「年 151 日以上」が最も高く、中央区(30.7%)、東区(33.3%)、豊平区(31.8%)、手稲区(27.8%)では「年 51～150 日」が最も高くなっている。また、白石区(28.7%)、厚別区(28.4%)では「年 12～50 日」が最も高くなっている。

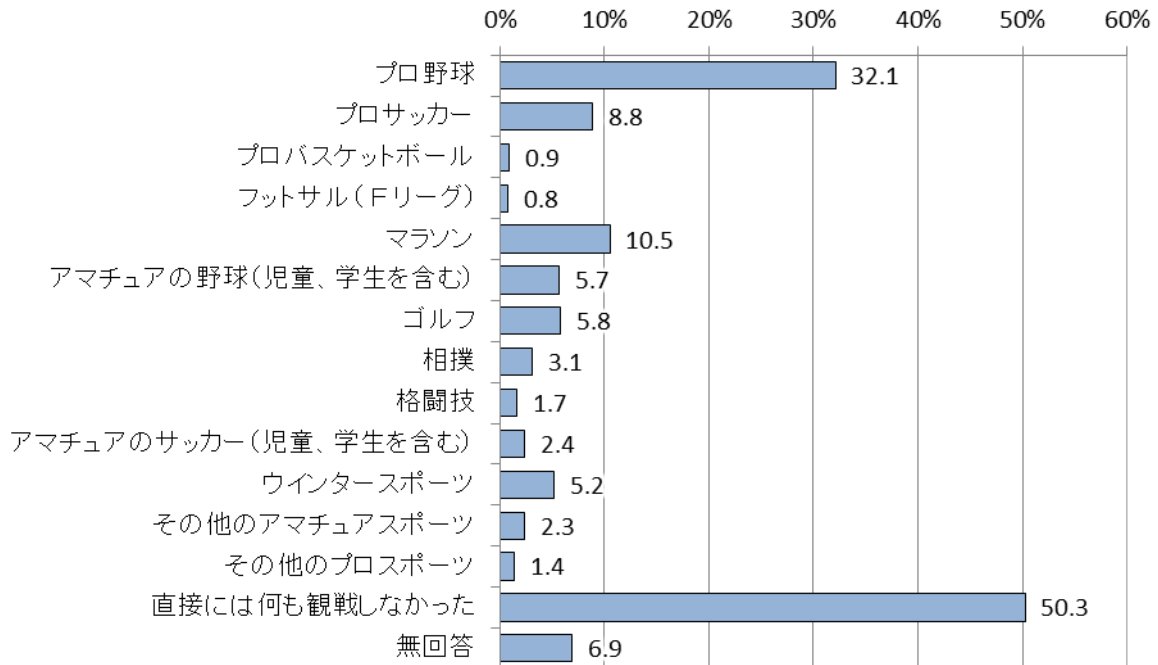
- ①年151日以上(週3回以上) ②年51~150日(週1~2回程度)
 ③年12~50日(月1~3回程度) ④年12日未滿(月1回未滿) ⑤無回答



・ スポーツ観戦について

【問 38】 あなたは、この1年間に(テレビなどではなく)直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお直接には何も観戦しなかった方は「14」だけに○をつけてください。

直接スポーツを観戦したかについては、「プロ野球」(32.1%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

直接スポーツを観戦したかについては、「プロ野球」(32.1%)が最も高く、次いで「マラソン」(10.5%)、「プロサッカー」(8.8%)となっている。一方、「直接には何も観戦しなかった」(50.3%)が5割を占めている。

【性別】

男女共に「プロ野球」が最も高いが、男性(37.5%)は女性(29.0%)に比べて高く、他の項目でも女性よりも高くなっている。

【年代別】

各年代共に「プロ野球」が最も高いが、スコアの低い20歳代(20.8%)に比べると60歳代(39.8%)は約10ポイント高くなっている。60歳では「マラソン」(18.3%)、「プロサッカー」(10.9%)が他の年代に比べると高くなっている。一方、20歳代では「直接何も観戦しなかった」(62.4%)が他の年代に比べて高く約6割を占めている。

【居住区別】

全ての居住区で「プロ野球」が最も高いが、スコアの低い北区(23.5%)、白石区(28.3%)に比べると豊平区(42.6%)、清田区(38.1%)は約10ポイント高くなっている。一方、北区(56.4%)、白石区(56.1%)では「直接何も観戦しなかった」が他の区よりもやや高くなっている。

	対象者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル（フリーグ）	マラソン	アマチュアの野球（児童、学生を含む）	ゴルフ	相撲	格闘技	アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）	ウインタースポーツ	その他のアマチュアスポーツ	その他のプロスポーツ	直接には何も観戦しなかった	無回答
対象者全体	1977	32.1	8.8	0.9	0.8	10.5	5.7	5.8	3.1	1.7	2.4	5.2	2.3	1.4	50.3	6.9
【性別】																
男性	763	37.5	12.2	1.0	0.5	12.8	9.6	8.1	3.9	2.6	2.8	6.2	1.4	1.4	44.8	6.9
女性	1204	29.0	6.7	0.7	0.9	9.1	3.3	4.4	2.6	1.1	2.2	4.6	2.9	1.4	53.7	6.6
無回答	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
【年代別】																
20～29歳	173	20.8	9.2	0.6	2.3	3.5	5.2	2.9	1.2	1.2	2.9	6.9	1.2	1.2	62.4	2.3
30～39歳	288	33.0	8.3	2.1	1.4	3.5	3.1	1.4	1.0	1.0	1.0	5.2	2.8	1.7	53.8	3.1
40～49歳	325	33.2	8.3	0.0	1.2	7.1	9.2	3.4	2.2	2.8	5.8	4.0	4.3	1.8	49.8	3.1
50～59歳	337	30.9	9.8	1.5	0.3	7.4	3.0	4.2	1.5	0.9	1.2	3.3	1.2	2.4	51.6	6.2
60～69歳	432	39.8	10.9	0.9	0.2	18.3	7.2	10.0	4.6	2.5	1.4	6.0	2.3	0.2	44.0	6.9
70歳以上	415	28.9	6.5	0.2	0.2	15.7	5.8	9.2	5.8	1.2	2.4	6.0	1.9	1.4	48.7	14.2
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	57.1
【居住区別】																
中央区	216	31.9	9.3	0.9	0.9	12.0	6.0	6.5	2.8	0.5	1.9	6.0	1.4	0.9	50.5	5.6
北区	289	23.5	6.2	1.0	1.0	14.2	6.2	3.5	2.4	2.1	3.1	3.8	2.4	0.3	56.4	6.2
東区	231	35.5	9.5	0.4	0.0	10.8	6.1	5.2	2.2	3.0	2.2	5.6	2.2	2.2	49.4	6.9
白石区	198	28.3	8.6	0.5	0.5	9.6	5.1	4.0	3.5	0.5	2.0	7.1	2.5	3.0	56.1	6.1
厚別区	150	34.0	13.3	0.0	1.3	8.0	6.0	10.0	6.7	2.0	2.7	5.3	3.3	0.7	44.0	8.7
豊平区	235	42.6	10.2	1.3	2.1	10.2	6.8	5.1	1.7	2.6	2.6	4.3	0.4	1.7	42.1	4.7
清田区	118	38.1	11.0	0.8	0.8	5.9	5.9	7.6	3.4	1.7	3.4	4.2	5.1	1.7	47.5	3.4
南区	166	30.1	5.4	0.0	0.6	8.4	4.8	6.0	2.4	0.6	1.8	5.4	3.6	0.6	55.4	6.0
西区	232	31.9	8.2	2.6	0.0	10.8	4.7	7.3	3.4	1.7	2.6	5.6	1.7	1.7	48.7	9.9
手稲区	136	29.4	8.8	0.0	0.0	11.0	5.1	5.9	4.4	1.5	1.5	4.4	2.9	1.5	50.7	10.3
無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7

対象者全体スコアと比較して10%以上高い

対象者全体スコアと比較して10%以上低い

調 査 票

平成 24 年度 札幌市 事業の効果に関する市民意識調査 ～ 調査へのご協力のお願い ～

日ごろから、札幌市政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取り組みの効果や成果を的確に把握し、今後の改善や見直しを図っていく必要があります。

効果や成果の把握としては、例えばイベントにおける入場者数など、市が直接把握できるもののほか、事業を通じて提供されるサービスの満足度など、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようよろしくお願いいたします。

なお、調査の項目は第3次札幌新まちづくり計画^{*1}の「さっぽろ“えがお”指標」^{*2}に関する設問が中心となっており、本調査の結果は当該計画の進捗管理にも使用させていただきます。

1 第3次札幌新まちづくり計画

札幌をもっと暮らしやすく魅力的な街にするために、平成 23～26 年度の 4 年間に、優先的・重点的に取り組む市の仕事の計画。

2 「さっぽろ“えがお”指標」

まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体共通の目標を具体的かつ分かりやすく示すものとして設定した成果指標。

● 皆様にご協力いただきたいこと

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

● 対象者の選び方

市民の皆様の中から 5,000 人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

「事業の効果に関する市民意識調査 調査票」、返信用封筒

● プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはございません。

また、調査をお願いした方の名簿を公表することはありません。

ご回答にあたって

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答は、あてはまる所（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入が終わった調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成 25 年 2 月 28 日（木）までに、郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのご不明な点などがございましたら

札幌市 市長政策室 改革推進部 推進課 担当：細川、長木 211-2061 まで

平成24年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

札幌市が取り組みを行っている各事業についてお聞きします。

子どもを生き育てやすい環境づくり

問1 札幌市は、子どもと子育て家庭が暮らしやすいまちとして、住んでいる地域の住環境や公共施設が子どもや子育て家庭に配慮されていると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問2 あなたは、「仕事」と「家事(育児) プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問3 札幌市は、安心して妊娠・出産できる環境が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問4 この設問は **18歳以下のお子さん**がいる方にお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、子育てに関して不安や負担を感じますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. いつも感じる 2. どちらかといえば感じることは多い
3. どちらかといえば感じることは少ない 4. 感じることはない
5. どちらとも言えない

(2) あなたは、子育てについての相談が必要な時、札幌市の相談体制は整っていると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問5 この設問は **就学前のお子さん**がいる方にお聞きします。あなたは、この1年間に、希望した時期に、希望した保育サービス※を利用することができましたか。あてはまるもの一つに をつけてください。

※ここでいう「保育サービス」とは、認可保育所への入所のほか、延長保育、病児・病後児保育などあらゆる保育サービスを含みます。

1. 利用できた 2. 利用できなかった 3. 利用する必要がなかった

問6 この設問は保護者が共働きなどで小学生のお子さんが放課後に家に1人でいられないご家庭の方のみお聞きします。札幌市は、子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問7 札幌市は、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実

問8 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問9 札幌市は、特別な配慮が必要な子ども の支援体制が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

※「特別な配慮が必要な子ども」とは、この場合、「虐待など不適切な養育環境で育った子どもや障がいのある子ども、ひとり親家庭の子ども」などのことを指しています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

<この設問は、問9で「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。>

問10 支援体制が整っていないと思う理由を下の()の中にご記入ください。

()

問11 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利 が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

※「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

<この設問は、問11で「3.あまりそう思わない」、「4.全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。>

問12 特に守られていないと考える子どもの権利はどれですか。以下のうち、あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 周りの人に愛情を持って接してもらい、いじめや虐待、体罰を受けないなどの安心して生きる権利
2. 個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されるなどの自分らしく生きる権利
3. 勉強したり、遊んだり、芸術・文化・スポーツに触れ親しむなど、様々な経験を通して豊かに育つ権利
4. 家庭や学校などの施設、地域、行政等のあらゆる場で自分の意見を表明するなどの参加する権利
5. その他 ()

地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援

問13 この設問は **65歳以上の方**にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、年間を通してどのくらいの頻度で外出をしていますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. 週に1日
5. 2週に1日
6. 月に1回
7. ほとんど外出しない

<(1)で「1」から「6」までのいずれかに をつけた方にお聞きします。>

(2) 主な外出目的は何ですか。あてはまるものに 三つまで をつけてください。

1. 子どもや孫、親戚に会う
2. 友人や近所の人に会う
3. 趣味活動
4. 運動、散歩
5. 買い物、銀行や郵便局の利用
6. 通院
7. 町内会やボランティア活動、老人クラブ活動

<(1)で「7」に をつけた方にお聞きします。>

(3) ほとんど外出しない理由は何ですか。あてはまるもの すべてに をつけてください。

1. からだの具合が悪い
2. 外出する手段がない
3. お金がかかる
4. 行きたいところがない
5. 家族等が用事を済ませてくれる
6. その他 (具体的に:)

問14 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさに関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるもの すべてに をつけてください。

1. 本人
2. 配偶者
3. 子または子の配偶者
4. 親または配偶者の親
5. いない

(2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

<この設問は、問14(2)で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。>

問15 暮らしにくいと思う主な理由はありますか。あてはまるものに を付けてください。

(2つまで選択可)

1. 建物や公共交通機関などのバリアフリーが十分に整っていない
2. 障がい福祉サービス（ホームヘルプサービス、就労支援サービスなど）が十分に整っていない
3. 点字や音声案内、手話通訳などの情報面の支援が十分に整っていない
4. 年金や手当などの経済的な支援が十分に整っていない
5. 障がいのある方への偏見など、障がいのない方との平等な交流が十分にできていない
6. その他（)

安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実

問16 札幌市は、「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

問17 あなたは、毎日食べている食品の安全性に関心を持ち、注意を払っていますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 特に関心があり、よく注意を払っている
2. 関心があり、ある程度注意を払っている
3. 関心はあるが、注意を払っていない
4. 関心がない

問18 あなたは、地域などの自主的な防犯活動※に参加していますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

※「自主的な防犯活動」とは、この場合、パトロール、登下校時の子どもの見守り、子ども110番の家への加入、環境美化活動などのことを指しています。

1. 積極的に参加している
2. ときどき参加している
3. 参加したことがない

問19 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園などの利用や、その後の雪割りや清掃などで町内会等に協力したことがありますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 協力したことがある
2. 協力したことはない

問 20 札幌市は、「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

※「ルール」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」など道路交通法に定めのある規則のこと、「マナー」とは、「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」など他人に迷惑をかけないために守るべきことを指しています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

水道事業について

問 21 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに をつけてください。

(1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること（事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く。）

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. どちらともいえない

(2) 安全で良質な水道水をお届けすること

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. どちらともいえない

(3) お客さまサービス（問い合わせ対応・広報）

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. どちらともいえない

問 22 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄について今後どのくらい重視すべきとお考えですか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに をつけてください。

(1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること（事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く。）

1. 特に重視すべき 2. どちらかという重視すべき
3. どちらかという重視する必要はない 4. 重視する必要はない
5. どちらともいえない

(2) 安全で良質な水道水をお届けすること

1. 特に重視すべき 2. どちらかという重視すべき
3. どちらかという重視する必要はない 4. 重視する必要はない
5. どちらともいえない

(3) お客さまサービス（問い合わせ対応・広報）

1. 特に重視すべき 2. どちらかという重視すべき
3. どちらかという重視する必要はない 4. 重視する必要はない
5. どちらともいえない

将来を見据えた魅力ある都市の整備

問23 あなたは、札幌の都心（下図の点線で囲まれた部分参照）に「にぎわい」があると感じますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない



問24 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない
5. どちらともいえない

問25 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない
5. どちらともいえない

低炭素社会の推進と循環型社会の構築

問26 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

1. 水切り（水絞）による生ごみの減量を意識して行っている
2. 食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している
3. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている
4. 電動生ごみ処理機を使用している
5. その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている
(具体的に：)
6. 特に何もしていない

問27 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

(1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などがありますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1. 太陽光発電 | 2. 太陽熱利用 |
| 3. ペレットストーブ | 4. 薪ストーブ |
| 5. コージェネレーション※1 | 6. 次世代自動車※2 |
| 7. 地中熱ヒートポンプ | 8. エコフィール（灯油式高効率給湯・暖房機） |
| 9. エコジョーズ（ガス式高効率給湯・暖房機） | 10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房（電気式高効率給湯・暖房機） |

※1 コージェネレーション：発電時の排熱を給湯・暖房に活用するシステム。具体的にはエネファームなどがあります。

※2 次世代自動車：具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車などがあります。

(2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えている（明るくしすぎない）
3. 冷蔵庫の温度設定を変えている（冷たくしすぎない）
4. 家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ
5. 服をもう一枚着るなどして、暖房の設定温度を1℃以上下げる
6. 外気や太陽光を室温調整に上手く利用する
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 駐停車中はアイドリングストップをする
10. マイカーの利用を控え、公共交通機関を利用する
11. 車の発進時は夏でも雪道のようにゆっくり発進する
12. 速度変化を抑えた運転をする
13. 車の減速時はエンジンブレーキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えめにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る

多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり

問 28 あなたは、自分が住んでいる地域(小学校や連合町内会くらいの範囲)の花やみどりの現状について、親しみを感じますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 感じる 2. やや感じる 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり

問 29 札幌市では、市民の声を市政に反映するため、電話やEメールでの意見募集、さらにはアンケート調査やワークショップ、フォーラム、出前講座等さまざまな市政参加の機会を提供しておりますが、普段、あなたはこうした市政参加の機会が用意されていると感じますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

1. 感じる 2. やや感じる 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問 30 あなたは、札幌をより快適に過ごせるまちにするため、「まちづくり活動」(ごみステーションのマナー遵守や節電への取組、あるいは町内会活動への参加等)に参加した(取り組んだ)ことがありますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

なお、参加した活動の種類や規模、期間などは問いません。

1. 参加したことがある 2. 参加したことはない

問 31 この設問は **65歳以上の方**にのみお聞きします。次にあげる「社会に役立つ活動」*のうち、あなたが現在継続的に参加しているものはありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

*「社会に役立つ活動」とは、地域や社会のために時間や労力、知識、技術などを提供する活動をいい、ここでは、町内会や老人クラブをはじめとした地域活動やボランティア活動、さらにNPOなどの公益的な活動も含めて考えます。

1. 清掃・環境美化(地域の公園等の清掃やごみステーションの管理など)
2. リサイクル活動(資源回収・フリーマーケットなど)
3. 健康づくり(健康づくり教室の開催や健康体操の指導など)
4. 自然環境保護(緑化植樹運動、自然保護活動など)
5. 演芸・音楽・芸術活動など(施設慰問やチャリティーなど)
6. 文化の伝承(伝統芸能、昔あそびなど)
7. 子ども文庫の設置や運営・本の読み聞かせ
8. 防災活動
9. 募金活動・バザー
10. 高齢者や子どもの見守り活動(安否確認や登下校時の見守りなど)
11. 福祉ボランティア(家事援助、福祉除雪、福祉施設での手伝いなど)
12. 国際協力に関する活動
13. その他(具体的に：)
14. 現在、参加している活動はない

問 36 あなたは、この1年間にスポーツ(運動)を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてにをつけてください。

なお、スポーツ(運動)には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます(部活動は含まれます)。スポーツを行わなかった場合は、「34」または「35」のいずれかに をつけてください。

- | | | |
|------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 1. ウォーキング、散歩 | 2. ランニング(ジョギング、マラソン) | 3. サイクリング |
| 4. トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む) | 5. 体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む) | 6. ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む) |
| 7. 登山、ハイキング(オリエンテーリングを含む) | 8. スキー | 9. スノーボード |
| 10. スケート | 11. カーリング | 12. その他のウィンタースポーツ(具体的に:) |
| 13. 釣り | 14. キャンプ、海水浴 | 15. 水泳 |
| 16. 水中ウォーキング、アクアエクササイズ | 17. 卓球 | 18. バドミントン |
| 19. テニス、ソフトテニス | 20. 野球(キャッチボールを含む) | 21. サッカー、フットサル |
| 22. バレーボール | 23. バasketボール | 24. ソフトボール |
| 25. ドッジボール | 26. ラグビー | 27. ボウリング |
| 28. パークゴルフ | 29. ゴルフ(練習場含む) | 30. ゲートボール |
| 31. 武道(柔道、剣道、空手など) | 32. 弓道、アーチェリー | 33. その他 |
| 34. スポーツを行えなかった | 35. スポーツをする気がなかった | (具体的に:) |

<この設問は、問36で「1」から「33」までのいずれかに をつけた方にお聞きします。>

問 37 あなたが、問36で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 年151日以上(週3回以上) | 2. 年51~150日(週1~2回程度) |
| 3. 年12~50日(月1~3回程度) | 4. 年12日未満(月1回未満) |

問 38 あなたは、この1年間に(テレビなどではなく)直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてにをつけてください。なお直接には何も観戦しなかった方は「14」だけに をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|-------------------|---------------------------|
| 1. プロ野球 | 2. プロサッカー | 3. プロバスケットボール |
| 4. フットサル(Fリーグ) | 5. マラソン | 6. アマチュアの野球(児童、学生を含む) |
| 7. ゴルフ | 8. 相撲 | 9. 格闘技 |
| 10. アマチュアのサッカー(児童、学生を含む) | 11. ウィンタースポーツ | 12. その他のアマチュアスポーツ(具体的に:) |
| 13. その他のプロスポーツ(具体的に:) | 14. 直接には何も観戦しなかった | |

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに をつけてください。

F 1 あなたの性別は

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢は (平成 25 年 2 月 1 日現在)

1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳
4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区
6. 豊平区 7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区

ご協力ありがとうございました。

同封の封筒に入れて、2月28日(木)までに投函してください。

平成 24 年度
指標達成度調査
報告書

平成 25 年 3 月
札幌市 市長政策室
改革推進部推進課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
TEL(011-211-2061) FAX(011-218-5194)
